

# 上吉公民館長寿命化改修工事

## 設 計 図

【建築工事】				【電気設備工事】		【機械設備工事】	
A－01	改修工事特記仕様書1	A－21	建具表④	E－01	電気設備工事 特記仕様書（1）	M－01	機械設備工事 特記仕様書（1）
A－02	改修工事特記仕様書2	A－22	便所 平面詳細図（改修前・後）	E－02	電気設備工事 特記仕様書（2）	M－02	機械設備工事 特記仕様書（2）
A－03	改修工事特記仕様書3	A－23	1階 玄関・廊下 展開図（改修前・後）	E－03	凡例・配置図	M－03	配置図（改修後）
A－04	改修工事特記仕様書4	A－24	1階 会議室・湯沸室 展開図（改修前・後）	E－04	単結結線図・弱電機器案図	M－04	配置図（改修前）
A－05	改修工事特記仕様書5	A－25	1階 和室 展開図（改修前・後）	E－05	照明器具案図	M－05	衛生機器表、器具表
A－06	付近見取図・配置図・工事概要	A－26	1階・2階 便所 展開図（改修前・後）	E－06	1階 電灯設備図	M－06	給排水設備 1階・2階平面図（改修後）
A－07	仕上表	A－27	2階 集会室・ステージ・廊下 展開図（改修前・後）	E－07	2階 電灯設備図	M－07	給排水設備 1階・2階平面図（改修前）
A－08	1階・2階平面図（改修前）	A－28	防水改修詳細図	E－08	1階 弱電設備図	M－08	給排水設備平面詳細図
A－09	1階・2階平面図（改修後）	A－29	ポーチ改修詳細図	E－09	2階 弱電設備図・照明器具撤去リスト	M－09	空調・換気機器表 計算書
A－10	立面図（改修前）	A－30	外構改修詳細図	E－10	1階・2階 停電時電灯設備図	M－10	空調・換気設備 1階・2階平面図（改修前）
A－11	立面図（改修後）	A－31	雑詳細図			M－11	空調・換気設備 1階・2階平面図（改修前）
A－12	断面図（改修前・後）	A－32	建具詳細図①（参考）				
A－13	矩計図（改修前）	A－33	建具詳細図②（参考）				
A－14	矩計図（改修後）	A－34	トッブライト詳細図（参考図）				
A－15	階段 矩計図（改修前）	A－35	仮設計画図（参考）				
A－16	階段 矩計図（改修後）						
A－17	天伏図（改修前・後）						
A－18	建具表①						
A－19	建具表②						
A－20	建具表③						

工事特記仕様書(改修)

I. 工事名称	上吉公民館長寿命化改修工事
II. 工事概要	
1 工事場所	三重県三重郡川越町大字高松( 上吉) 地内
2 敷地面積	242.14 m <sup>2</sup>
3 工事内容	-
棟名称	-
構造	鉄筋コンクリート造
建築面積	166.64 m <sup>2</sup>
延べ面積	260.10 m <sup>2</sup>
工事項目	外壁改修・防水改修・内部改修・電気設備改修・機械設備改修・外構工事
III. 建築改修工事仕様	
1 共通仕様	<p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和4年7月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版(以下「改修標準仕様書」という。)」による。</p>
2 特記仕様	<p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 項目欄に記載の( ) 内表示番号は改修標準仕様書の該当項目を示す。</p>

1

一般共通事項

1

適用基準等

(1.3.5)

2

施工条件

(1.3.5)

3

部分引き渡し、部分使用

4

埋蔵文化財調査

5

発生材の処理等

(1.3.12)

6

建設副産物情報交換システムへの登録

7

三重県産業廃棄物税

8

電気保安技術者

(1.3.3)

9

技能士

(1.7.2)

10

施工数量調査

(1.6.2)

11

調査のための破壊部分の補修

(1.6.3)

特記事項

1) 公共建設工事標準仕様書（建築工事編）  
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）  
2) 建築工事標準詳細図  
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）  
・ 監督員と協議し決定する。  
施工可能日 ・ 指定なし  
・ 一部土、日曜日、祝祭日施工あり  
施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時  
概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日  
・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり  
指定部分( )  
時 期 ( 年 月 日～ )  
埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。  
・ 発掘調査等の実施あり  
・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり  
・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。  
工事契約書に明らかなことや意見をない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。  
分別解体等の方法  

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
その他 ( )	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

  
・ 引き渡しを要するもの ・ 有 ( )  
・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 ( ) 処理方法( )  
○ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 ( ・ 蛍光灯 ・ H I ランプ ) ○ ( 撤去時確認 ) )  
・ 現場において再利用を図るもの ( )  
○ 再資源化を図るもの  
○ コンクリート 塊  
○ アスファルト コンクリート 塊  
○ 建設発生木材  
  
成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。  
  
請負金額100万円以上の工事において、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ提出すること。  
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ提出すること。  
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JQC C5運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。  
本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式で産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。  
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。  
配置する  
職種別に可能なものについては、積極的活用のこと。  
調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による  
補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ ( )

12

建築材料等

1)

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする(ほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版)(以下「評価名簿」という。))と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。

2)

本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。

3)

製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン)に準拠した証明書を、監督員に提出すること。

4)

本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製材品及び「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。

5)

本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

6)

下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。

(認定製品の品名: )

7)

下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。

認定製品の品名: ・ 間伐材製工事用タリケード ・ 間伐材工事用看板 ・ 間伐材標示板 ・ ( )

13

化学物質の濃度測定  
(1.7.9)

測定対象化学物質(●で示したものとする。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	1,4-ジクロロベン
	学校 教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	●
●	その他	●	●	●	●	●	●

測定対象室及び測定箇所数 ( ) 図示(図面番号: A-7) ・ ( )

測定方法( ) (バンプ法 ・ アクティブ法)

測定時期 ・ ( )

報告書提出部数 2部

14

特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

15

騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

16

工事写真

「當該工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部(令和3年版))」に従い撮影すること。

なお、デジタル工事写真の大小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の大小黒板情報電子化について(平成29年3月1日付け国整第211号)」による。

17

完成図等

作成する( ) 完成図 ( ) 保全に関する資料 ・ ( A3製3部・CADデータ )

完成図作成範囲(配管図、平面図、立面図、断面図、仕上表等)

完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

18

完成写真

デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部

箇所数以外版4面各2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。

・ アルム(大きさ335mm×290mm程度、カラー) 1部

19

電子納品

工事写真は、「當該工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。

(提出部数) 3部 ・ 部

工事完成図書は、「當該工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。

(提出部数) 3部 ・ 部

20

設備工事との取合い

施工範囲

図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強

図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強

自動排気装置取付け箇所の切込み及び補強

自動排気装置が電配による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

施工図

( ) 設備機器の位置、取合い等の検核できる施工図を提出して、監督員の承認を受けること。

21

既存部分等への処置  
(1.3.13)

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は弁償した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

22

事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員に指示する期日までに、監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

23

下請次数制限及び県外管内企業優先使用

本工事に於ける下請の次数は、2次(建築一式工事は3次)までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

本工事に於いて、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方(2次以下の請負者を含む)を三重県内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方と選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

24

総合評価方式

本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件(以下「発注工事」という。)で、貴社の評価点において発注工事の加算点(満点)の1割を減点します。

25

不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除対策要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について

1)

受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除対策要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

2)

1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。

3)

受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

26

消防関係の手続き

1)

消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成  
・ 本工事 ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ 別途工事

2)

防火対象物使用階別届出書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。

27

主任技術者又は監理技術者

1)

技術者要件  
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。

2)

専任を要しない期間  
(1) 現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。  
(2) 検査終了後の期間  
検査完成后、検査が終了(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等ののみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

28	工事の一時中止	<p>工事の一時中止の取り扱ひについては「工事の一時中止のガイドライン」（平成29年7月 三重県土整備部）による。</p> <p>三重県建設工事請負契約書第20条の規定より工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。</p> <p>なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。</p> <p>工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p>									
29	労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	<p>労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。</p>									
30	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重	<p>建築基準法に基づき定められた区分等</p> <p>基準風速 <math>V_0 \approx 34 \text{ m/s}</math></p> <p>地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）</p> <p>積雪区分（ ） cm</p>									
31	火災保険等	<p>三重県建設工事請負契約書第2条第1項の規定より、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。</p> <p>1) 保険の目的物 工事事務所及び工事材料（支給材料を含む）</p> <p>2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間</p> <p>3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額</p>									
32	不正軽油の使用の禁止	<p>1) 一般事項</p> <p>臭工場の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力</p> <p>受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同程度に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) は正措置</p> <p>受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p>									
33	技術検査	<p>中間技術検査 実施回数 回 実施する段階 （ ）</p>									
34	保全に関する資料	<p>2部 （ ）</p>									
35	屋外広告物	<p>屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。</p>									
36	社会保険等未加入対策	<p>適用除外でないにもかかわらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。</p> <p>受注者は、施工体制等・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p>									
37	現場での安全確保（自主施工原則）	<p>受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手配について、自らの責任において定め、工事を実施すること。</p> <p>設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。</p>									
38	電子メールの活用	<p>「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年1月」を適用する。</p> <p>（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p>									
39	設計図書の照査	<p>三重県公共工事共通仕様書第1編（章1-1-1-3 2.設計図書の照査）に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。</p> <p>なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。</p>									
40	石綿含有建材の調査（1.5.1）	<p>・ 石綿含有建材の事前調査</p> <p>調査範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）</p> <p>貸与資料 ・ 既存の設計図書 ・ 石綿含有建材の調査報告書 ・ （ ）</p> <p>・ 分析調査</p> <p>分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシロイド、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th><th>定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</th><th>定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>・ 箇所数</td><td>・ 箇所数</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 箇所数</td><td>・ 箇所数</td></tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・ （ ）</p>	材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数	・ 箇所数		・ 箇所数	・ 箇所数
材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4									
	・ 箇所数	・ 箇所数									
	・ 箇所数	・ 箇所数									
2	仮設工事	<p>1 騒音・粉じん等の対策（2.1.3）</p> <p>・ 防音バネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>2 足場等（2.2.1）</p> <p>足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>外部足場 ○ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ） ・ 設置しない</p> <p>防護シート ○ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ） ・ 設置しない</p> <p>内部足場 ○ 設置する（ ） ・ 設置しない</p> <p>（表2.2.1）</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>種別（ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ）</p> <p>C 種：利用可能なエレベーター（ ）</p> <p>D 種：利用可能な階段（ ）</p> <p>令和4年1月2日以降に高さかま m以上の箇所で作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定より使用する要求性能標準制止用器具はフルーネス型とし、「標準制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。</p> <p>3 既存部分の養生（2.3.1）</p> <p>既存部分の養生 ○ 図示（図面番号： A-25 ）</p> <p>既存ブラインド・カーテンの養生</p> <p>養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ （ ）</p> <p>固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>4 仮設間仕切り（2.3.2）（表2.3.1）</p> <p>屋内の仮設間仕切り</p> <p>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</p> <p>合板 厚さ ・ 9 mm （ ）</p> <p>せつこうボード 厚さ ・ 9.5 mm ・ （ ）</p> <p>合板又はせつこうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り・木製扉 ・ （ ）</p>									

備考	・	<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1－861　一級建築士 No.352551　田端　進也</div></div>	設計代表者		設計担当者			SCALE	工事名称  上吉公民館長寿命化改修工事  図面名称  工事特記仕様書1	A-01  原図: A3	
	・		一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.332633 構造設計一級建築士 No.8984 井上貴智		一級建築士 No.372093 南　賢治				A3　:　-/
	・							DATE			
	・							R5. 3			

5

監督員事務所

(2.4.1)

・構内建物内の一部を使用する。

・設置する

監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	90程度

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はゼニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はゼっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り

6

監督員事務所の  
設備、備品等

(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量		組	台	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量		足	着	個	個
種類	消火器	掃除員	受注者加入電話	FAX	冷暖房機器
数量		個	個	台	台

7

仮設便所

8

工事用水

9

工事用電力

10

交通誘導要員

3

防水改修工事

1

既存防水層の処理

(3.1.4)  
(3.2.6)

既存保護層（立上り部等）の撤去

・行う（・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・POX）

・行わない

既存防水層（立上り部等）の撤去

・行う（・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・MAS  
・MASI・S4S・S4SI・POX）

・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ建築の除去

・行う（・M4AS・M4SI・M4C・M4DI・L4X）

・行わない

2

既存下地の処理

(3.2.6)

既存下地の補修箇所の計上、長さ、数量等

・図示（図面番号：）

・（）

POS工法、POSI工法（機械固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

・改修標準仕様書〔3.2.6(4)（ウ）①～③〕

・（）

設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸壇の取付け部、塔屋出入口及び防水層末端部の納まり部の処理

・監督員と協議する

・（）

3

アスファルト  
防水

(3.3.2)～  
(3.3.5)  
(表3.3.3)～  
(表3.3.10)

押入金物の材質、形状及び寸法

・アルミニウム製（L-30×15×2：0mm程度）

・（）

屋根保護防水

防水層の種類

工 法	種 別	断熱材 の厚み	絶縁用シート	立上り部	
				保護	断熱材、絶縁シート
・P2A	・A-1		・8125ｸﾞﾗﾌﾞﾙ (0.15mm以上)	・乾式保護材	
	・A-2				
	・A-3			・コンクリート押入	
・P1B	・B-1	・部分粘着 ・砂付	・ﾌﾗｼｯｸﾞｸﾞﾗﾌﾞﾙ (70kg/㎡程度)	・れんが押入	
	・B-2			・（）	
	・砂付			・モルタル押入	
・P2AI	・A1-1	・（mm）	・ﾌﾗｼｯｸﾞｸﾞﾗﾌﾞﾙ (70kg/㎡程度)		・設置する
	・A1-2				・設置しない
	・A1-3				
・P1BI	・B-1	・部分粘着 ・砂付			
	・砂付				
	・B-2				
	・砂付				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる

・（）

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる

・（）

平場の保護コンクリート

こて仕上げ 厚さ

・水下80mm以上

・（）

平置き

・a種

・b種

・c種

床タイル張り 厚さ

・水下60mm以上

・（）

屋根排水溝

・図示（図面番号：）

屋根露出防水

防水層の種類

工 法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考
			種類	使用量	
・M4C	・C-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	
	・C-2		・（）	・（）	
	・C-3				
	・C-4				
・M3D	・D-1	種類（）	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける
・POD	・D-2		・（）	・（）	
・PODI	・D1-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン ・設ける
・M3DI	・D1-2		・（）	・（）	
・M4DI	厚さ（）				

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

・種類

・アスファルトルーフィング種の製造所の指定

・（）

・設置数

・（）

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

・図示

・（）

屋根防水

防水層の種類

工 法	種 別	保護層
・P1E	・E-1	・設ける
・P2E	・E-2	・設けない

E-1の工法3を行う部位

・貯水槽、浴槽等常時水に接する部位

・（）

4	改質アスファルトシート防水	防水層の種類	<table> <tr> <th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">断熱材</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">備 考</th></tr> <tr> <th>種類</th><th>使用料</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・M4AS</td><td>・AS-T1</td><td rowspan="3"></td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="3"></td></tr> <tr> <td>・AS-T2</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td>・AS-J2</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M3AS ・POAS</td><td>・AS-T3</td><td rowspan="3"></td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="3">           脱気装置            ・設ける ・設けない            改修用ドレン            ・設ける ・設けない         </td></tr> <tr> <td>・AS-T4</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td>・AS-J1</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td><td>・ASI-T1</td><td>種類 ( )</td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="9">           脱気装置            ・設ける ・設けない            改修用ドレン            ・設ける ・設けない            防湿層            ・設ける ・設けない         </td></tr> <tr> <td>・ASI-J1</td><td>厚さ ( )</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	工法	種別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用料	・M4AS	・AS-T1		・製造所の仕様	・製造所の仕様		・AS-T2	・ ( )	・ ( )	・AS-J2			・M3AS ・POAS	・AS-T3		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・AS-T4	・ ( )	・ ( )	・AS-J1			・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1	種類 ( )	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない	・ASI-J1	厚さ ( )	・ ( )	・ ( )																																									
工法	種別	断熱材	仕上塗料				備 考																																																																															
			種類	使用料																																																																																		
・M4AS	・AS-T1		・製造所の仕様	・製造所の仕様																																																																																		
	・AS-T2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
	・AS-J2																																																																																					
・M3AS ・POAS	・AS-T3		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
	・AS-T4		・ ( )	・ ( )																																																																																		
	・AS-J1																																																																																					
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1	種類 ( )	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない																																																																																	
	・ASI-J1	厚さ ( )	・ ( )	・ ( )																																																																																		
		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ( )																																																																																			
		粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ( )																																																																																			
		部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ( )																																																																																			
		屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量	数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ( ) 設置数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ( )																																																																																			
		屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート	・設置する ・設置しない																																																																																			
		押え金具の材質、形状及び寸法	・アルミニウム製 L-30×15×20mm程度 ・ ( )																																																																																			
5	合成高分子系シート防水ルーフィング	屋根防水 防水層の種類	<table> <tr> <th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">断熱材</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">備 考</th></tr> <tr> <th>種類</th><th>使用料</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・POS</td><td>・S-F1</td><td rowspan="3"></td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="3">           脱気装置            ・設ける ・設けない            改修用ドレン            ・設ける ・設けない         </td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td>・S-M1</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・S4S</td><td>・S-M2</td><td rowspan="3"></td><td></td><td></td><td rowspan="3"></td></tr> <tr> <td>・S-F1</td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・S3S</td><td>・S-M1</td><td rowspan="3"></td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="3">           脱気装置            ・設ける ・設けない         </td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td>・S-M2</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M4S</td><td>・S-M1</td><td rowspan="3"></td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="3"></td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td>・S-M2</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・POS1</td><td>・S1-F1</td><td>種類 ( )</td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td><td rowspan="3">           脱気装置            ・設ける ・設けない            改修用ドレン            ・設ける ・設けない         </td></tr> <tr> <td>・S1-F2</td><td></td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> <tr> <td>・S1-M1</td><td>厚さ ( )</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・S4S1</td><td>・S1-M2</td><td rowspan="3"></td><td></td><td></td><td rowspan="13"></td></tr> <tr> <td>・S1-F1</td><td>・製造所の仕様</td><td>・製造所の仕様</td></tr> <tr> <td>・S1-F2</td><td>・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> </table>	工法	種別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用料	・POS	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S-F2	・ ( )	・ ( )	・S-M1			・S4S	・S-M2					・S-F1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	・S-F2	・ ( )	・ ( )	・S3S	・S-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない	・S-F2	・ ( )	・ ( )	・S-M2			・M4S	・S-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様		・S-F2	・ ( )	・ ( )	・S-M2			・POS1	・S1-F1	種類 ( )	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S1-F2		・ ( )	・ ( )	・S1-M1	厚さ ( )			・S4S1	・S1-M2					・S1-F1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	・S1-F2	・ ( )	・ ( )	
工法	種別	断熱材	仕上塗料				備 考																																																																															
			種類	使用料																																																																																		
・POS	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
	・S-F2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
	・S-M1																																																																																					
・S4S	・S-M2																																																																																					
	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様																																																																																		
	・S-F2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
・S3S	・S-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																	
	・S-F2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
	・S-M2																																																																																					
・M4S	・S-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様																																																																																		
	・S-F2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
	・S-M2																																																																																					
・POS1	・S1-F1	種類 ( )	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
	・S1-F2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
	・S1-M1	厚さ ( )																																																																																				
・S4S1	・S1-M2																																																																																					
	・S1-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様																																																																																		
	・S1-F2		・ ( )	・ ( )																																																																																		
		ルーフィングシートの厚み (S-F2、S-M2)	・軽歩行 (・POS ・S4S ・S3S ・M4S1) ・非歩行 (・POS ・S4S ・S3S ・M4S1)																																																																																			
		防湿用フィルム (S1-F2、S1-M2)	・設置する ・設置しない																																																																																			
		ルーフィングシートの種類及び厚さ	・改修標準仕様書 表3.5.1～3.5.3までによる ・ ( )																																																																																			
		絶縁用シート及び可変剛移行防止用シートの材質	・発泡ポリエチレンシート ・ ( )																																																																																			
		固定金具の材質及び寸法形状	・厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、S70i鋼板又は樹脂積層加工した鋼板 ・ ( )																																																																																			
		脱気装置の種類及び設置数量	・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ ( )																																																																																			
		接着工法の目地処理	・プレキャストコンクリート下地 (・ )																																																																																			
		プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-Fの場合)	・行う ・行わない																																																																																			
		機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け	・建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 倍の高圧力に対応した工法																																																																																			
		屋内防水 防水層の種類	<table> <tr> <th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th colspan="2">保護層</th></tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th><th>立上り部の保護モルタルの壁厚</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・P1S</td><td rowspan="3">S-C1</td><td>塗り厚さ</td><td></td></tr> <tr> <td>・工法</td><td></td></tr> <tr> <td>・床塗り工法</td><td>・7mm以上</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・下地モルタル塗り</td><td>・ ( )</td></tr> </table>			工法	種別	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタルの壁厚	・P1S	S-C1	塗り厚さ		・工法		・床塗り工法	・7mm以上			・下地モルタル塗り	・ ( )																																																															
工法	種別	保護層																																																																																				
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタルの壁厚																																																																																			
・P1S	S-C1	塗り厚さ																																																																																				
		・工法																																																																																				
		・床塗り工法	・7mm以上																																																																																			
		・下地モルタル塗り	・ ( )																																																																																			
		床塗りの場合の床の目地	目地割り (・2m程度 最大目地間隔3m程度) ・ ( )																																																																																			
		目地の種類 (・押し目地)	・ ( )																																																																																			
6																																																																																						

8

とい

(3.8.2)

(表3.8.1)

(表3.8.2)

9

アルミニウム製

(3.9.2)(3)

(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

(3.9.2)(4)

(3.9.3)

材種

・ ⑧ポリ塩化ビニル管（カラー）

・ 配管用鋼管（白管）

・ （ ）

といの受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔

工法

・ 図示（図面番号： ）

部材の種類

・ 押出し250形

・ 押出し300形

・ 押出し350形

・ 板材折曲げ形（本体幅（ ）mm、板厚 ・ 2.0mm ・（既設同等とする））

固定金具の間隔（ mm）

固定方法

・ （ ）

裏面処理

・ （ ）

工法

既存笠木等の撤去

・ 図示（図面番号： ）

下地補修の工法

・ 図示（図面番号： ）

板材折曲げ形の笠木の取付方法

・ 図示（図面番号： ）

笠木固定金具の工法

・ 図示（図面番号： ）

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

4

外壁改修工事

1

施工数量調査

○行

・ 行わない

調査範囲

・ ⑩

・ （ ）

調査項目

・ ⑪割れ部（ ・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上）

・ ⑫ひび及ひくずれ部分

・ ⑬腐蝕部

調査方法

・ ⑭

目視及びクラックスケール等（ ・ 足場 ・ ⑮ドラ）

報告書

2部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

2

改修工法の種類

(4.1.4)

(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上 げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
○・ タイル張り仕上 げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
		・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ○・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
		目地
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

3

改修工法等

(4.2.4)(1)

(4.2.5)

(4.2.6)

(4.4.6)

種類

・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

・ 手動式エポキシ樹脂注入工法

・ 機械式エポキシ樹脂注入工法

注入量（ ）

注入間隔（ ）

注入量（ ）

注入口間隔（ ）

注入量（ ）

注入口間隔（ ）

コータ採取検査

・ 行う

・ 行わない

・ 採取り個数（ ）

・ 採取り部分補修方法（ ）

(4.2.4)(2)

(4.2.6)

(4.3.7)

・ リカットシール材充填工法

材料

・ シーリング用材充填（ ・ PU-1 ・ PU-2 ・（ ））

・ 可とう性エポキシ樹脂充填

シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填

・ 行う

・ 行わない

(4.2.4)(3)

(4.2.7)

(4.3.8)

・ シール工法

材料

・ パテ状エポキシ樹脂

・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.4)(4)

(4.2.8)

(4.3.9)

・ 充填工法

材料

・ エポキシ樹脂モルタル

・ ポリマーセメントモルタル

(4.3.5)(5)

(4.3.10)

・ モルタル塗替え工法




材料

・ 現場調合材料

・ 既調合材料

・ 既装目地材の適用及び形状（ ）

・ 仕上げ厚（ ）

備考	・	 <b>(株)田端隆建築設計</b> 三重県知事登録第 1 - 8 6 1    一級建築士 No.3 5 2 5 5 1    田端 達也	設計代表者		設計担当者			SCALE	工事名称      上吉公民館長寿命化改修工事  図面名称      工事特記仕様書 2	A-02  原図：A3
	・		一級建築士 No.32003		一級建築士 No.372093		A3      -/-			
	・		No.352551		構造設計一級建築士 No.8984		南 賢治	DATE		
	・		田端達也		井上貴智		R5.3			



4

木下地等

(6.5.2)(1)(4)

(表6.5.1)

(6.5.2)(2)(7)

(6.5.2)(2)(4)

(6.5.2)(2)(9)

(表6.5.2)

(6.5.6)(1)

(6.5.7)(1)

(6.5.8)(1)

(6.5.9)(1)

(6.5.2)(3)(7)

(6.5.2)(3)(4)

(6.5.2)(4)(7)

(6.5.2)(4)(4)

(6.5.2)(5)

(6.5.2)(6)

(6.5.3)(1)

(6.5.3)(2)

(6.5.5)(1)

(6.5.5)(2)

(6.5.4)

(表6.6.1)

(6.6.3)

(6.6.4)

5

軽量鉄骨天井下

(6.6.2)

(表6.6.1)

(6.6.3)

(6.6.4)

6

軽量鉄骨壁下地

(6.7.3)

7

ビニル床シート、  
ビニル床タイル  
及びゴム床タイ  
ル張り

(6.8.2)

(6.8.2)(1)

(6.8.2)(2)

木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	含水率
下地材	A種・B種
造作材	A種・B種

製材

「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )

「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率・ 図示 (図面番号: )

造作材の材面の品質・ A種・ ( )

樹種

造作立	造作用集成材	集成材
・ 内部間仕切り軸組、床組		
・ 窓、出入口		
・ 床板張り		
・ 壁、天井下地		

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

造作立	品名・樹種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ 図示 (図面番号: )	
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )
化粧ばり構造用 造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )		・ ( )

「集成材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、見付け材面の品質・ 図示 (図面番号: )

含水率・ 15%以下・ ( )

造作用単板積層材

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、防虫処理・ 図示 (図面番号: )

含水率・ 14%以下・ ( )

「重文集成板の日本農林規格」による重文集成板

品名、曲げ強度、種別、接合性能、樹種及び寸法・ 図示 (図面番号: )

・ 合板等

品名（品目）	樹種名	接合の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

接合員等

造作材化粧面の釘打ち・ 隠し釘打ち・ ( )

諸金物

形状、寸法及び材質・ 図示 (図面番号: )

・ 防湿、防蟻処理

適用部位 図示 (図面番号: )

保存処理性能区分 ( )

薬剤の塗布等の処理方法 ( )

附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤・ 適用する (・ 薬剤の種類 ( )・ 適用部位 ( ) )

ボード原料接着剤への防湿・防蟻処理 ( )

・ 防虫処理・ 図示 (図面番号: )

野縁等の種類

○座内・ 25形・ ( )

・ 座外・ 25形・ ( )

形式及び寸法

・ 屋外・ 図示 (図面番号: )

・ 附属天井・ 図示 (図面番号: )

・ ふところ $\geq 3.0m$ ・ 図示 (図面番号: )

既存埋込みインサート・ 使用する・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う)

既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験

○行う ( 図示 (図面番号: ) )・ 行わない

・ 確認試験の箇所数 ( 3 箇所 )・ 確認強度 ( )

耐震性・耐風圧性を考慮した補強・ 図示 (図面番号: )

スタッド、ランナー等の種類

○図示 (図面番号: A-22 )

材料

○ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
F S	プレーン	2.5mm	抗菌

・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考
K T			2.0mm	

(6.8.2)(3)(7)(イ)	・ 帯電防止床シート又は床タイル																				
	<table> <tr> <th>種類</th><th>性能</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	性能	寸法	厚さ	備考															
種類	性能	寸法	厚さ	備考																	
(6.8.2)(3)(ウ)	・ 視覚障害者用床タイル																				
	<table> <tr> <th>種類</th><th>形状</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td><td>300×300×7.0mm</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm															
種類	形状	備考																			
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																				
(6.8.2)(3)(エ)	・ 耐動荷重性床シート																				
	<table> <tr> <th>種類</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	厚さ	備考																	
種類	厚さ	備考																			
(6.8.2)(3)(イハ)	・ 防滑性床シート又は床タイル																				
	<table> <tr> <th>種類</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	寸法	厚さ	備考																
種類	寸法	厚さ	備考																		
(6.8.2)(5)	・ ゴム床タイル																				
	<table> <tr> <th>種類</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	色柄	寸法	厚さ	備考															
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																	
(6.8.3)(1)	工法																				
(6.8.3)(2)(イ)	下地 ・ <input checked="" type="radio"/> 珪藻土塗り ・ <input checked="" type="radio"/> セル <sup>①</sup> ベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ( )																				
(6.8.3)(2)(イ)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ <input checked="" type="radio"/> する ・ 適用しない																				
8	カーペット敷き																				
(6.9.2)(1) (表6.9.1)	<table> <tr> <th>種別</th><th>糸の種類</th><th>パイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th><th>色柄</th></tr> <tr> <td>・ A種 ・ <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種</td><td>・ 羊毛 ・ <input checked="" type="radio"/> 絹糸 ・ ( )</td><td>・ <input checked="" type="radio"/> カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )</td><td>・ ( )</td><td>・ <input checked="" type="radio"/> 無地 ・ 柄物</td></tr> </table> 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)	種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・ A種 ・ <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種	・ 羊毛 ・ <input checked="" type="radio"/> 絹糸 ・ ( )	・ <input checked="" type="radio"/> カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ ( )	・ <input checked="" type="radio"/> 無地 ・ 柄物								
種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																
・ A種 ・ <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種	・ 羊毛 ・ <input checked="" type="radio"/> 絹糸 ・ ( )	・ <input checked="" type="radio"/> カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ ( )	・ <input checked="" type="radio"/> 無地 ・ 柄物																
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット <table> <tr> <th>パイルの形状</th><th>パイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td><td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )</td><td>・ 全面接着工法 ・ グリッパール工法</td><td>・ ( )</td></tr> </table>	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ 全面接着工法 ・ グリッパール工法	・ ( )										
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																	
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ 全面接着工法 ・ グリッパール工法	・ ( )																	
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	・ タイルカーペット <table> <tr> <th>種類</th><th>パイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td></td><td>・ カットパイル ・ ループパイル</td><td>・ 500×500 ・ ( )</td><td>・ 6.5 ・ ( )</td><td>・ ( )</td></tr> </table>	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500 ・ ( )	・ 6.5 ・ ( )	・ ( )										
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																	
	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500 ・ ( )	・ 6.5 ・ ( )	・ ( )																	
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	下敷き材 ・ 第2種第1号、厚さ8mm ・ ( ) 見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号: ) )																				
(6.9.3)(3)	織じゅうたんの積合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ( )																				
(6.9.3)(5)	タイルカーペットの敷き方 <table> <tr> <td>平場</td><td>・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )</td></tr> <tr> <td>階段部分</td><td>・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )</td></tr> </table> ・ ニードルパンチカーペット	平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )	階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )																
平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )																				
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )																				
9	合成樹脂床床																				
(6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)	弾性ウレタン樹脂系床床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																				
(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	エポキシ樹脂系床床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しの仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しの仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型床床仕上げ (・ 平滑)																				
10	フローリング張り																				
(6.11.4) (表6.11.2)	<table> <tr> <th>材料</th><th>種別</th><th>樹脂</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード(根太張用) ・ フローリングボード(直張用)</td><td></td><td>・ なら</td></tr> <tr> <td>・ 複合フローリング(根太張用) ・ 複合フローリング(直張用)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ ( )</td></tr> </table> 防湿処理 ・ 図示(図面番号: )	材料	種別	樹脂	・ フローリングボード(根太張用) ・ フローリングボード(直張用)		・ なら	・ 複合フローリング(根太張用) ・ 複合フローリング(直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )											
材料	種別	樹脂																			
・ フローリングボード(根太張用) ・ フローリングボード(直張用)		・ なら																			
・ 複合フローリング(根太張用) ・ 複合フローリング(直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )																			
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	・ 接着工法 <table> <tr> <th>材種</th><th>樹脂種</th><th>厚さ</th><th>幅・長さ</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ <input checked="" type="radio"/> 複合フローリング(直張用)</td><td>・ なら ・ <input checked="" type="radio"/> (既設)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ フローリングブロック(直張用)</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 継ぎ材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号: )	材種	樹脂種	厚さ	幅・長さ	・ フローリングボード(直張用)				・ <input checked="" type="radio"/> 複合フローリング(直張用)	・ なら ・ <input checked="" type="radio"/> (既設)			・ A種 ・ B種 ・ C種				・ フローリングブロック(直張用)			
材種	樹脂種	厚さ	幅・長さ																		
・ フローリングボード(直張用)																					
・ <input checked="" type="radio"/> 複合フローリング(直張用)	・ なら ・ <input checked="" type="radio"/> (既設)																				
・ A種 ・ B種 ・ C種																					
・ フローリングブロック(直張用)																					
(6.11.6)	変替え 下地調整 ・ ( ) 塗装 <input checked="" type="radio"/> クレタン樹脂珪酸エポキシ塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ( )																				
11	畳敷き																				
(6.12.2) (表6.12.1)	種類 ・ <input checked="" type="radio"/> 種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 K T - ( ・ I ・ II ・ III ・ K ・ N ) 樹脂縁和型畳の畳量 (J I S A 5902) ・ C 1 ・ C 2																				
12	せつこうボード、その他ボード及び合板張り																				
(6.13.2) (表6.13.1)	<table> <tr> <th>材種</th><th>種別</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> せつこうボード</td><td></td><td>壁 <input checked="" type="radio"/> 9.5(準不燃) <input checked="" type="radio"/> 12.5(不燃) 天井 <input checked="" type="radio"/> 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td></tr> <tr> <td>・ 化粧せつこうボード</td><td>・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td><td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td></tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td><td>・ 普通 ・ 立体模様</td><td>・ 9( ) ・ ( ) ・ 9( ) ・ 12.5( )</td></tr> <tr> <td>・ <input checked="" type="radio"/> けい酸カルシウム板</td><td>・ タイプⅡ0.8FK</td><td><input checked="" type="radio"/> 5 ・ <input checked="" type="radio"/> (準不燃)</td></tr> <tr> <td>・ 強化せつこうボード</td><td></td><td>・ 12.5</td></tr> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	<input checked="" type="radio"/> せつこうボード		壁 <input checked="" type="radio"/> 9.5(準不燃) <input checked="" type="radio"/> 12.5(不燃) 天井 <input checked="" type="radio"/> 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	・ 化粧せつこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9( ) ・ ( ) ・ 9( ) ・ 12.5( )	・ <input checked="" type="radio"/> けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK	<input checked="" type="radio"/> 5 ・ <input checked="" type="radio"/> (準不燃)	・ 強化せつこうボード		・ 12.5		
材種	種別	厚さ(mm)																			
<input checked="" type="radio"/> せつこうボード		壁 <input checked="" type="radio"/> 9.5(準不燃) <input checked="" type="radio"/> 12.5(不燃) 天井 <input checked="" type="radio"/> 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																			
・ 化粧せつこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																			
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9( ) ・ ( ) ・ 9( ) ・ 12.5( )																			
・ <input checked="" type="radio"/> けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK	<input checked="" type="radio"/> 5 ・ <input checked="" type="radio"/> (準不燃)																			
・ 強化せつこうボード		・ 12.5																			
(6.13.3)(4)(イ)	合板類の張付け <input checked="" type="radio"/> A種 ・ B種																				
(6.13.3)(7)(イ) (表6.13.5)	せつこうボードの目地工法 <input checked="" type="radio"/> 継目処理 ・ 突付け(・ベベルエッジ・スクエアエッジ) ・ 目返し(・ベベルエッジ・スクエアエッジ)																				

13壁紙張り  
(6. 14. 2)

(6. 14. 3)

14モルタル塗り  
(6. 15. 3)  
(6. 15. 5)  
(6. 15. 6)

15タイル張り  
(6. 16. 2)  
(6. 16. 3)

(6. 16. 3) (2)

(6. 16. 3) (5)

16セルフレベ  
リング材塗り  
(6. 17. 2) (6. 17. 3)

17断熱材  
(9. 5. 2)

(9. 5. 3)

1材料  
(7. 1. 3)

2下地調整  
(7. 2. 1～7. 2. 7)  
(表7. 2. 1) ～  
(表7. 2. 7)

3素地ごしらえ  
(7. 3. 1～7. 3. 7)  
(表7. 3. 1) ～  
(表7. 3. 7)

4錆止め塗料塗り  
(7. 4. 2) (7. 4. 3)  
(表7. 4. 3) ～  
(表7. 4. 5)

5防カビ樹脂系  
ペイント塗り(SOP)  
(7. 5. 3～7. 5. 4)  
(表7. 5. 1)～  
(表7. 5. 3)

6アクリラッカー  
塗り(OL)  
(7. 6. 2) (表7. 6. 1)

7アクリル樹脂系  
非水分散形塗料(NAD)  
(7. 7. 2) (表7. 7. 1)

8耐候性塗料塗り  
(DP)  
(7. 8. 2) ～  
(7. 8. 4)  
(表7. 8. 3)

防火性能

施工箇所	種類		不燃	準不燃
1階 会議室	ビニルクロス		○	●
1・2階 廊下	ビニルクロス(ジュラック)		○	●
			●	準不燃

素地ごしらえ

下 地	種 別
モルタル、せつこうプラスター面	・ A種 ・ B種
コンクリート面	○ A種 ・ B種
せつこうボード面	○ A種 ・ B種

モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料

既製目地材 ・ 使用する(形状: )

床の目地 ・ 図示(図面番号: )

下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は金張り厚が25mm超 図示(図面番号: )

伸縮調整目地

位置 ・ 図示(図面番号: A-29, 30 )

タイルの種類

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無
玄関ポーチ	磁器質	150角	無	特注色(既設同等)	
勝手口	磁器質	150角	有	標準色	
スロープ上端	磁器質	150角	有	標準色	

試験張り ・ 行う ・ 行わない

見本焼き ・ 行う ・ 行わない

既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

壁タイル張りの工法

・ 内装タイル( ・ 密着張り ・ 改良圧着張り )

・ ユニットタイル( ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り )

・ せつこう系 ・ ②シ系

塗厚( 5～10 )mm

※床材張替えに伴う下地調整程度とする

断熱材打込み工法

種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)

種類	厚さ[mm]	施工箇所
・ A種Ⅰ		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版
・ A種ⅠH	・ ( )	下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ ( )		・ ( )

塗装改修工事

種別 (改修面)

下地	種別	ひび割れ部の補修
○ 木部	・ RA種 ・ ⑨種 ・ RC種	
○ 鉄鋼面	・ RA種 ・ ⑨種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ モルタル、せつこうプラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ 押出成形セメント板面、コンクリート面(DP塗装)	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
○ せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ ⑨種 ・ RC種	

種別 (新規面)

下地	種別
○ 木部	・ A種 ・ ⑨種
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種
・ モルタル、せつこうプラスター面	・ A種 ・ B種
・ コンクリート、ALCパネル面	・ A種 ・ B種
・ 押出成形セメント板面、コンクリート面(DP塗装)	・ A種 ・ B種
○ せつこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ ⑨種

錆止めの塗料種別

鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ○

亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

錆止めの塗料塗り種別

鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ ・ C種

亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

塗料種別 ・ 1種 ・ ( )

種別

下地	種別
・ 木部	・ A種 ・ B種
○ 鉄鋼面	・ A種 ・ ⑨種 ・ C種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

種別


木部 ・ A種 ・ B種 ○

種別

・ A種 ・ B種

上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)

下地	種別
コンクリート面及び	・ A－1種 ・ A－2種
押出成形セメント板面	・ C－1種 ・ C－2種

備考	•	 <b>(株)田端隆建築設計</b> 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也	設計代表者		設計担当者				SCALE	工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事  図面名称 工事特記仕様書 4	A-04  原図：A3
	•		一級建築士 No.352551		一級建築士 No.332033		一級建築士 No.372093		A3 : -/-		
	•		構造設計一級建築士 No.0904		井上貴智				DATE		
	•		田端進也				南 賢治		R5.3		

9つや有合成樹脂  
エマルシオンベ  
イント塗り  
(EP-G  
(7.9.2)～(7.9.5)  
(表7.9.1)～  
(表7.9.4)

10合成樹脂エマ  
ルシオンペイン  
ト塗り(田  
(7.10.2)  
(表7.10.1)

11ウレタン樹脂  
ワニス塗り  
(U)  
(7.11.2)  
(表7.11.1)

12ステイン塗り  
(7.12.2)  
(表7.12.1)

13木材保護塗料  
塗り(VP)  
(7.13.2)  
(表7.13.1)

種別  
下地  
コンクリート、モルタル、  
プラスター、せっこうボード、  
その他ボード面  
木部(屋内)  
鉄鋼面(屋内)  
垂れめっき鋼面(屋内)  
種別  
・A種・B種・C種  
しみ止め( )  
種別  
・A種・B種  
工程1の着色・適用する・適用しない  
種類・ビグメントステイン塗り・オイルステイン塗り  
オイルステイン塗りの工程、塗料・( )  
種別  
・A種・B種

9環境配慮改修工事

1石綿含有建材の  
除去工事  
(9.1.1)

施工調査  
①石綿含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、  
監督職員に報告する。  
調査範囲・図示(図面番号: )  
貸与資料( )  
②分析による石綿含有建材の調査  
分析対象  
アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト  
分析方法  
・JISA1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部市販/レク材からの試料採取及び定性的判定方法)による  
・JISA1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による  
・JISA1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による  
・JISA1481-4(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法)による  
材料名  
・箇所数( )  
・箇所数( )  
・箇所数( )  
・箇所数( )  
・箇所数( )  
・箇所数( )  
サンプル数1箇所あたり3サンプル  
採取箇所・図示(図面番号: )  
・石綿じん濃度測定  
測定時期、場所及び測定点  
適用  
測定名称  
測定時期  
測定場所  
測定点  
(各施工箇所ごと)  
・測定1  
・測定2  
・測定3  
・測定4  
・測定5  
・測定6  
・測定7  
・測定8  
測定方法  
測定 3  
測定 1, 2, 4, 6, 7, 8  
測定 5  
メンブレンフィルタ直径(mm)  
25  
25  
47  
試料の吸引流量(L/min)  
・1・( )  
・5・( )  
・10・( )  
試料の吸引時間(min)  
・5・( )  
・120・( )  
・240・( )  
・事前調査の結果は、「石綿事前調査結果報告システム」を利用し、関係官庁への報告を行うこと。

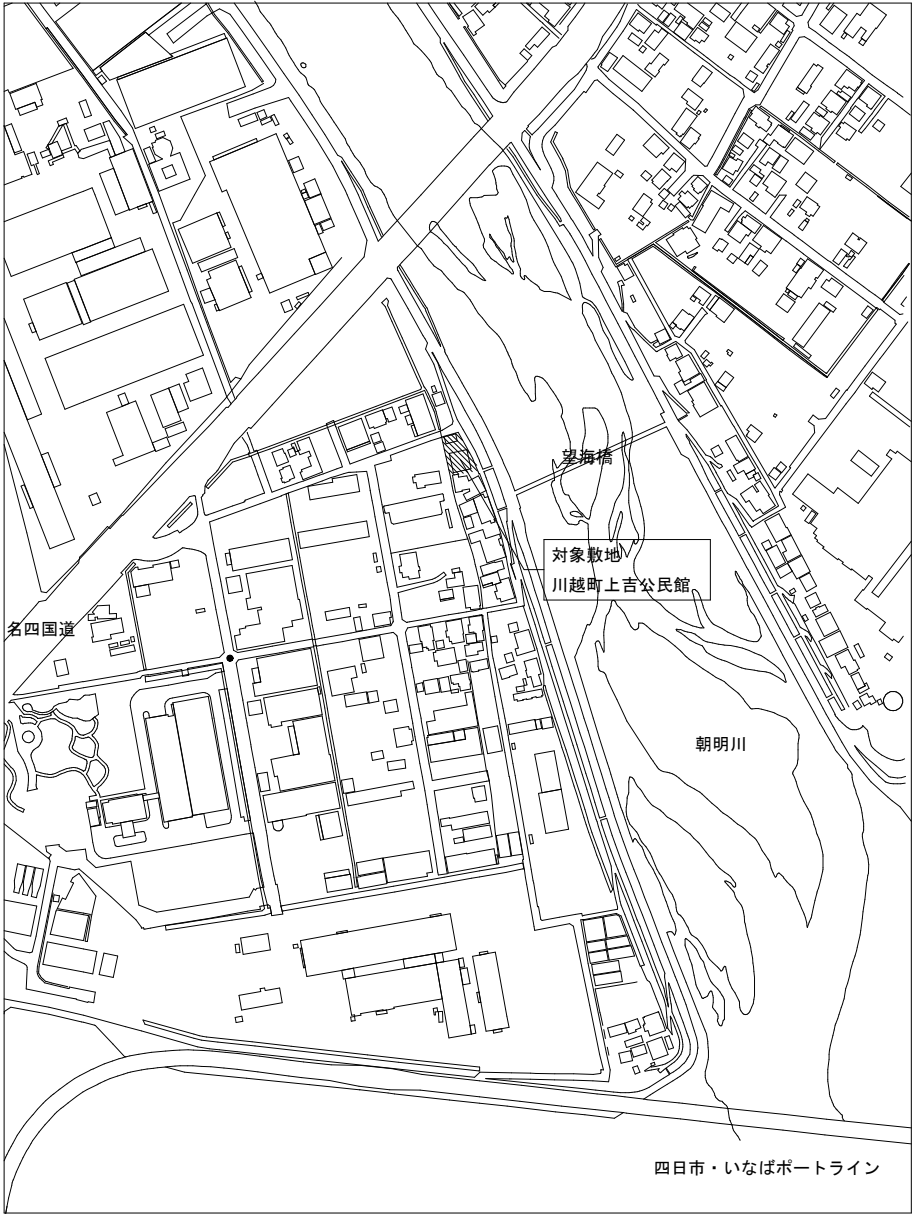
(9.1.3)

(9.1.4)

(9.1.5)

(9.1.6)

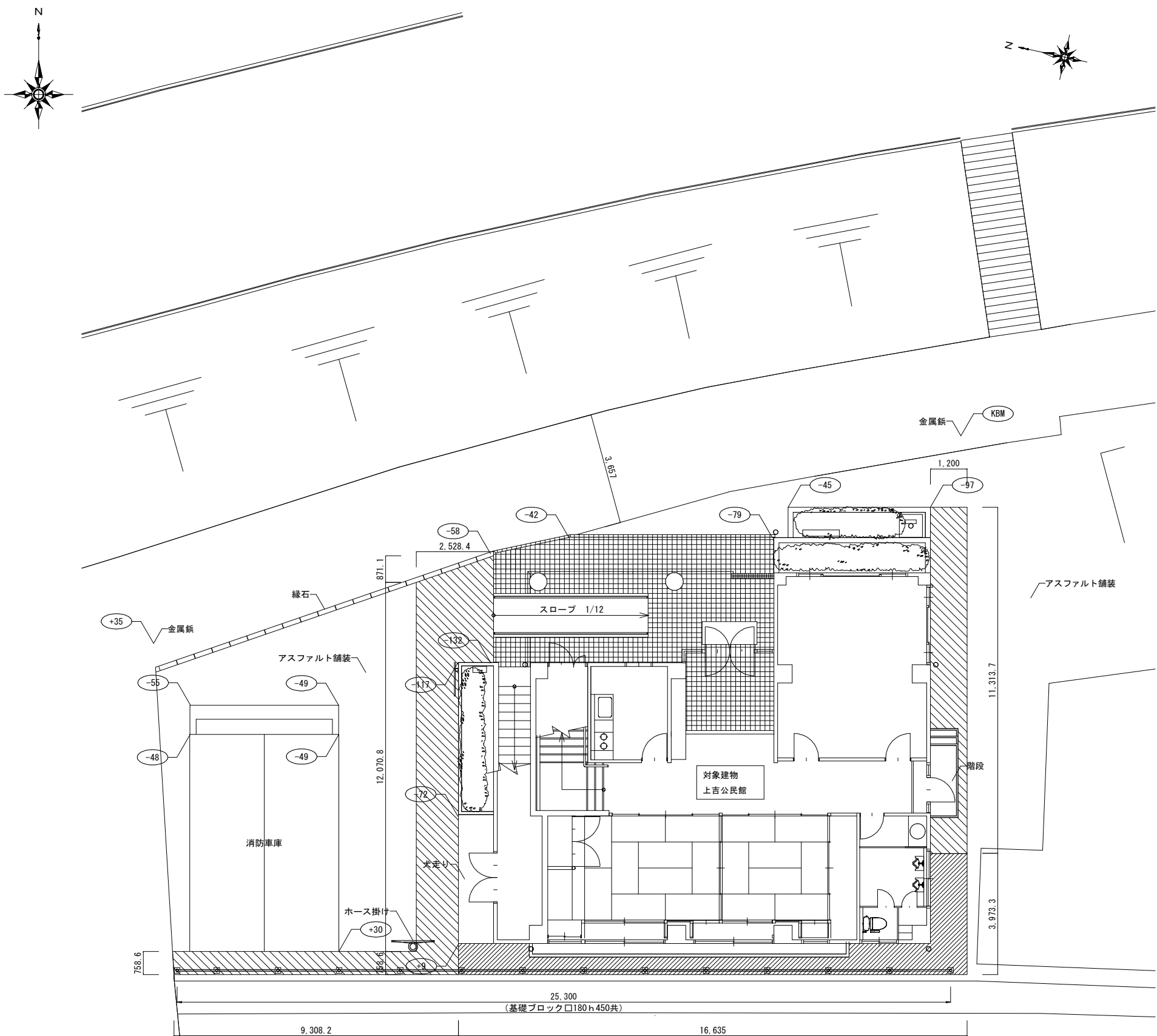
石綿含有吹付け材の除去  
除去対象範囲・図示(図面番号: )  
除去工法・改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による・( )  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止  
・湿潤化  
・面形成  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
・埋立処分(管理型最終処分場)  
・中間処理(熔融又は無害化による)  
石綿含有保温材等の除去  
除去対象範囲・図示(図面番号: )  
除去方法・改修標準仕様書9.1.4(1)による・( )  
除去した石綿含有保温材等の処分  
・埋立処分(管理型最終処分場)  
・中間処理(熔融又は無害化による)  
石綿含有成形板の除去  
除去対象範囲・図示(図面番号: A-07(トップライト内壁))  
石綿含有せっこうボードの処分  
・埋立処分(管理型最終処分場)  
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分  
・埋立処分(安定型最終処分場)  
・中間処理(熔融又は無害化による)  
石綿含有仕上塗材の除去  
除去対象範囲・図示(図面番号: )  
除去方法・( )  
除去した石綿含有仕上塗材等の処分  
・埋立処分(管理型最終処分場)  
・中間処理(熔融又は無害化による)  
汚泥としての処理・必要・不要  
※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。  
除去等作業の結果報告  
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。



付近見取図 S=1/5000

工事概要		
工事名称	上吉公民館長寿命化改修工事	
敷地概要	住所	三重郡川越町大字高松1301
	都市計画区域	-
	用途地域	工業地域
	防火地域	22条地域
	敷地面積	-
	指定建ぺい率	60 %
	指定容積率	200 %
	絶対高さ制限	指定無し
	道路	東面道路 4.0 m

建物概要							
建物名称	建物用途	構造	屋根	階数	床面積	建築面積	建築面積
上吉公民館	集会所	RC造	RC	2	117.00 m <sup>2</sup>	166.64 m <sup>2</sup>	
				1	143.10 m <sup>2</sup>		
				【計】	260.10 m <sup>2</sup>		



配置図 S=1/150

- コンクリート舗装 t 50 【撤去】 【新設】 範囲を示す
- 密粒度アスファルト舗装 【撤去】 【新設】 範囲を示す
- 密粒度アスファルト混合物 t 50
- 路盤材料 t 150 (再生クラッシャーラン RC-40)

備考	

(株)田端隆建築設計  
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 通也

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.352551 田端通也		一級建築士 No.332033 横道設計一級建築士 No.6954 井上貴智	一級建築士 No.372093 南 賢治

SCALE	A3 : 1/150
DATE	R5.3

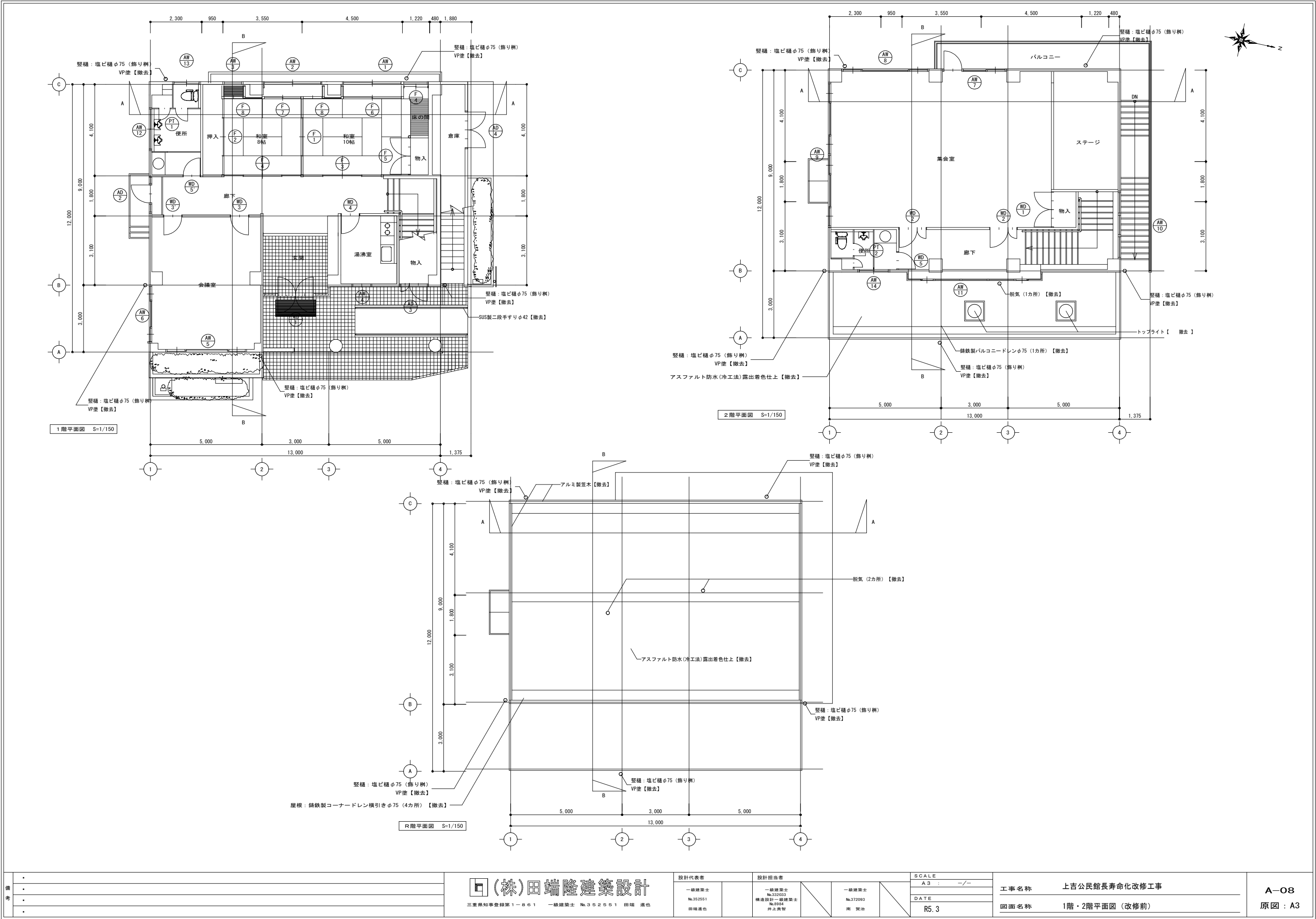
工事名称	上吉公民館長寿命化改修工事
図面名称	付近見取図・配置図・工事概要

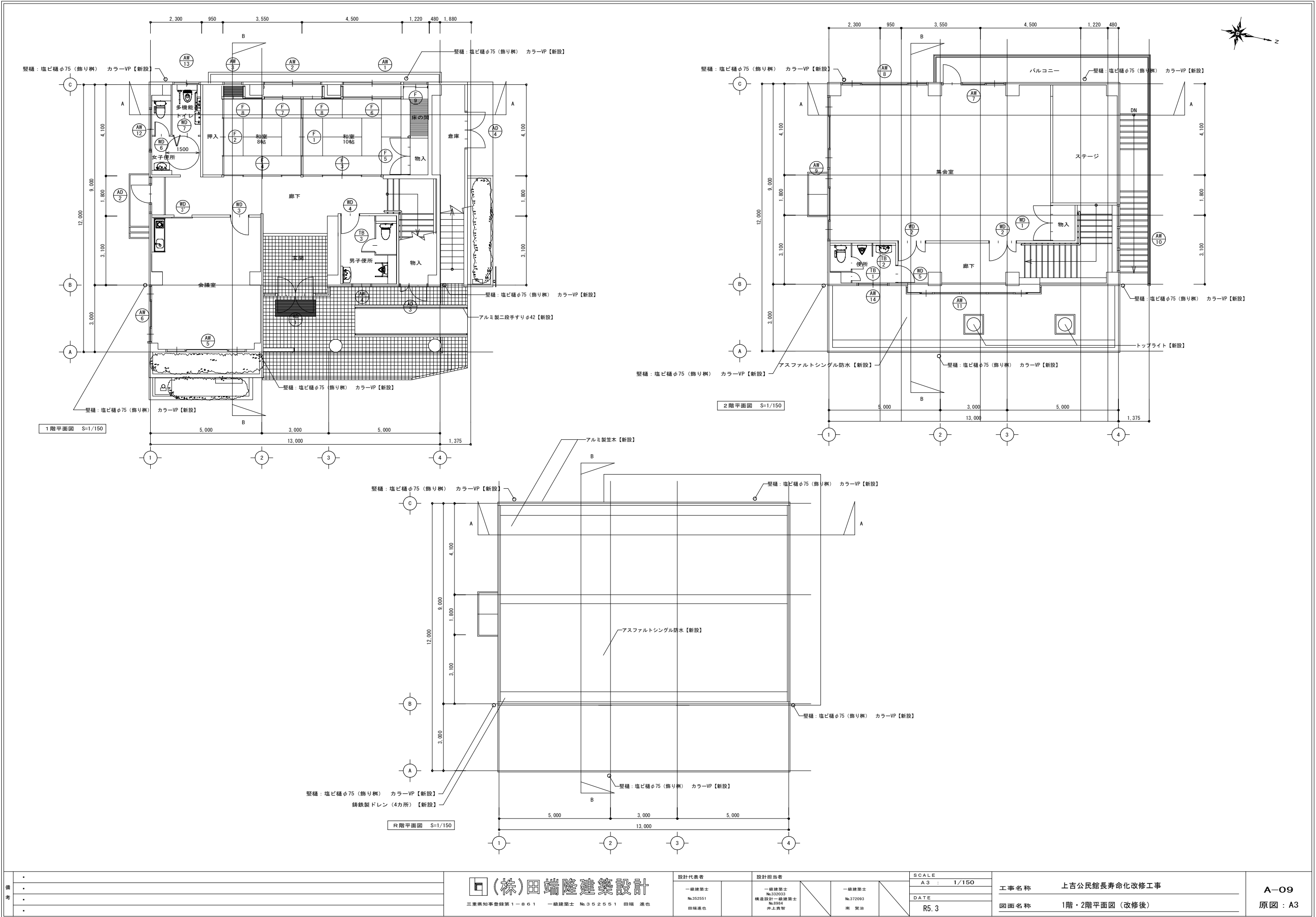
A-06  
原図 : A3

外 部 仕 上 表									
屋根・下屋		アスファルト防水(冷工法)露出着色仕上【撤去】 脱気(3カ所)【撤去】 下地調整の上、アスファルトシングル防水 ※田島ルーフィング㈱「ロフティ」、日新工業㈱「マルエスシングル」同等				ポーチ	磁器質床タイル貼 150角【一部撤去】段鼻役物【一部撤去】 柱型カバー【既設のまま】 磁器質床タイル貼 150角【一部撤去】段鼻役物【一部新設】		
笠木		アルミ笠木w225(カラー)【一時取外し】【再取付】				勝手口	内部：磁器質床タイル貼150角【撤去】 外部：モルタルコテ押え【撤去】 内部：磁器質床タイル貼150角t8【新設】 外部：モルタル金ゴテ仕上【新設】		
外壁		磁器質タイル貼り 小口タイル【一部撤去】 タラップ【既設のまま】 水洗い 磁器質タイル貼り 小口タイル【一部新設】				倉庫前床	モルタルコテ押え【既設のまま】 水洗い		
軒裏		岩綿吸音板t12(軒天用) EP吹付 下地調整の上、EP吹付				屋外階段	防水モルタルコテ押え(踏面・蹴上)【既設のまま】 段鼻・ノンスリップタイル【既設のまま】 水洗い		
ドレーン		屋根：鉄鉄製コーナードレン横引きφ75(4カ所)【撤去】 バルコニー：鉄鉄製バルコニードレンφ75(1カ所)【撤去】 屋根：改修用ルーフドレン改修用横引きφ75(4カ所)【新設】 バルコニー：改修用バルコニードレン改修用横引きφ75(1カ所)【新設】				バルコニー床	防水モルタルコテ押え【既設のまま】 水洗い		
タテ種		塩ビ種φ75(飾り柄) VP塗【撤去】 塩ビ種φ75(飾り柄) カラーVP【新設】				スロープ	コンクリート洗い出し仕上 SUS製二段手すりφ42【撤去】 樹脂モルタル剛毛引き仕上【新設】 アルミ製二段手すりφ42【新設】		
トップライト		600角型 ドーム【撤去】 アクリルルーバー800角【撤去】 内壁：石綿セメント板t5 AEP【撤去】※ 600角 トップライト【新設】 アルミ格子ルーバー800角t0.6×口15×h15【新設】 内壁：ケイカル板t5 EP塗【新設】				花壇	磁器質タイル貼り 小口タイル【既設のまま】		
勝手口庇見付		タイル張り【既設のまま】				天井裏換気孔	換気エルボ【撤去】(設備工事) 換気エルボ【新設】(設備工事)		
内 部 仕 上 表									
階	室 名		床	巾 木	壁	廻 縁	天 井	天井高	備 考
1 階	玄関	改修前	磁器床タイル貼 150角(モルタルコテ下地)	ミカゲ石(本ミガキ) h200【既設のまま】	磁器質タイル貼 小口タイル(モルタルコテ下地)【既設のまま】	塩ビ製	P8t9.5の上、岩綿吸音板t12.5(軒天用)EP吹付	2.650	下駄箱、上框・ミカゲ石(本ミガキ)【既設のまま】
		改修後	水洗い	－	－	－	既設の上、EP吹付	2.650	着脱式スロープ【新設】
	廊下	改修前	フリーリング貼モザイクパーケット【一部撤去】	マンガシロ QL h60【一部撤去】	軽鉄部：P8t9.5+TP8下地【一部撤去】 RC部：TP8t12.5下地 木部：ラスボードt7真壁下地 クロス貼(ジュラク)【撤去】	塩ビ製【撤去】	P8t9.5【一部撤去】の上、クロス貼【一部撤去】	2.600	－
		改修後	研磨の上、UC塗装 ※備考	QL塗装替え 木製 QL h60【一部新設】	LGS下地w65【一部新設】 P8t9.5+t9.5【一部新設】 クロス貼(ジュラク)【新設】	塩ビ製【新設】	P8t9.5【一部新設】の上、 クロス貼(絨目)【一部新設】	2.600	－
	会議室★	改修前	タイルカーペット敷き(絨毯、毛足7m/m)【撤去】 (モルタルコテ下地【一部撤去】)	マンガシロ QL h60【一部撤去】	軽鉄部：P8t9.5+TP8下地【一部撤去】の上、クロス貼【撤去】 RC部：TP8t12.5下地の上、クロス貼【撤去】	塩ビ製【撤去】	P8t9.5【撤去】の上、クロス貼【撤去】	2.600	カーテンボックス【既設のまま】
		改修後	タイルカーペット敷( t7、300角)【新設】 (モルタル金ゴテ下地【一部新設】)	QL塗装替え 木製 QL h60【一部新設】	クロス貼替え(不燃・抗菌)【新設】 LGS下地w65【一部新設】、P8t9.5+t9.5、クロス貼(不燃・抗菌)【新設】 RC部：化粧ケイカル板t6【新設】	塩ビ製【新設】	P8t9.5【一部新設】の上、 クロス貼(準不燃・絨目)【新設】	2.600	ミニキッチン ハーフユニット【新設】 LIXIL・DMK15HEW F100 (SbV-・飲料用電気温水器12L共) ハウステック：KM-H1508(同様)
	湯沸室	改修前	長尺塩ビシート貼【撤去】(モルタルコテ下地【撤去】)	マンガシロ QL h60【撤去】	アクリル系吹付タイル(小模様) 陶器質タイル貼100角【撤去】(モルタルコテ下地【撤去】)	塩ビ製【撤去】	P8t9.5 910×455【撤去】 階段裏：アクリル系吹付タイル(小模様)	2.300	キッチン台(流し台・ガス台・調理台)【撤去】
	男子便所	改修後	長尺塩ビシート貼t2.5【新設】(モルタル金ゴテ下地【新設】)	SUS製 HL h100【新設】	P8t12.5 (GL工法)の上、化粧ケイカル板t6【新設】	塩ビ製【新設】	ケイカル板t5.0 EP【新設】 階段裏：既設の上、EP塗装替え	2.300	トイレブース【新設】、メラミンカウンター【新設】 SUS製床見切りt35【新設】
	便所	改修前	モザイクタイル貼 25角【撤去】 手洗部：フリーリング貼モザイクパーケット【撤去】	－	陶器質タイル貼100角(モルタルコテ下地)【撤去】	塩ビ製【撤去】	P8t9.5 910×455【撤去】	2.300 2.350	洗面台(大理石カウンター)【撤去】 トイレブース【撤去】
	女子便所・ 多機能トイレ	改修後	長尺塩ビシート貼t2.5【新設】(モルタル金ゴテ下地【新設】)	SUS製 HL h100【新設】	P8t12.5 (GL工法)の上、化粧ケイカル板t6【新設】 LGS下地w50【新設】、P8t9.5の上、化粧ケイカル板t6【新設】	塩ビ製【新設】	ケイカル板t5.0 EP【新設】	2.300	トイレブース【新設】、メラミンカウンター【新設】
	和室	改修前	畳敷き【撤去】(床組【既設のまま】)	－	木部：ラスボードt7真壁下地の上、ジュラク壁塗【既設のまま】 RC柱型：石こうプラスター塗下地(コンクリート用)【既設のまま】	木製 二重廻子	杉敷目板貼(木下地)【既設のまま】	2.500	床の間【既設のまま】、押入【既設のまま】、 書院【既設のまま】
		改修後	畳敷き【表替え(綿引き 1等)】	－	－	－	－	2.500	－
	広えん	改修前	貼松板(木下地)【既設のまま】	雑巾ズリ【既設のまま】	木部：ラスボードt7真壁下地の上、ジュラク壁塗【既設のまま】 RC柱型：石こうプラスター塗下地(コンクリート用)【既設のまま】	木製 一重廻子	杉敷目板貼(木下地)【既設のまま】	2.370	－
		改修後	－	－	－	－	－	2.370	－
	押入	改修前	合板貼t5.5 @450(木下地)【既設のまま】	雑巾ズリ【既設のまま】	合板貼t4(木下地)【既設のまま】	木製【既設のまま】	合板貼t4(木下地)【既設のまま】	－	中段付【既設のまま】
		改修後	－	－	－	－	－	－	－
	階段	改修前	踏面・蹴上：フリーリング貼モザイクパーケット	マンガシロ QL h60	軽鉄部：P8t9+TP8下地の上、クロス貼(ジュラク)【撤去】 RC部：TP8t12下地の上、クロス貼(ジュラク)【撤去】	木製【既設のまま】	TP8t9.5の上、クロス貼(絨目)【既設のまま】	－	手すりφ34【既設のまま】
		改修後	踏面・蹴上：研磨の上、UC塗装 ※備考	QL塗装替え	クロス貼(ジュラク)【新設】	－	－	－	－
	倉庫	改修前	モルタルコテ押え【既設のまま】	－	コンクリート打放し【既設のまま】	－	コンクリート打放し【既設のまま】	－	－
		改修後	－	－	－	－	－	－	－
	物入	改修前	モルタルコテ押え【既設のまま】	－	コンクリート打放し【既設のまま】	－	コンクリート打放し【既設のまま】	－	－
		改修後	－	－	－	－	－	－	－
2 階	集会室★	改修前	フリーリング貼モザイクパーケット	マンガシロ QL h60	軽鉄部：P8t9.5+TP8下地の上、アクリル系吹付タイル(小模様) RC・CB部：TP8t12.5下地の上、アクリル系吹付タイル(小模様)	塩ビ製【既設のまま】	岩綿吸音板t19(P8捨貼t9.5)【既設のまま】	2.600 ～3.200	カーテンボックス【既設のまま】
		改修後	研磨の上、UC塗装 ※備考	QL塗装替え	既設の上、EP塗装	－	－	2.600 ～3.200	－
	ステージ	改修前	フリーリング貼モザイクパーケット(木下地組【既設のまま】)	マンガシロ QL h60	軽鉄部：P8t9.5+TP8下地の上、アクリル系吹付タイル(小模様) RC・CB部：TP8t12.5下地の上、アクリル系吹付タイル(小模様)	塩ビ製【既設のまま】	岩綿吸音板t12.5(P8捨貼t9.5)【既設のまま】	2.300	移動式階段【既設のまま】
		改修後	研磨の上、UC塗装 ※備考	QL塗装替え	既設の上、EP塗装	－	－	2.300	－
	廊下	改修前	フリーリング貼モザイクパーケット	マンガシロ QL h60	軽鉄部：P8t9.5+TP8下地の上、クロス貼(ジュラク) RC部：TP8t12.5下地の上、クロス貼(ジュラク)	塩ビ製【既設のまま】	TP8t9.5の上、クロス貼(絨目)【既設のまま】	2.600	－
		改修後	研磨の上、UC塗装 ※備考	QL塗装替え	クロス貼(ジュラク)【新設】	－	－	2.600	－
	便所	改修前	モザイクタイル貼 25角【撤去】(アスファルト防水の上、モルタルコテ下地) 手洗部：フリーリング貼モザイクパーケット【撤去】	－	陶器質タイル貼100角【撤去】(モルタルコテ下地【撤去】)	塩ビ製【撤去】	化粧P8t9.5突付張り【撤去】	2.300 2.350	洗面台(大理石カウンター)【撤去】 トイレブース【撤去】
		改修後	スタイロフォームt50の上、ラワン合板t9 長尺塩ビシート貼t2.5【新設】(モルタル金ゴテ下地【新設】)	SUS製 HL h100【新設】	P8t12.5 (GL工法)の上、化粧ケイカル板t6【新設】	塩ビ製【新設】	ケイカル板t5.0 EP【新設】	2.300	トイレブース【新設】、メラミンカウンター【新設】 尾臺石【新設】、SUS製床見切りt35【新設】
	物入	改修前	モルタルコテ押え【既設のまま】	－	P8t9.5+TP8(軽鉄下地)【既設のまま】	塩ビ製【既設のまま】	P8t9.5【既設のまま】	2.600	－
		改修後	－	－	－	－	－	2.600	－
備考	・右記の材料は新規に使用しない。①吹付け石綿 ②吹付けロックウール(含有石綿0.1%超) ・内装材(天井裏等の措置も含む)は全てF☆☆☆☆とする。 ・室名★は、環境測定対象室とする。				・塗装塗替えは、モルタル面、ボード面、木部、鉄部、各下地調整を行うものとする。 ・手洗い、鏡、便所内手摺、調理実習台、流し、コンロ等の【撤去】、【新設】、【取替】は設備工事とする。 ・水洗いは10～15MPa、高圧水洗浄は30～50MPa程度とする。		※モザイクパーケット欠損部及び、不接合のものは、既設のサイズの製造がないため便所手洗部の撤去材にて補修を行うこと。 ※浮き部分は全面調査のもと、監督員と協議し、可能な範囲で張替えを行うこと。		

備 考	・	<div>田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計代表者	設計担当者	<div>一級建築士 No.32033 横道設計一級建築士 井上真智</div>	<div>一級建築士 No.372093 南 賢治</div>	SCALE	工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事 図面名称 仕上表	A-07 原図：A3
	A3： ー/ー								
	DATE								
	R5.3								







備考	・
	・
	・
	・

(株)田端隆建築設計

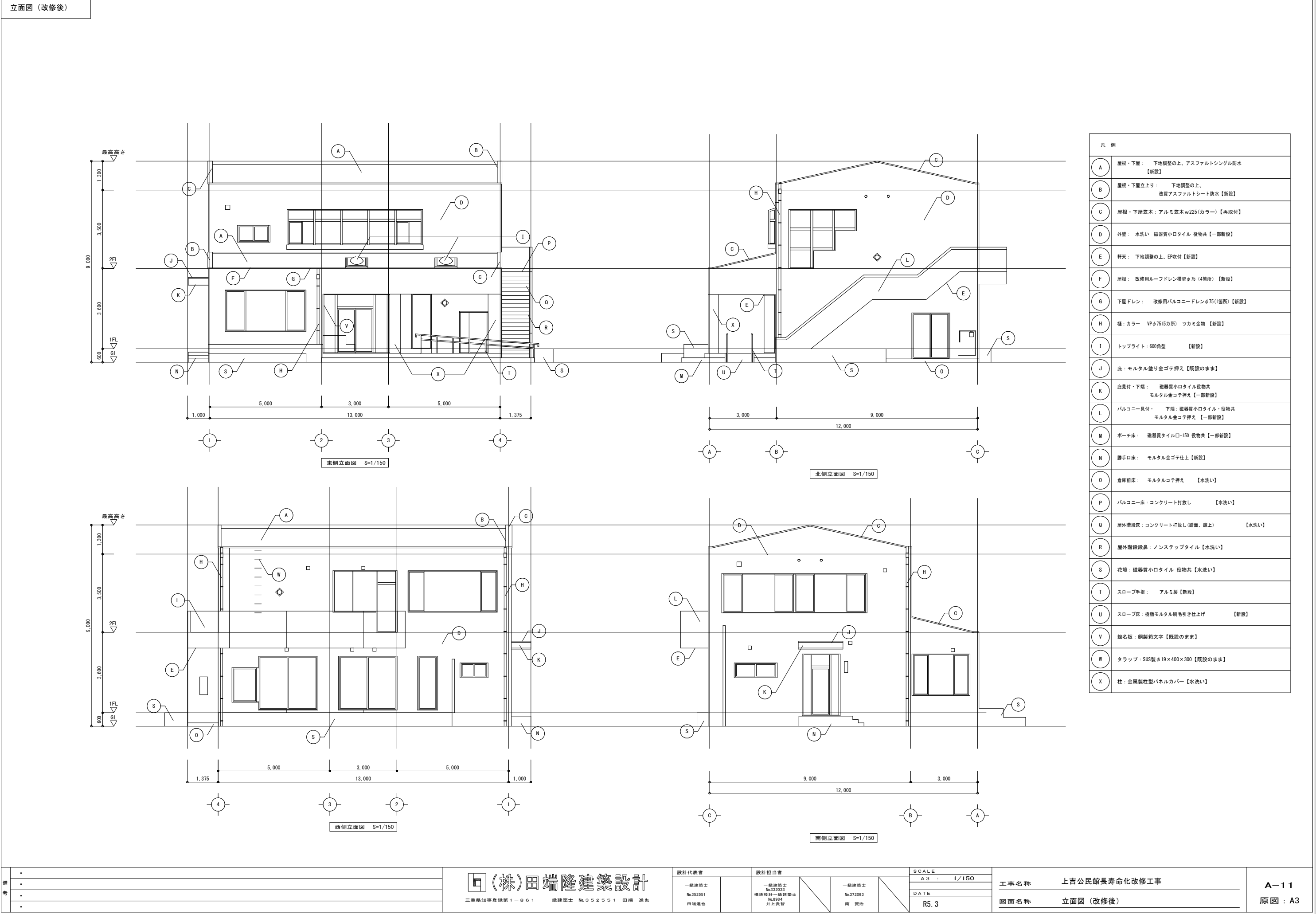
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

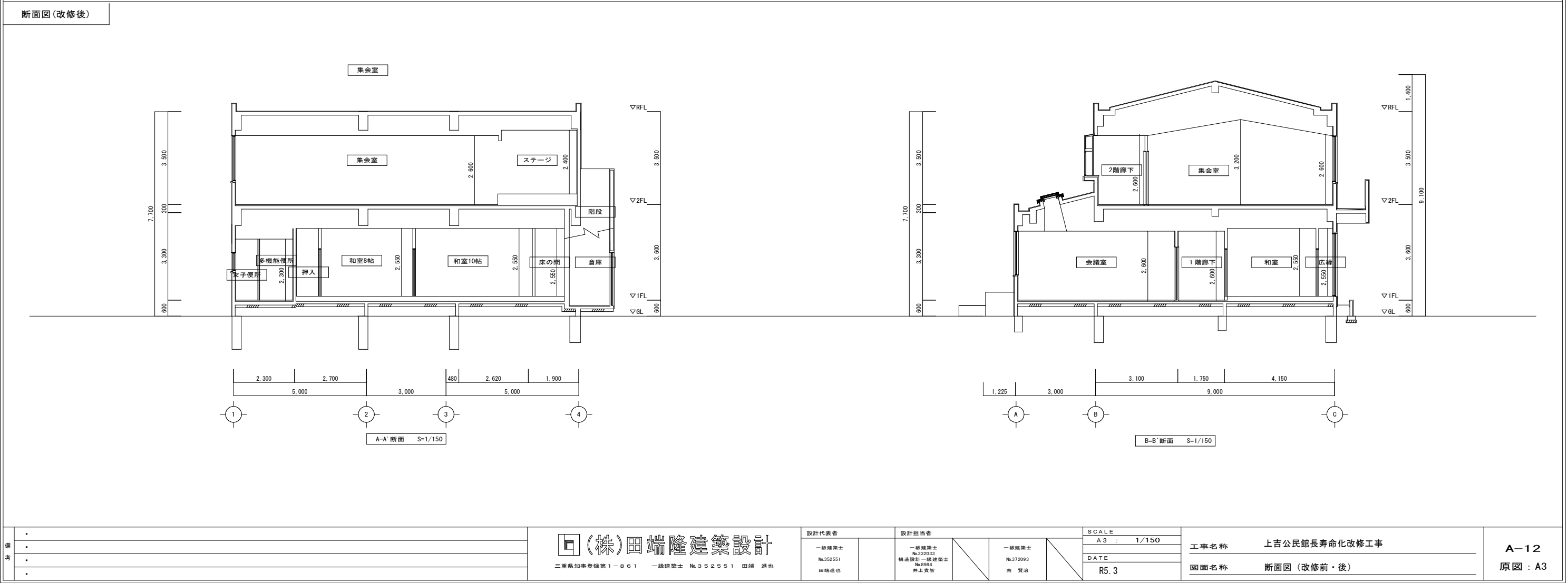
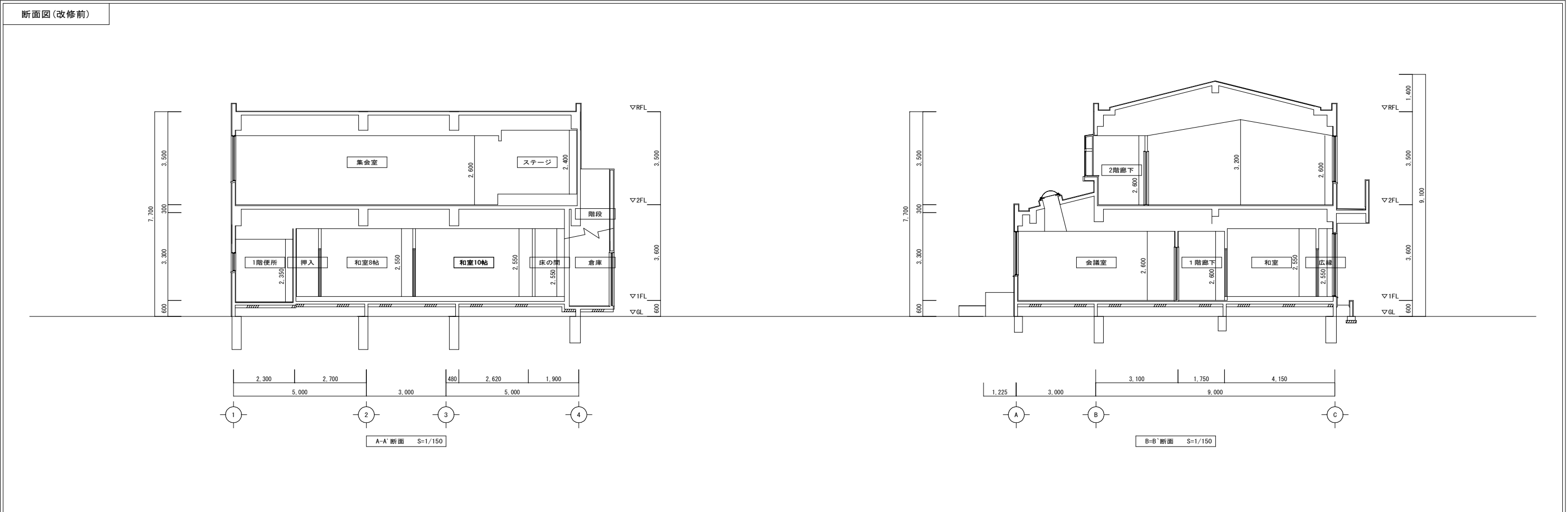
設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.372093 井上貴智	一級建築士 No.372093 南 賢治

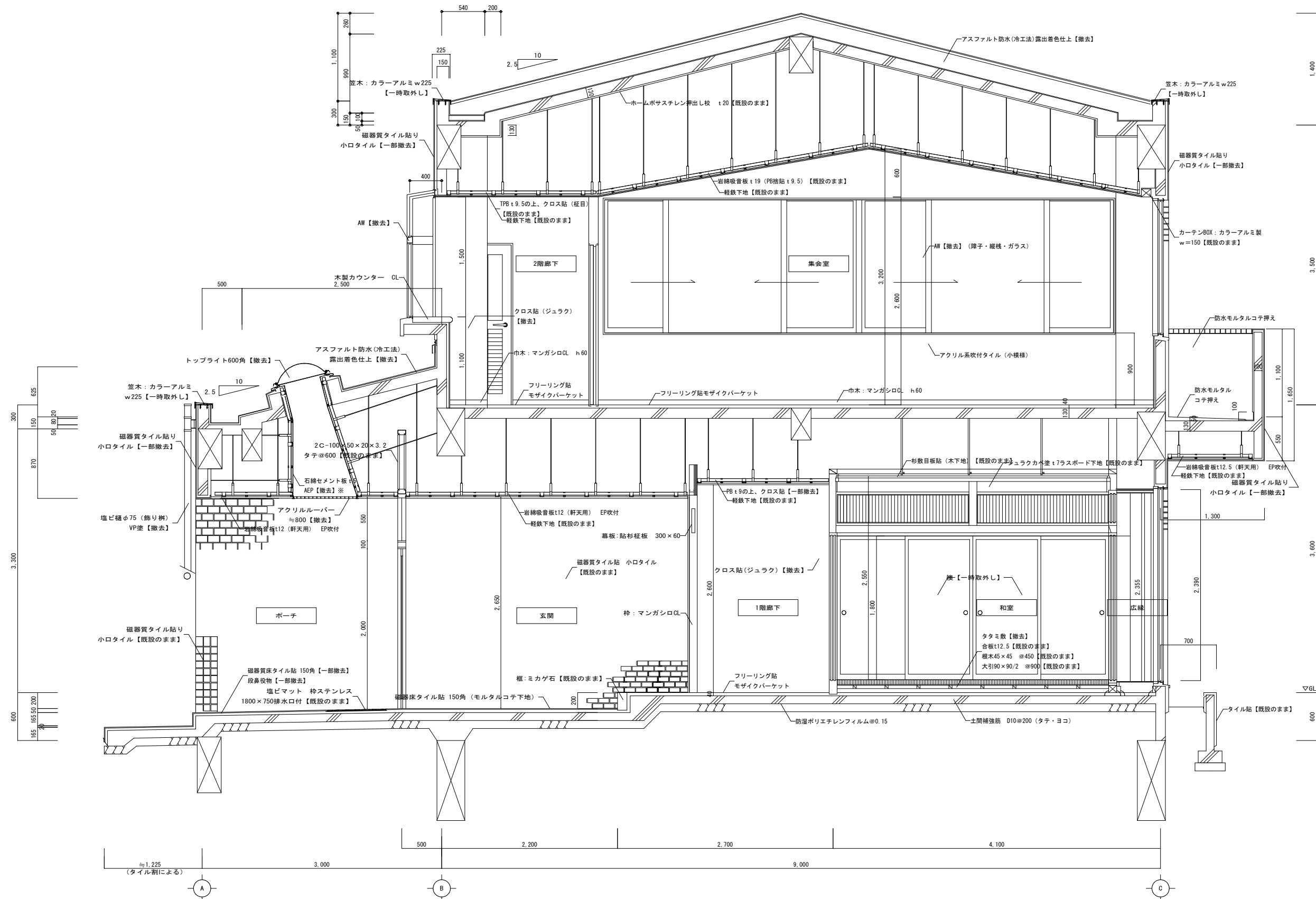
SCALE
A3 : 1/150
DATE
R5.3

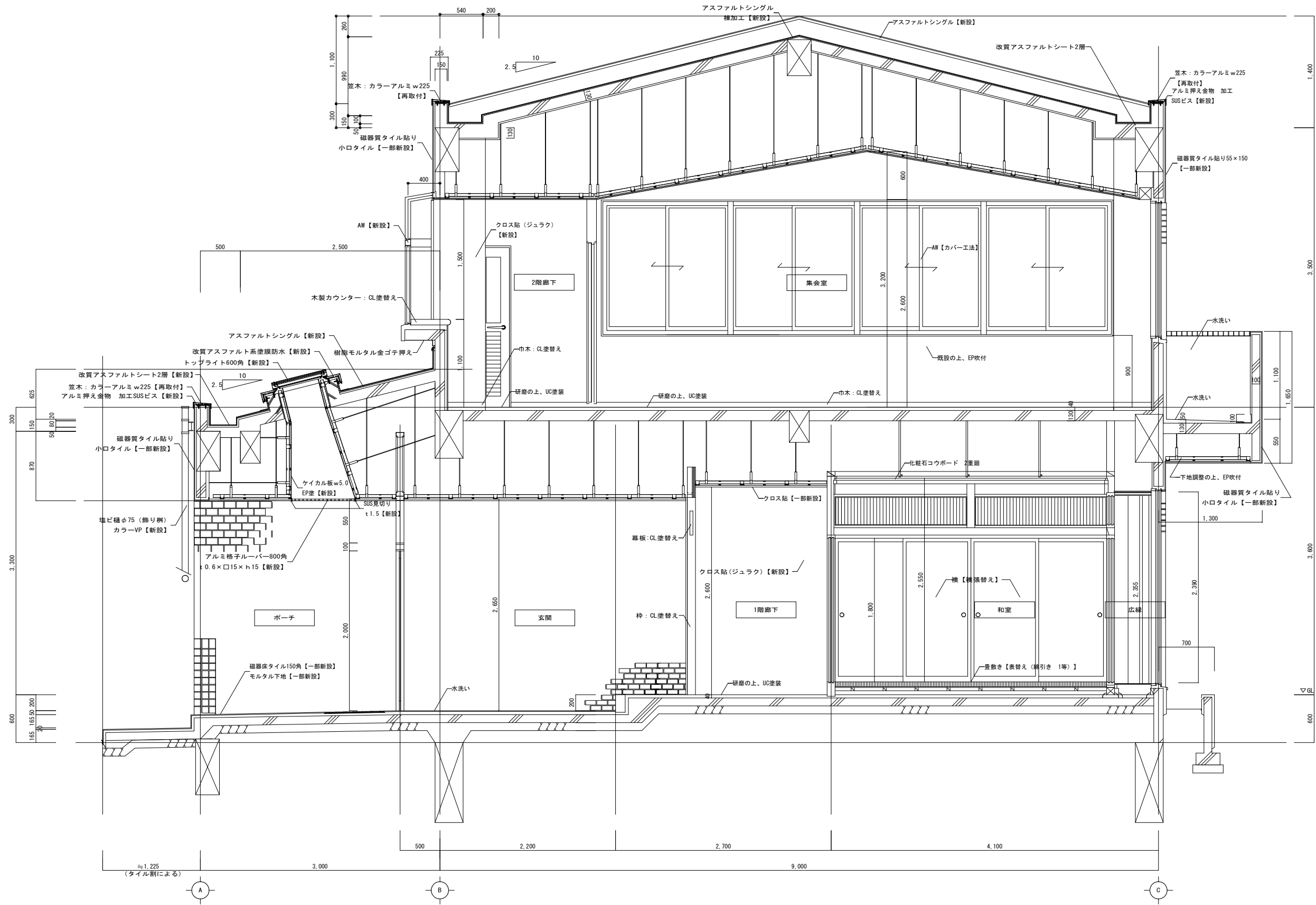
工事名称	上古公民館長寿命化改修工事
図面名称	1階・2階平面図 (改修後)











備考	・
	・
	・
	・

 (株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者

一級建築士  
No.352551  
田端 進也

設計担当者

一級建築士  
No.332033  
構造設計一級建築士  
No.8984  
井上 貴智

一級建築士  
No.312093  
南 賢治

SCALE

A3 : 1/50

DATE

R5.3

工事名称

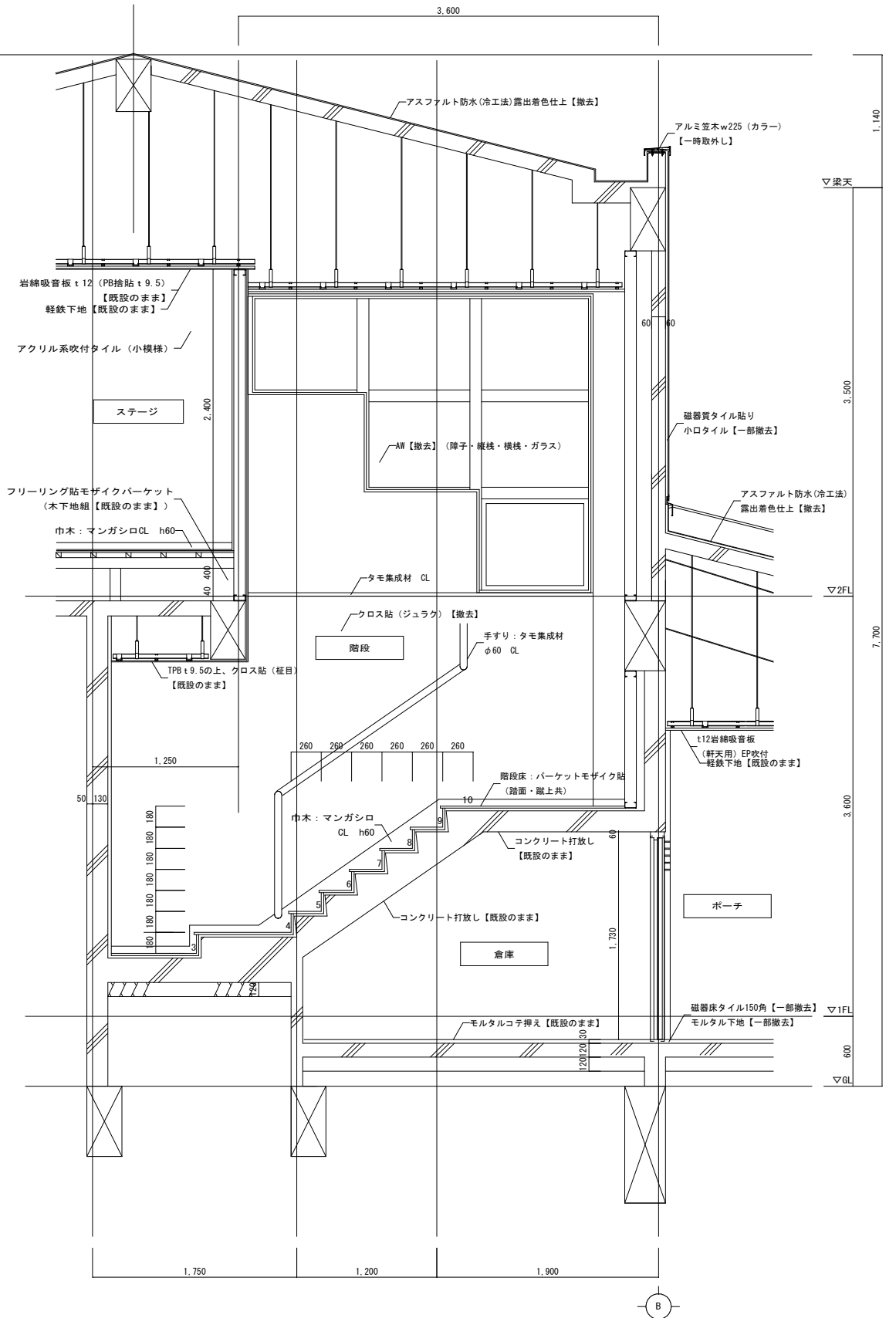
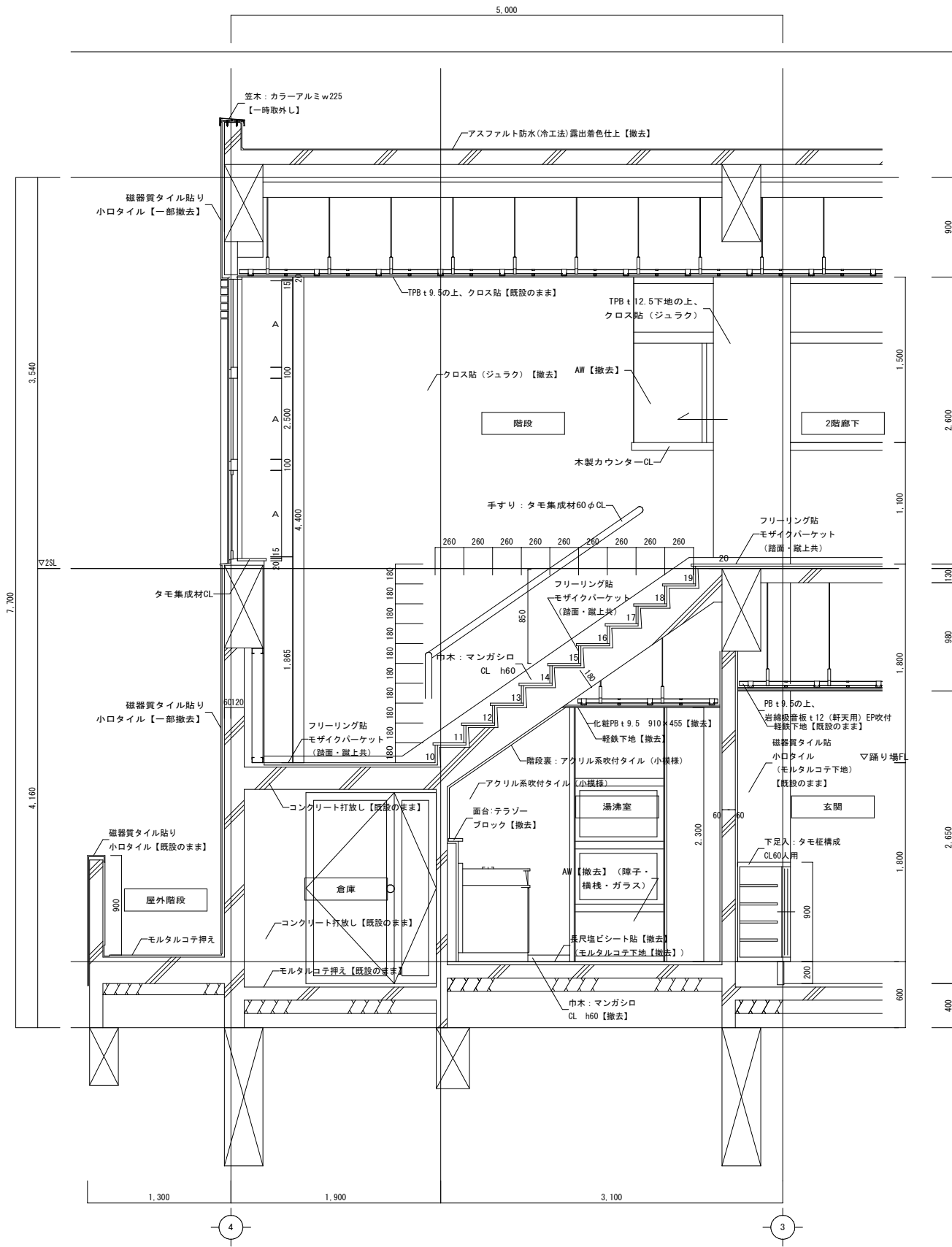
上吉公民館長寿命化改修工事

図面名称

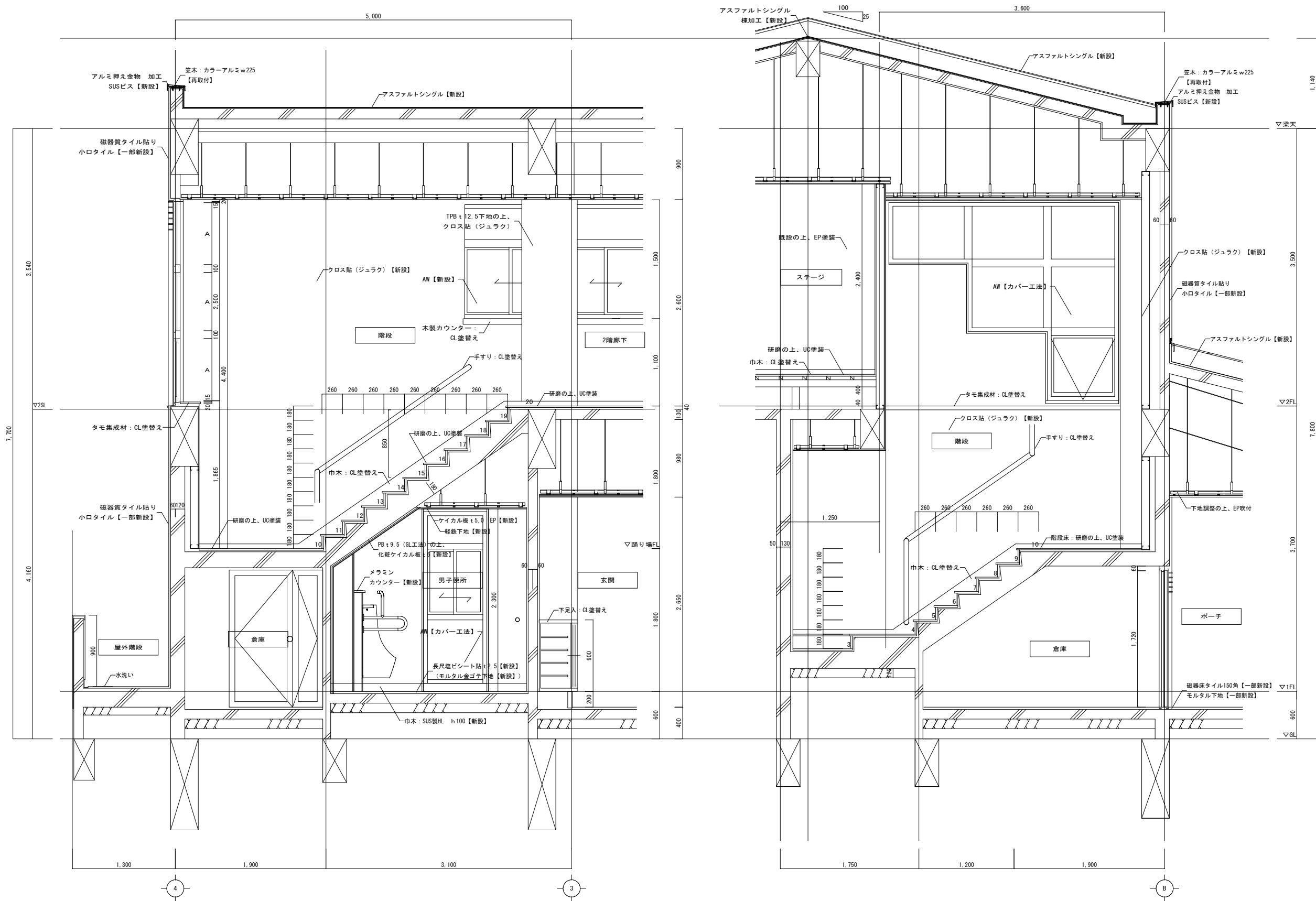
矩計図(改修後)

A-14

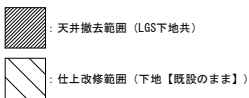
原図 : A3





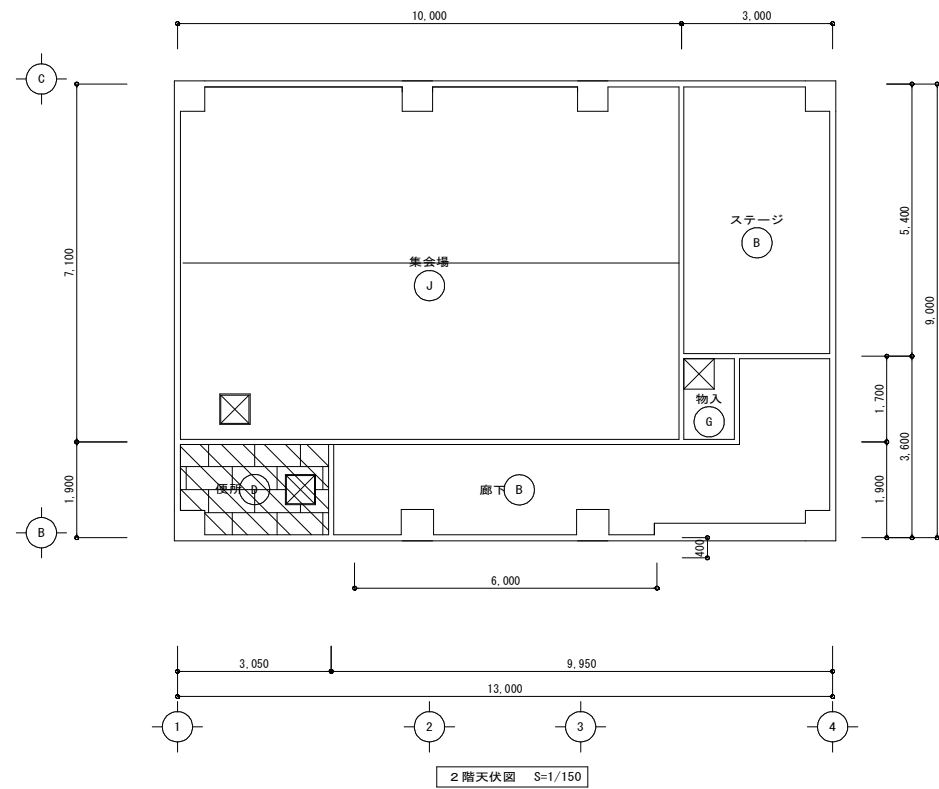
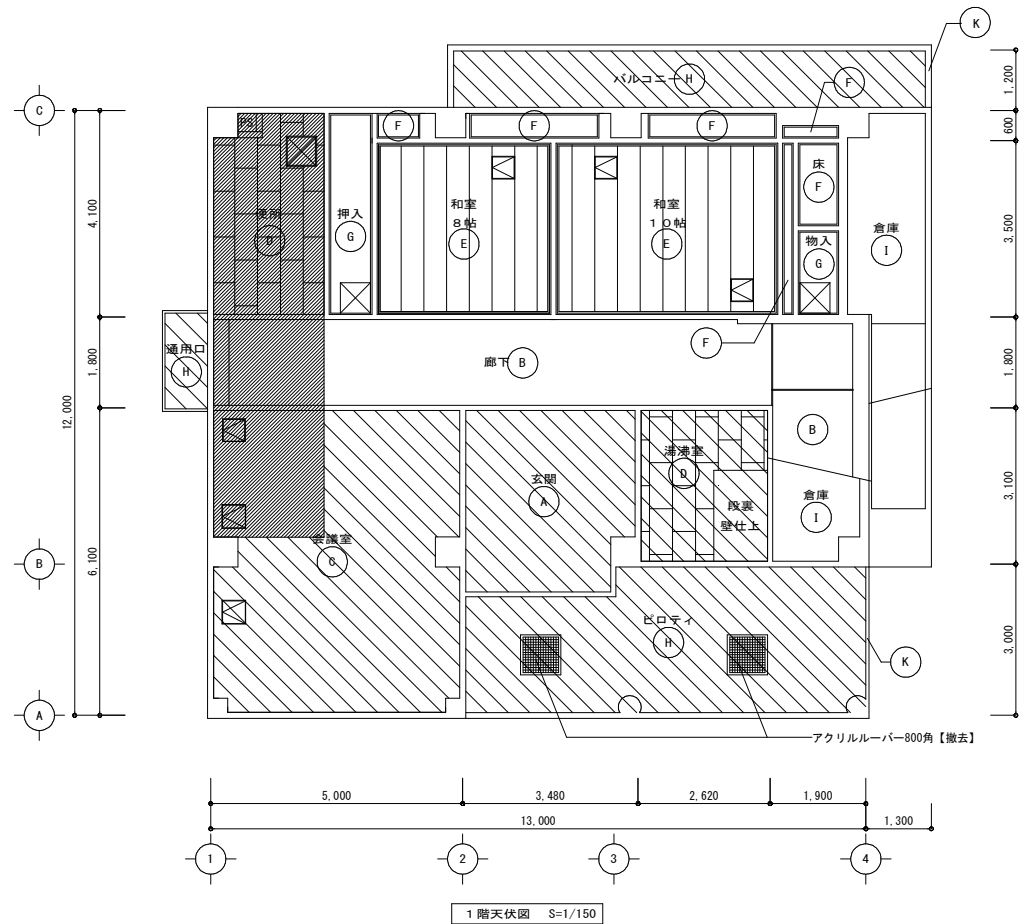


1階・2階天伏図（改修前）

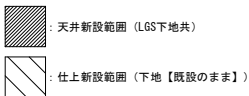


仕上改修範囲（下地【既設のまま】）

凡 例	
	PB t 9.5の上、岩綿吸音板 t 12 (軒天用) EP吹付
	TPB t 9.5【一部撤去】の上、クロス貼【撤去】
	TPB t 9.5【一部撤去】の上、クロス貼【撤去】
	化粧PB t 9.5 910×455【撤去】 階床裏：アクリル系吹付タイル (小模様)
	杉敷目板貼 (木下地) 【既設のまま】
	合板貼 t 4 (木下地) 【既設のまま】
	合板貼 t 4 (木下地) 【既設のまま】
	岩綿吸音板 t 12 (軒天用) EP吹付
	コンクリート打放し【既設のまま】
	岩綿吸音板 t 19 (PB捨貼 t 9.5) 【既設のまま】
	タイル張り【既設のまま】
	天井点検口 450×450 アルミ枠
	天井点検口 600×600 アルミ枠
	天井改め口

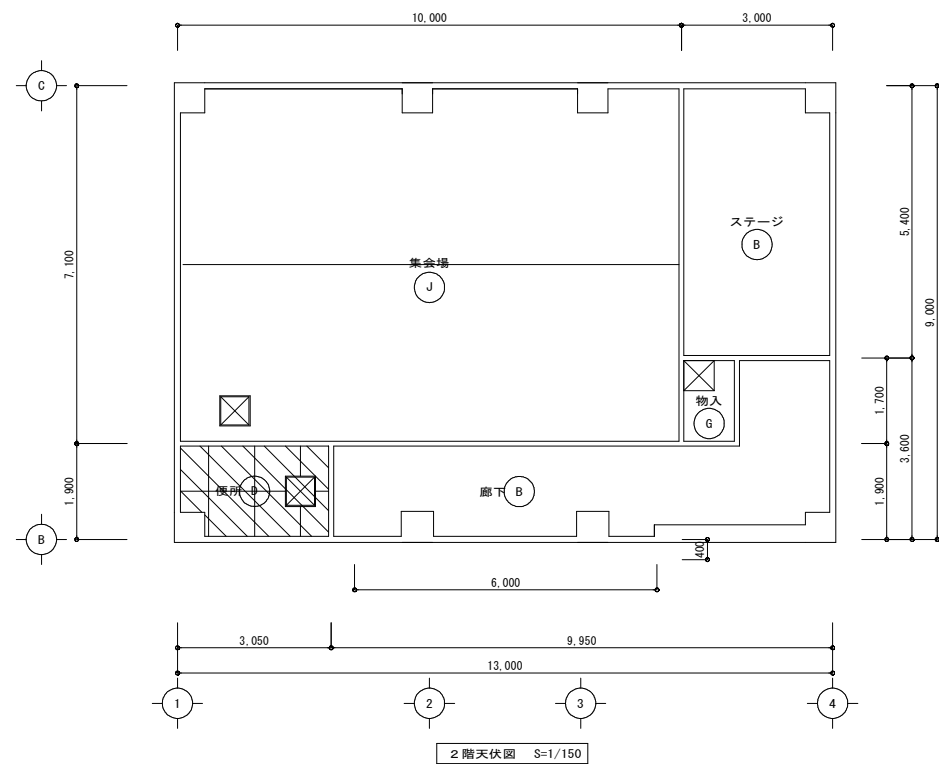
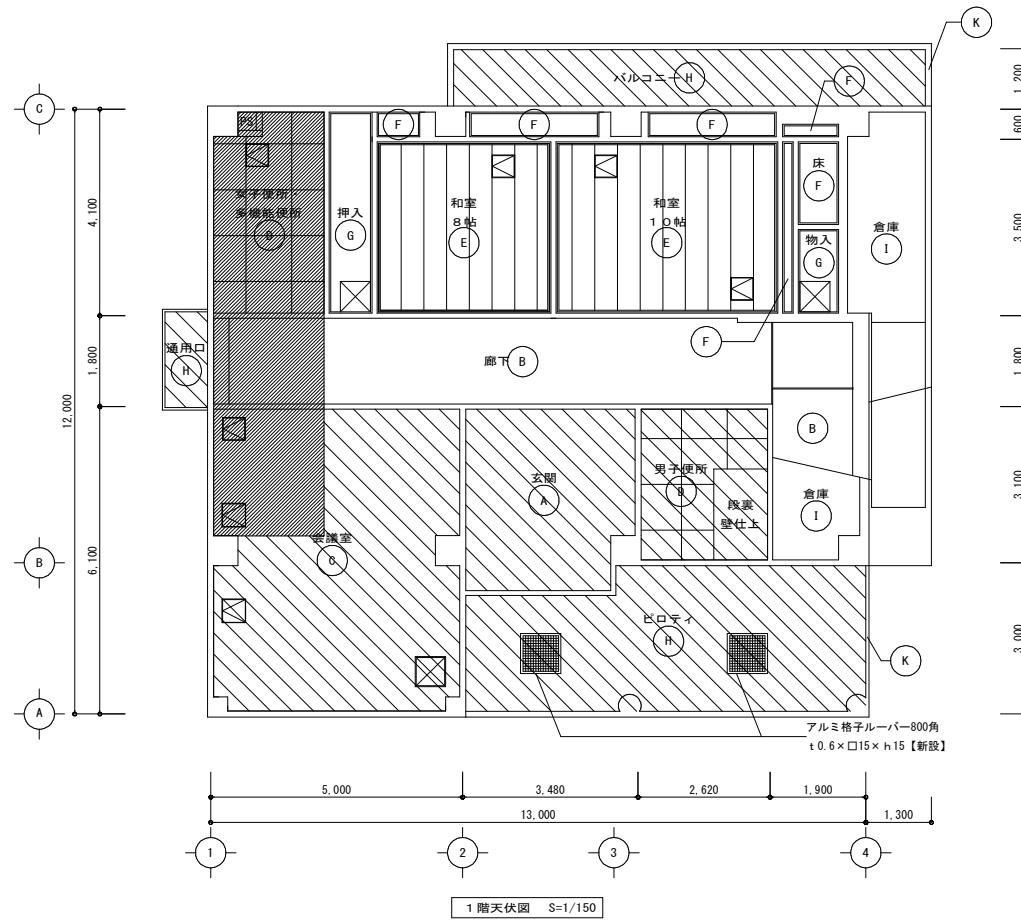


1階・2階天伏図（改修後）



仕上新設範囲（下地【既設のまま】）

凡 例	
(A)	既設の上、EP吹付
(B)	PB t 9.5【一部新設】の上、クロス貼（準不燃・柱目） 【新設】
(C)	PB t 9.5【一部新設】の上、クロス貼（準不燃・柱目） 【新設】
(D)	ケイカル板 t 5.0 EP【新設】 階段裏：既設の上、EP塗替え
(E)	杉敷目板貼（木下地）
(F)	合板貼 t 4（木下地）
(G)	合板貼 t 4（木下地）
(H)	下地調整の上、EP吹付
(I)	コンクリート打放し
(J)	岩綿吸音板 t 19（PB拵貼 t 9.5）
(K)	タイル張り
	天井点検口 450×450 アルミ枠
	天井点検口 600×600 アルミ枠
	天井改め口



記号	数量	AD 1		1ヶ所	AD 2		1ヶ所	AD 3		1ヶ所
姿 図	撤去									




記号	数量	AW 9		1ヶ所	AW 10		1ヶ所	AW 11		1ヶ所		
姿 図	撤去（障子・縦桟・ガラス）		改修（カバー工法）		撤去（障子・ガラス）		改修（カバー工法）		撤去 突合せ部テオコルコーキング 上部状態		新設 上部状態	
	場所		集会室		階段		2F 廊下					
	形式	見込	2連両片引 アルミサッシ	70	4連引違い窓	70	仮設しアルミサッシ+内側しアルミサッシ	70	片引き付仮設しアルミサッシ	70	引違い、仮設しアルミサッシ	70
	仕上	材質	カラー	-	ステンレス調	アルミ	市販カラー	-	市販カラー	-	ステンレス調	アルミ
硝子	下端	ブロンズシリガラス t5		FL+900	強化ガラス t5	FL+900	ブロンズ透明ガラス t5	FL+	強化ガラス t5	FL+1100	強化ガラス t5	FL+1100
付属金物	引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		レバーハンドル、隠し丁番、アルミ水切、アングルピース、フック棒		レバーハンドル、隠し丁番、アルミ水切、アングルピース、フック棒		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース	
備考	網戸（ステン網）		網戸		網戸（ステン網）		網戸		網戸（ステン網）		網戸	
記号	数量	AW 12		1ヶ所	AW 13		1ヶ所	AW 14		1ヶ所		
姿 図	撤去（障子）		改修（カバー工法）		撤去（障子）		改修（カバー工法）		撤去（障子）		改修（カバー工法）	
	場所		1F 便所		1F 便所		2F 便所					
	形式	見込	引違いアルミサッシ	70	引違いサッシ+滑り出し窓	70	引違いアルミサッシ	100	引違いアルミサッシ	100	引違い	100
	仕上	材質	市販カラー	-	ステンレス調	アルミ	カラー	-	カラー	-	ステンレス調	アルミ
硝子	下端	網入りブロンズ型ガラス t6.8		FL+1135	型板強化ガラス t4	FL+1135	網入りブロンズ型ガラス t6.8	FL+1135	型板強化ガラス t4	FL+1135	型板強化ガラス t4	FL+1135
付属金物	引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース、レバーハンドル、隠し丁番		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース	
備考	網戸（ステン網）		網戸		網戸（ステン網）		網戸		網戸（ステン網）		網戸	

カーテンリスト

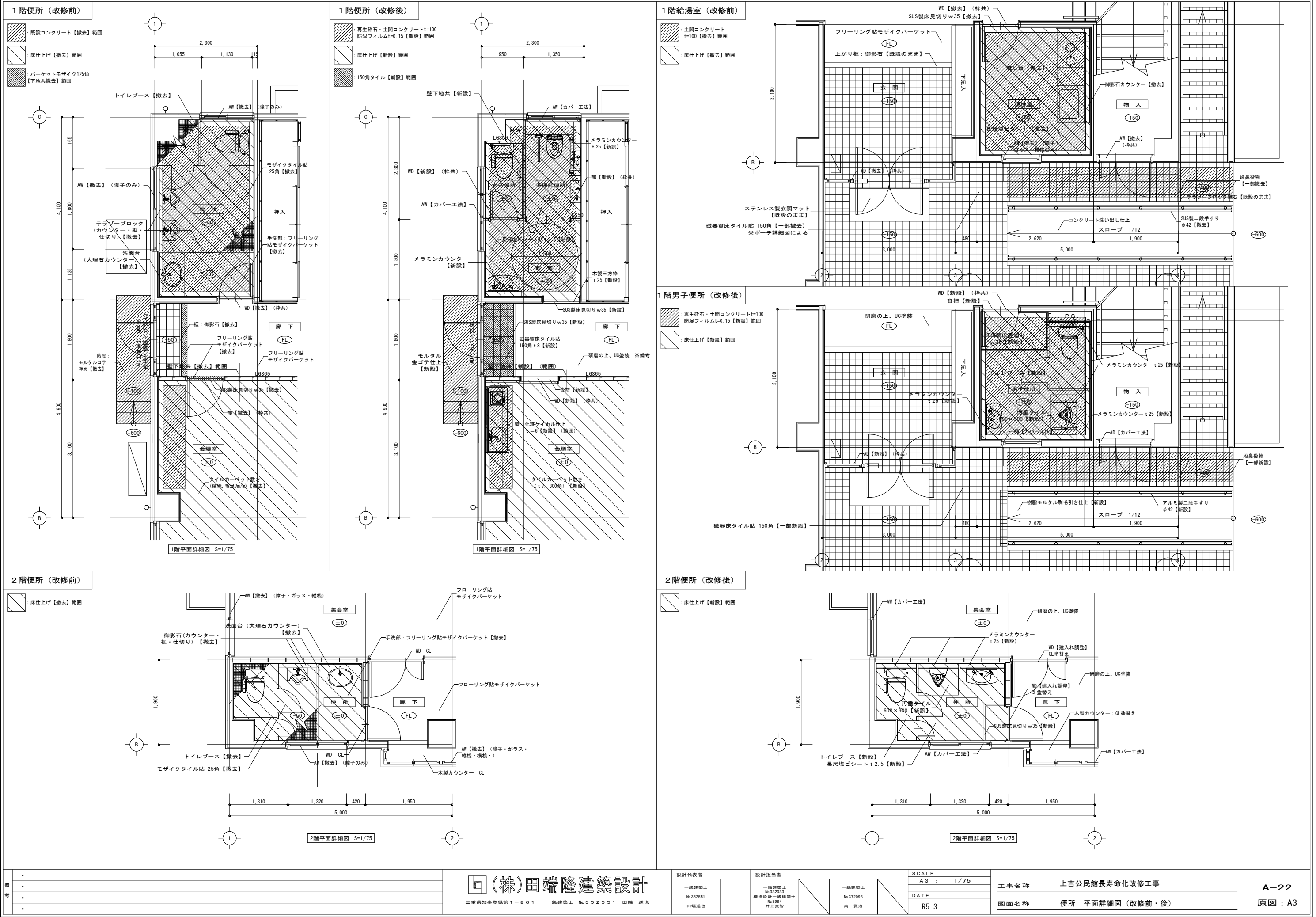
階	室名	種別		建具・サイズ				下端家具	カーテンボックス	カーテン
		日除けカーテン	暗幕	符号	数量	W	H		H	形式
1F	会議室		撤去・新設	AW-5	1	3,500	1,665	無	100	引分け
	会議室		撤去・新設	AW-6	1	2,470	1,665	無	100	引分け
2F	集会室	撤去・新設		AW-7	1	900	2,565	無	100	左片引き
	集会室		撤去・新設	AW-7	1	900	2,000	無	100	左片引き
	集会室	撤去・新設		AW-7	1	1,880	1,665	無	100	右片引き
	集会室		撤去・新設	AW-7	1	1,880	1,665	無	100	右片引き
	集会室	撤去・新設		AW-8	1	3,780	1,665	無	100	引分け
	集会室		撤去・新設	AW-8	1	3,780	1,665	無	100	引分け
	集会室	撤去・新設		AW-9	1	6,370	1,665	無	100	引分け
	集会室		撤去・新設	AW-9	1	6,370	1,665	無	100	引分け

特記事項

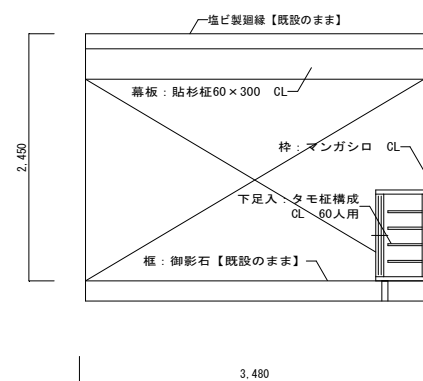
- ・カーテンレール、カーテンは特記なき限り、更新とする。
- ・カーテン、暗幕はすべて「防災認定品」とする。
- ・カーテンレールは特記なき限り、シングルとする。
- ・カーテン、カーテンレールは引分けの場合、重ね長さ300mm確保すること。
- ・仕立て時は現地にて寸法実測のこと。
- ・下端家具「無」の場合は、額縁下より200mm程度下げること

備考	・ 建入れ調整は、ドアクローザーの更新（5箇所）を含む。		 <b>(株)田端隆建築設計</b> 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也	設計代表者		設計担当者		SCALE	工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事  図面名称 建具表③	A-20 原図：A3
	・	一級建築士		一級建築士		一級建築士		A3 : 1/150		
	・	No.352551		構造設計一級建築士		No.372093		DATE		
	・	田端進也		井上貴智		南 賢治		R5.3		

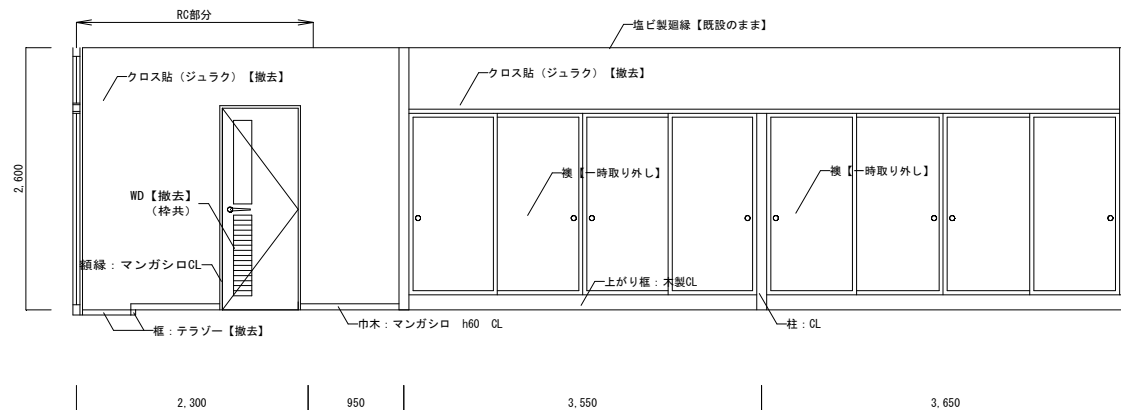
備考	•	<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 達也</div></div>	設計代表者		設計担当者		SCALE		工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事	A-21
	•		一級建築士 No.352551	一級建築士 No.332033	<div></div>	一級建築士 No.372093	A3 : 1/150	図面名称 建具表④		
	•		構造設計一級建築士 No.8904	構造設計 升上貴智		DATE				
	•		田端 達也	南 賢治		R5.3				



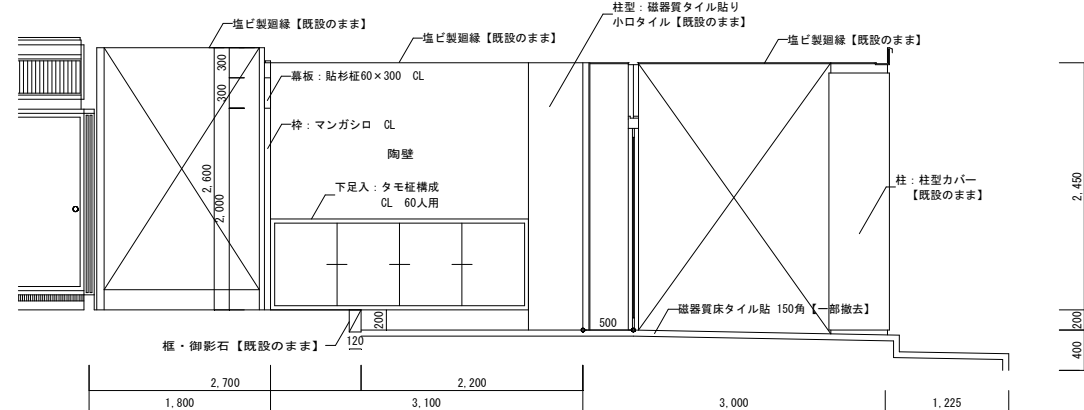
玄関・廊下(改修前)



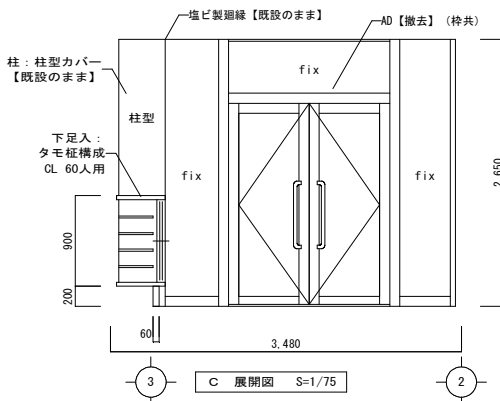
A 展開図 S=1/75



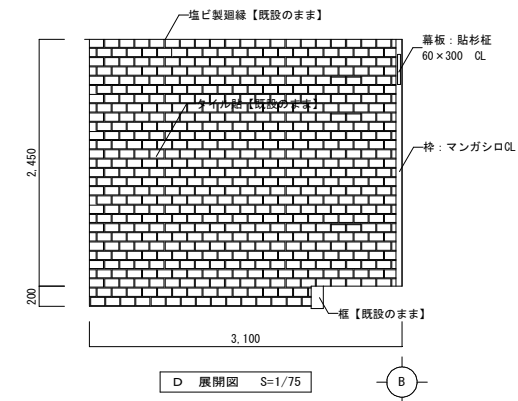
A 展開図 S=1/75



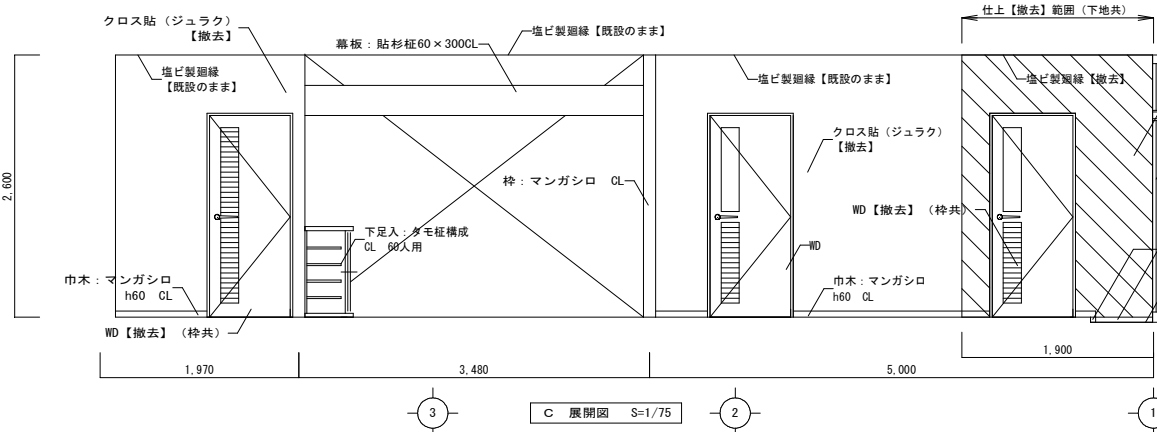
B 展開図 S=1/75



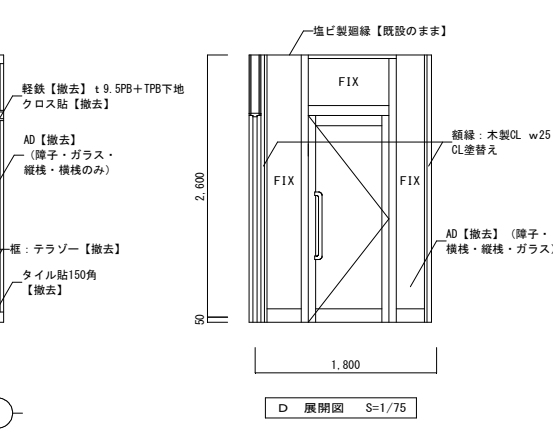
C 展開図 S=1/75



D 展開図 S=1/75

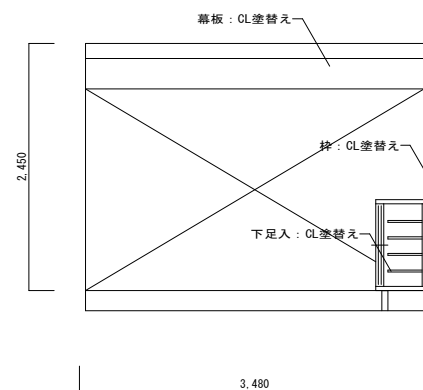


C 展開図 S=1/75

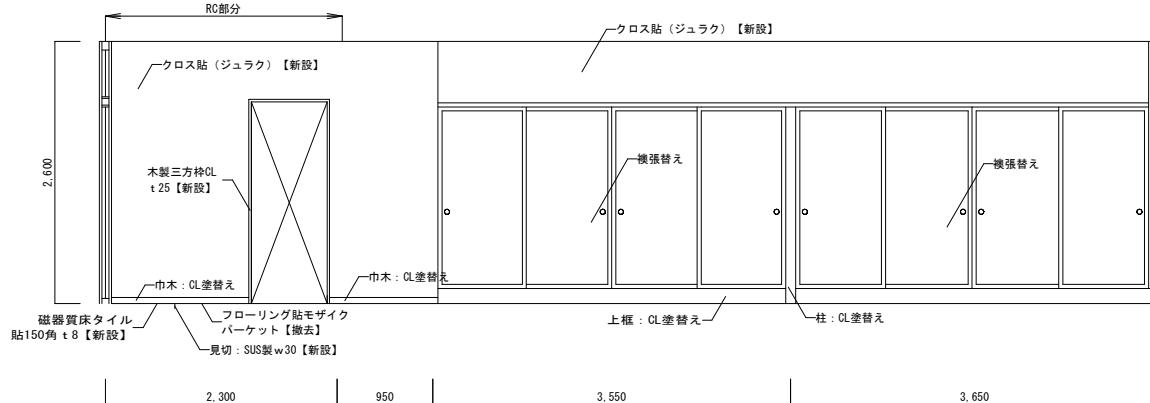


D 展開図 S=1/75

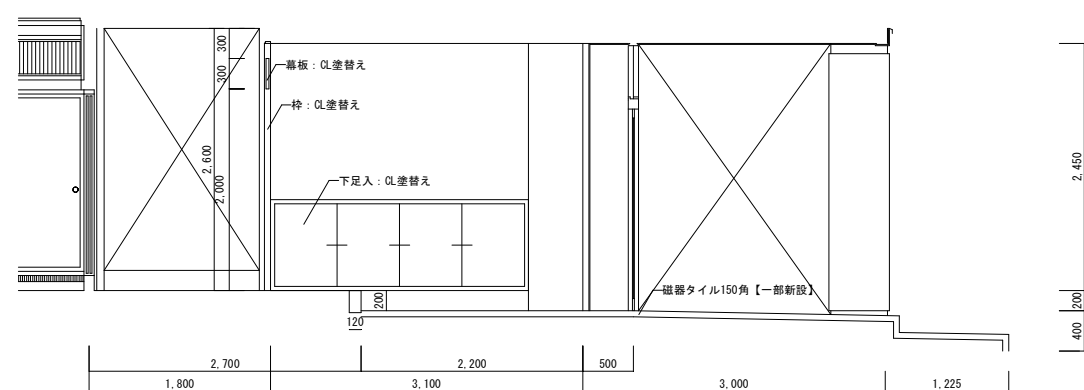
玄関・廊下(改修後)



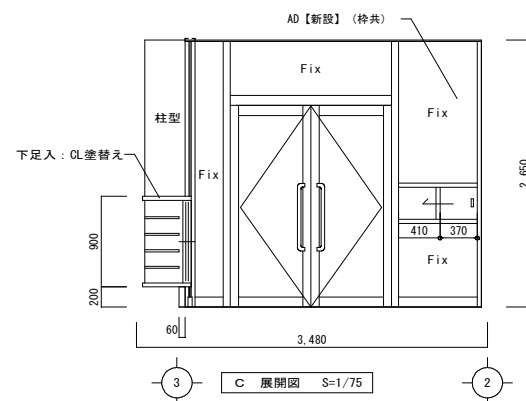
A 展開図 S=1/75



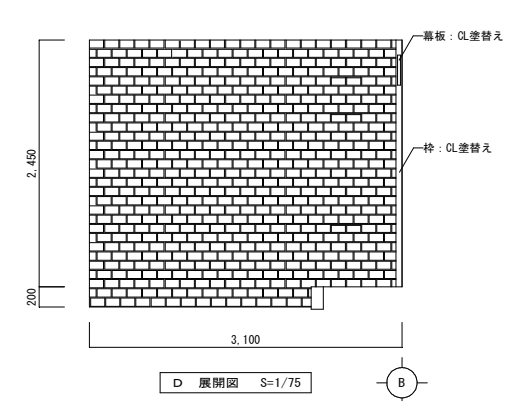
A 展開図 S=1/75



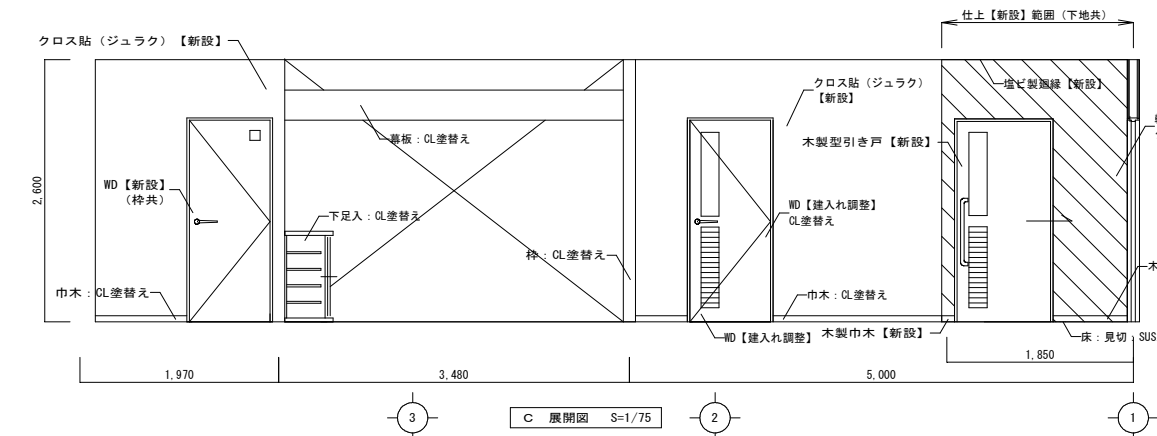
B 展開図 S=1/75



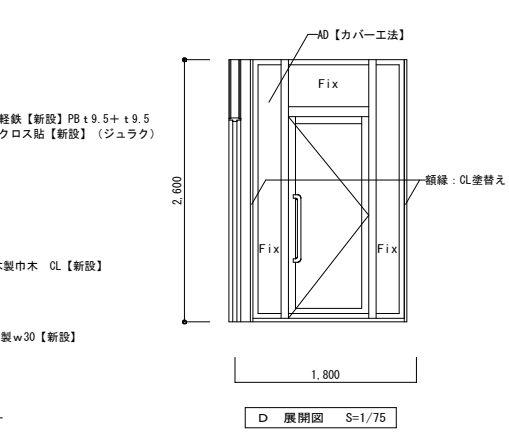
C 展開図 S=1/75



D 展開図 S=1/75



C 展開図 S=1/75

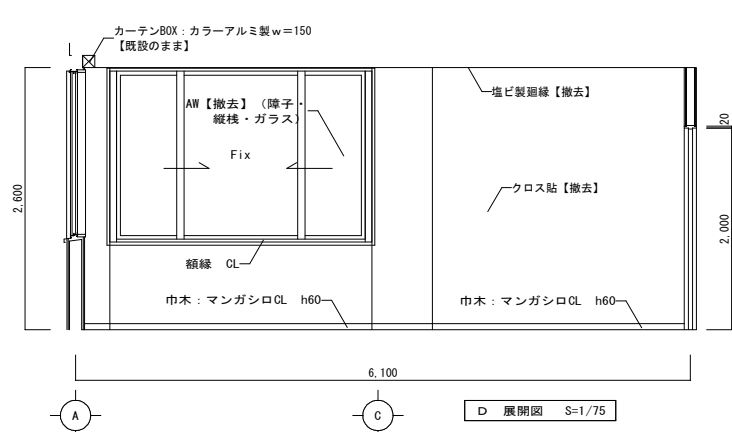
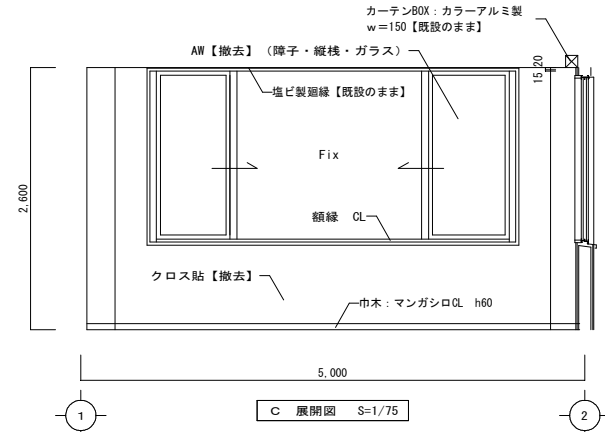
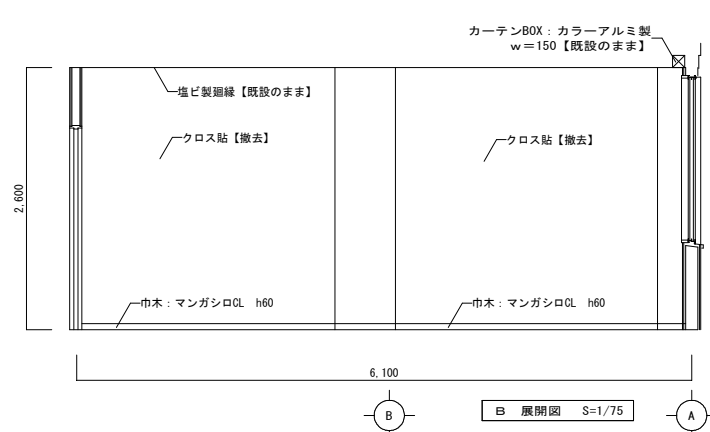
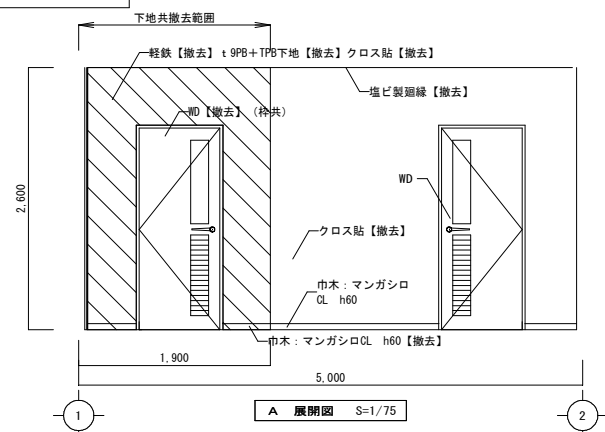


D 展開図 S=1/75

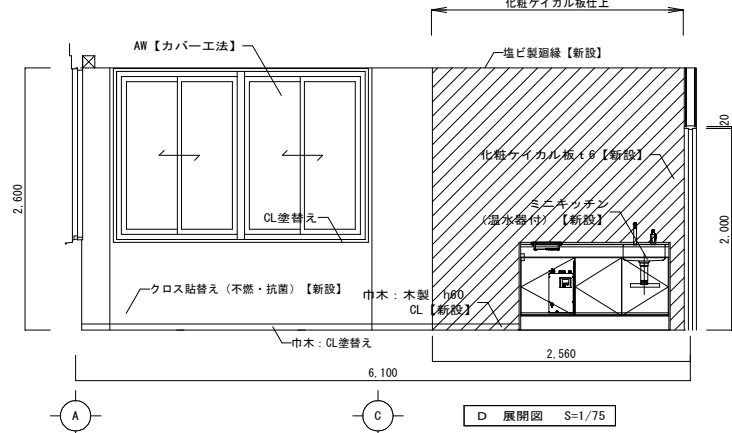
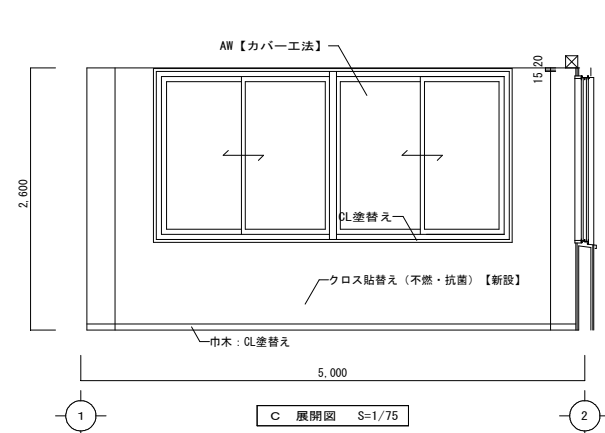
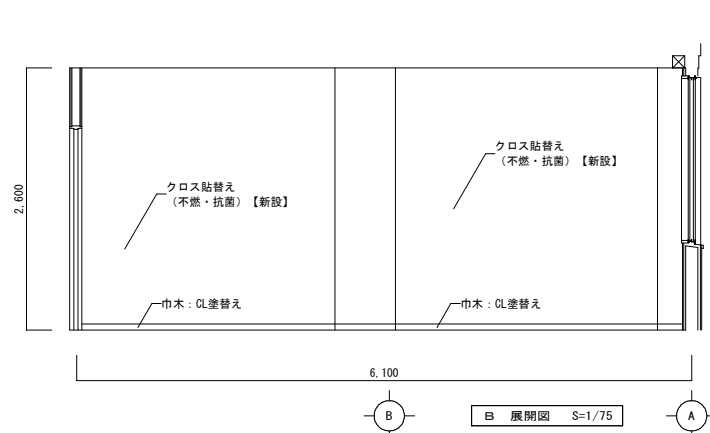
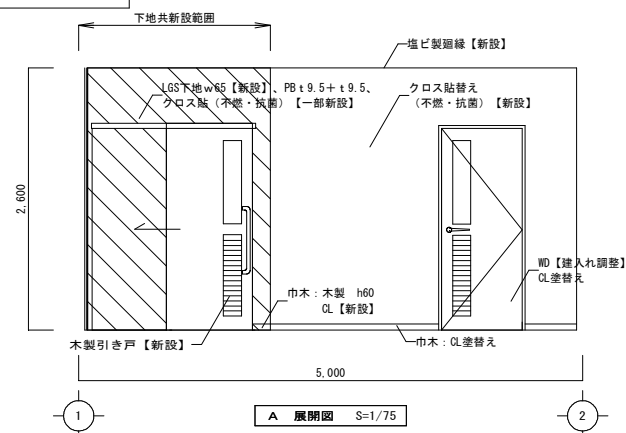
備考	・	<div></div> <div>(株)田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1－861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計担当者		設計担当者		SCALE		工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事	図面名称 1階 玄関・廊下 展開図（改修前・後）	A-23 原図：A3	
	・		一級建築士 No.352551		一級建築士 No.332033 構造設計一級建築士 No.6964 井上貴智		一級建築士 No.372093					A3：1/75
	・		田端進也					DATE				
	・							R5.3				



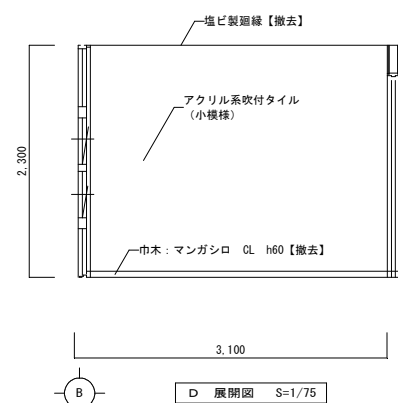
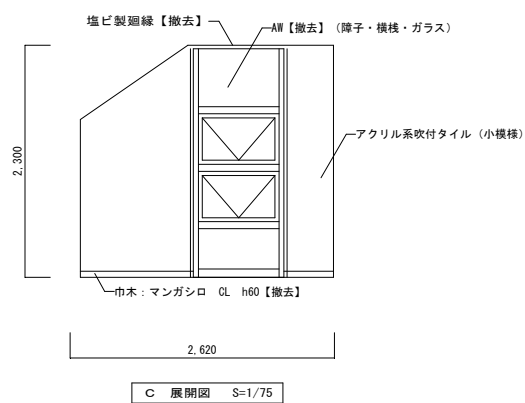
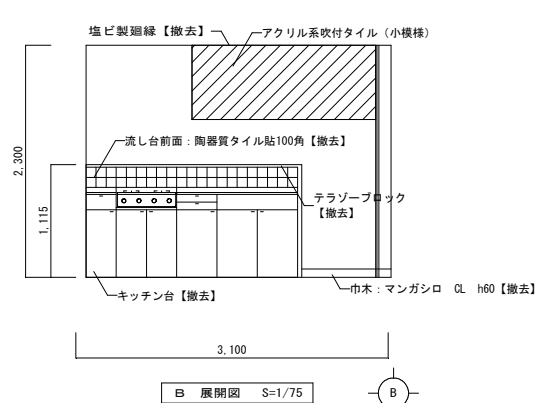
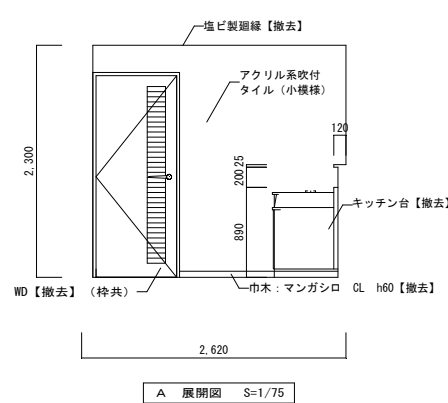
会議室（改修前）



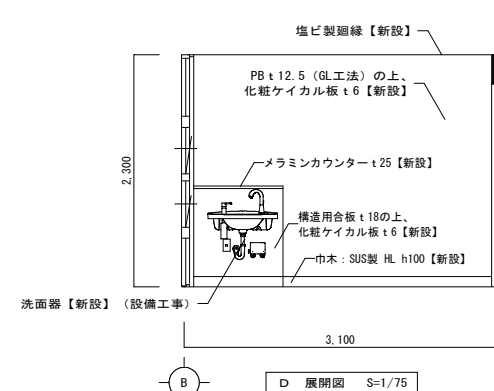
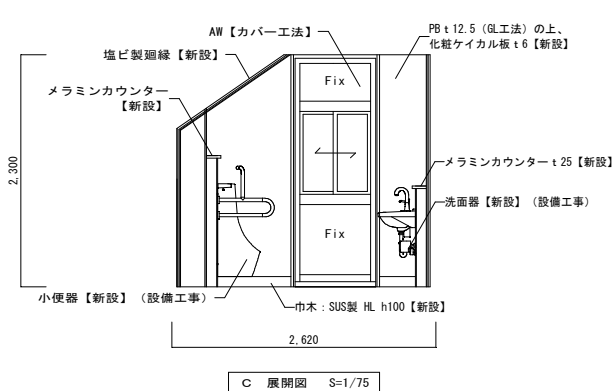
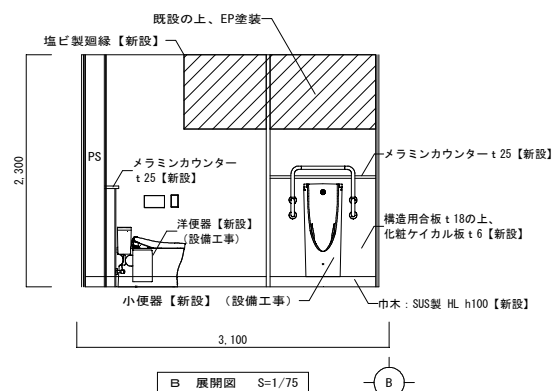
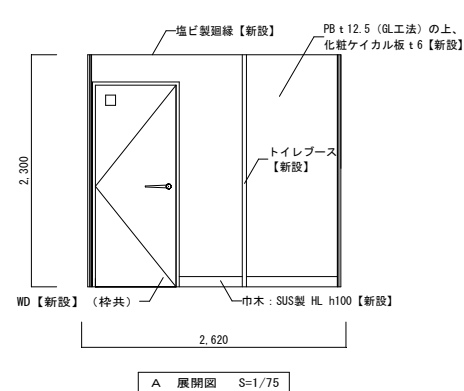
会議室（改修後）



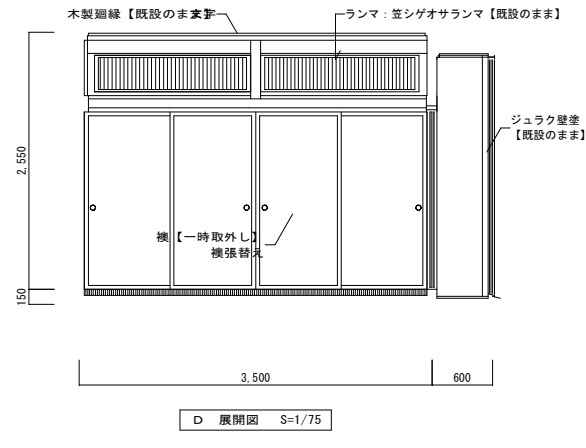
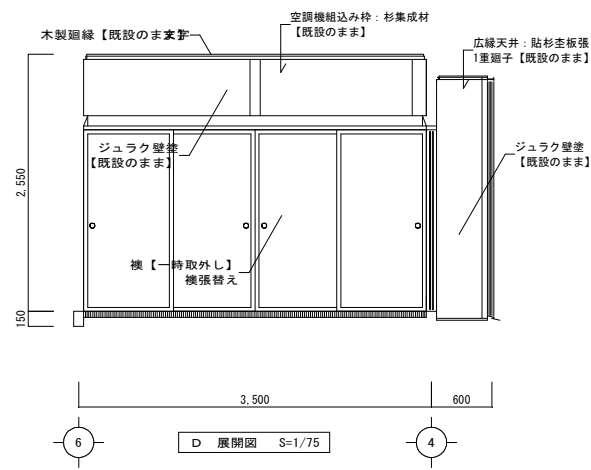
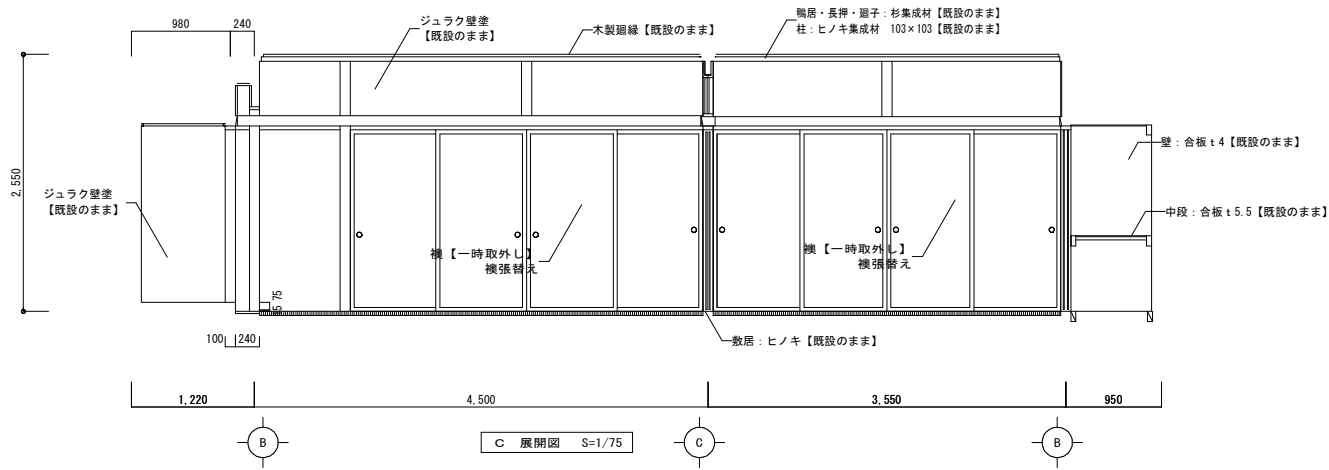
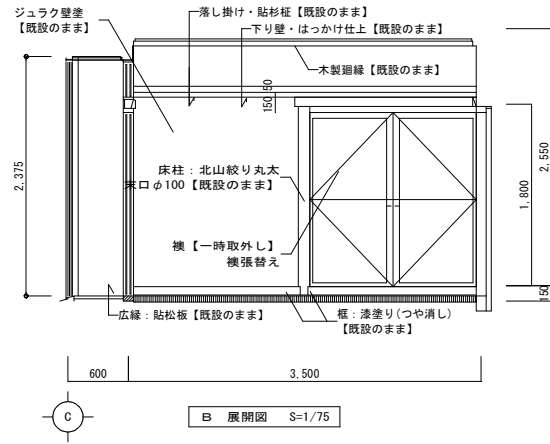
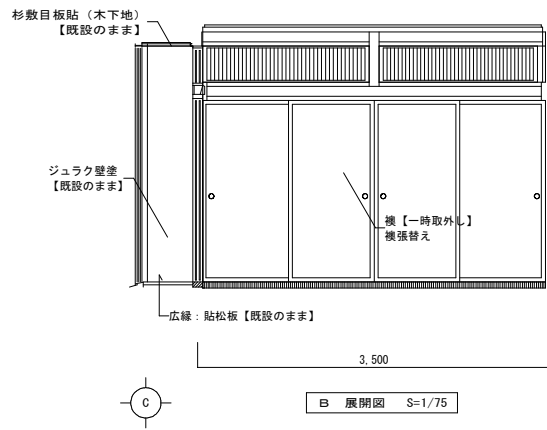
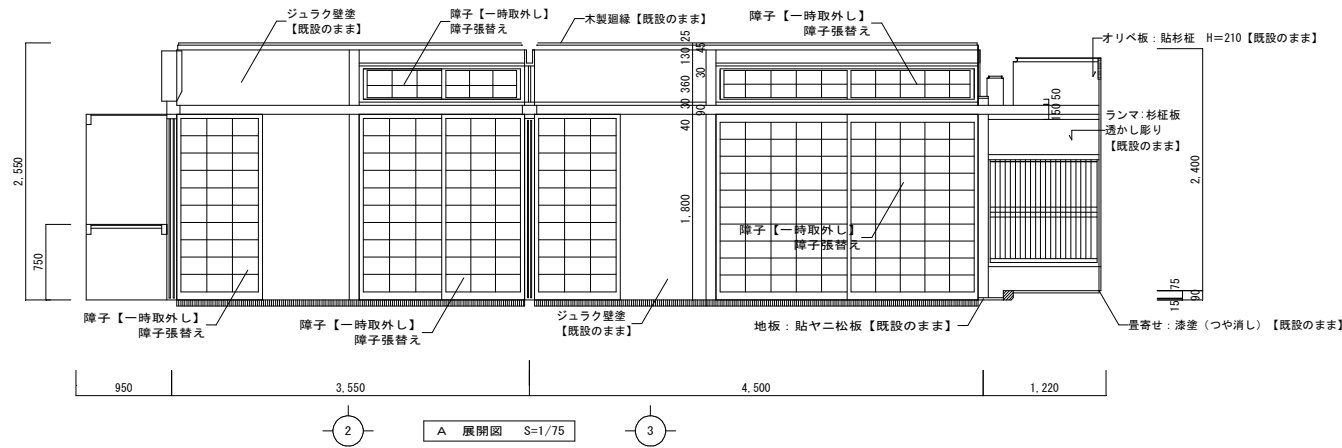
湯沸室（改修前）



男子便所（改修後）



備考	・	<div> (株)田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1－861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計代表者		設計担当者		SCALE		<div>工事名称</div> <div>上吉公民館長寿命化改修工事</div> <div>図面名称</div> <div>1階 会議室・湯沸室 展開図（改修前・後）</div>	A－24 原図：A3
	・		一級建築士 No.352551		一級建築士 No.372093		A3 : 1/75			
	・		田端進也		井上真智		DATE			
	・						R5.3			



備考	・
	・
	・
	・

(株)田端隆建築設計

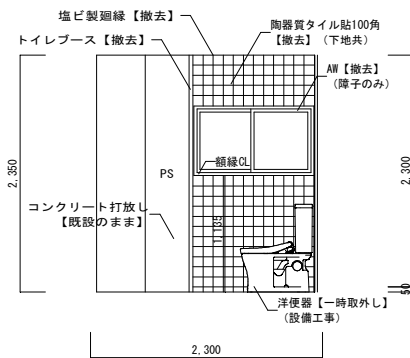
三重県知事登録第1-861 一般建築士 No.352551 田端 達也

設計代表者		設計担当者	
一般建築士 No.352551 田端達也		一般建築士 No.332033 横道設計一般建築士 No.6984 井上貴智	一般建築士 No.372093 南 賢治

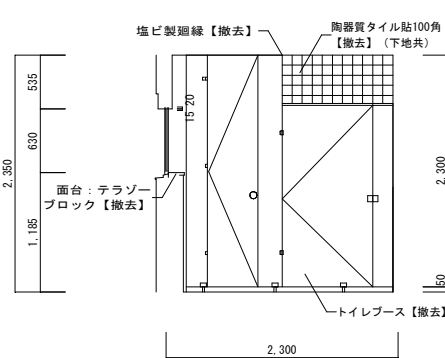
SCALE	
A3	1/75
DATE	
R5.3	

工事名称	上吉公民館長寿化改修工事
図面名称	1階 和室 展開図(改修前・後)

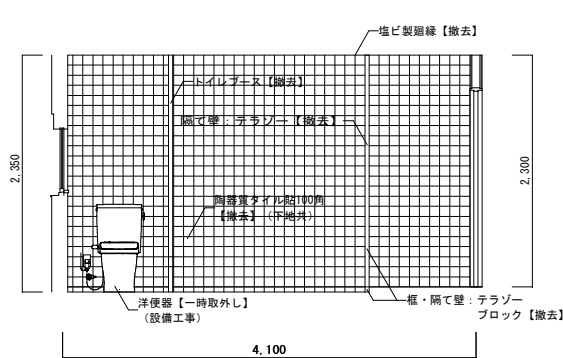
1階便所（改修前）



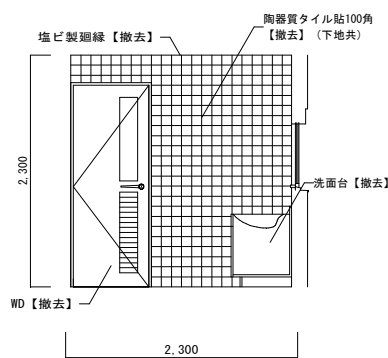
A 展開図 S=1/75



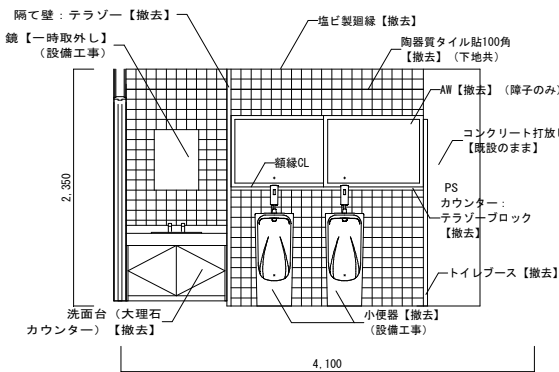
A' 展開図 S=1/75



B 展開図 S=1/75

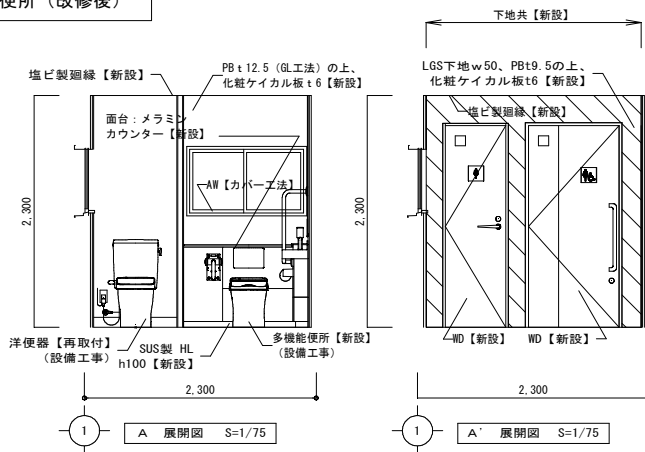


C 展開図 S=1/75



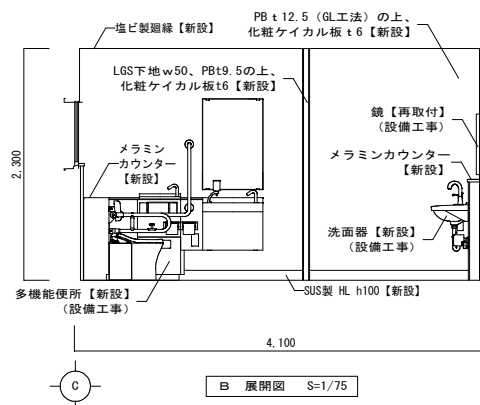
D 展開図 S=1/75

1階便所（改修後）

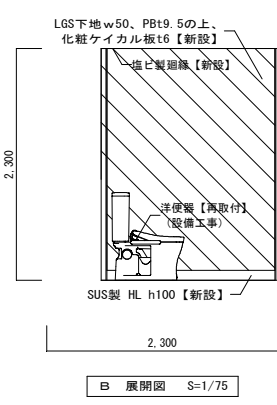


A 展開図 S=1/75

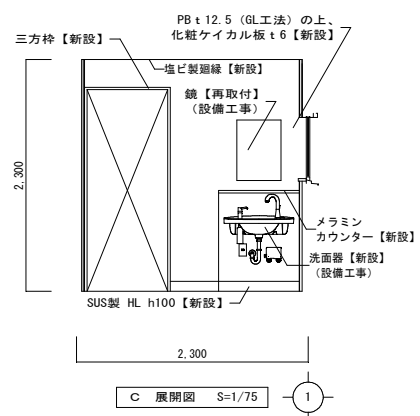
A' 展開図 S=1/75



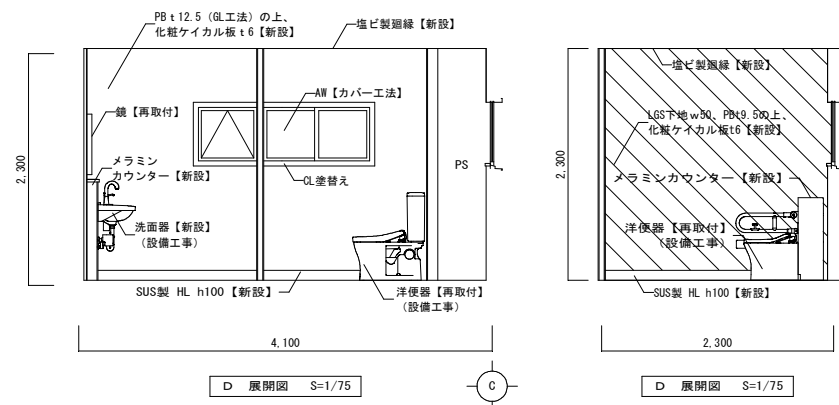
B 展開図 S=1/75



B 展開図 S=1/75



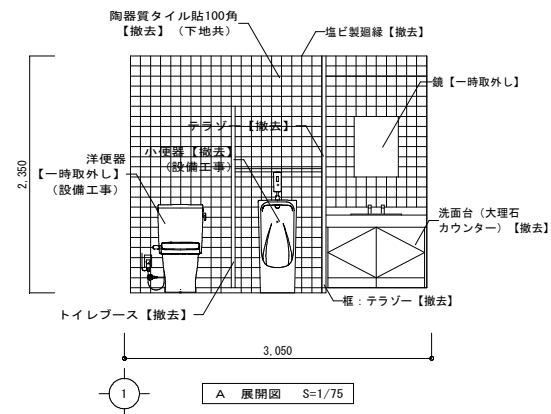
C 展開図 S=1/75



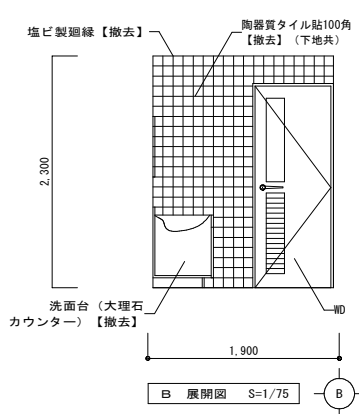
D 展開図 S=1/75

D 展開図 S=1/75

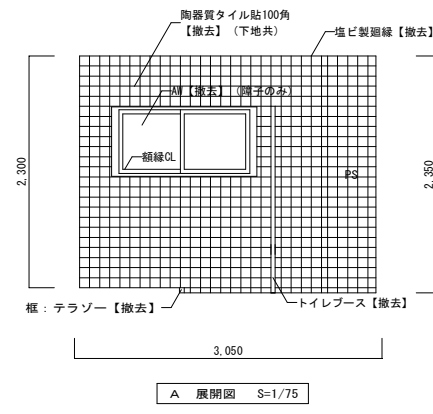
2階便所(改修前)



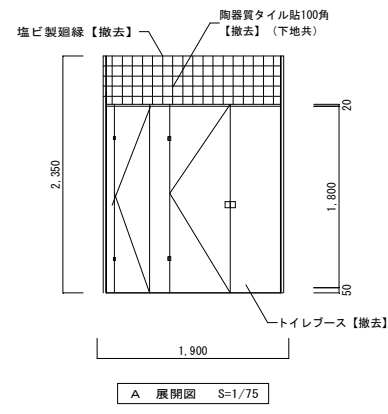
A 展開図 S=1/75



B 展開図 S=1/75

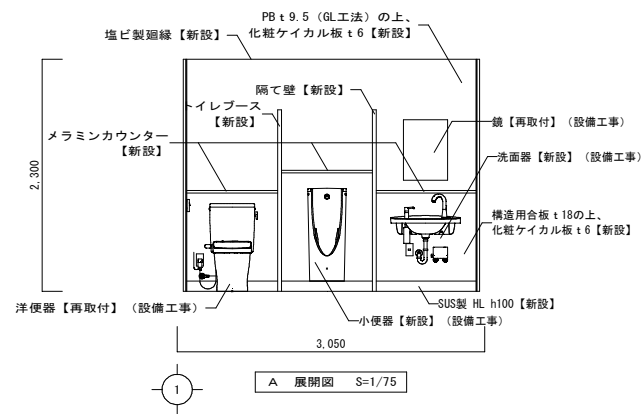


A 展開図 S=1/75

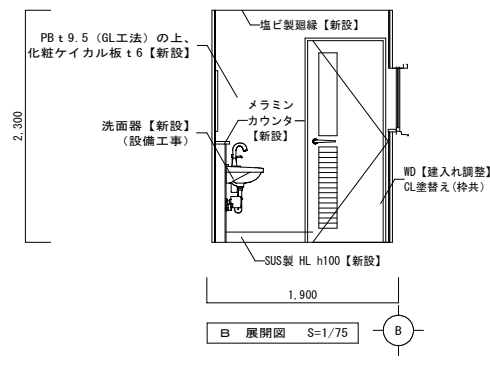


A 展開図 S=1/75

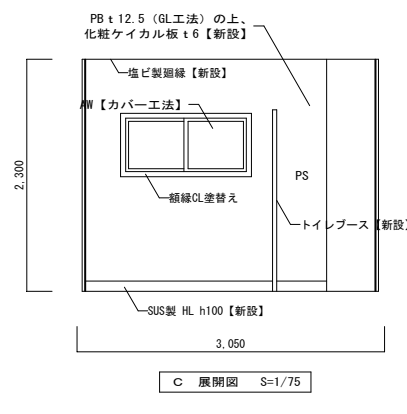
2階便所(改修後)



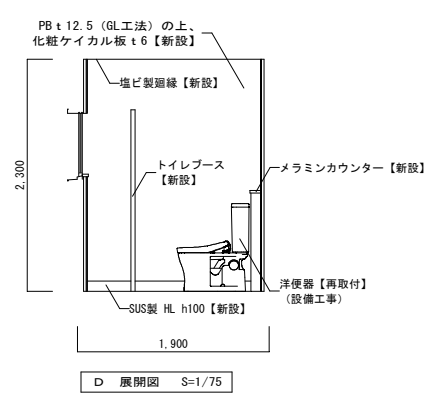
A 展開図 S=1/75



B 展開図 S=1/75



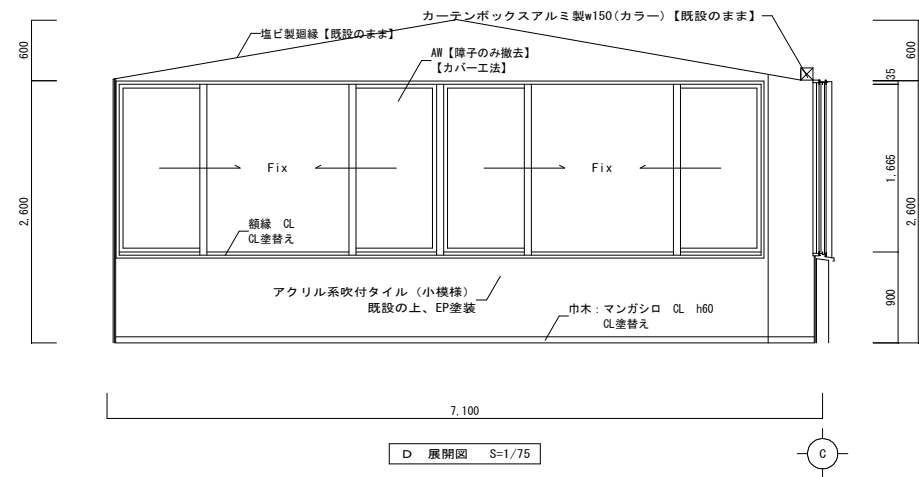
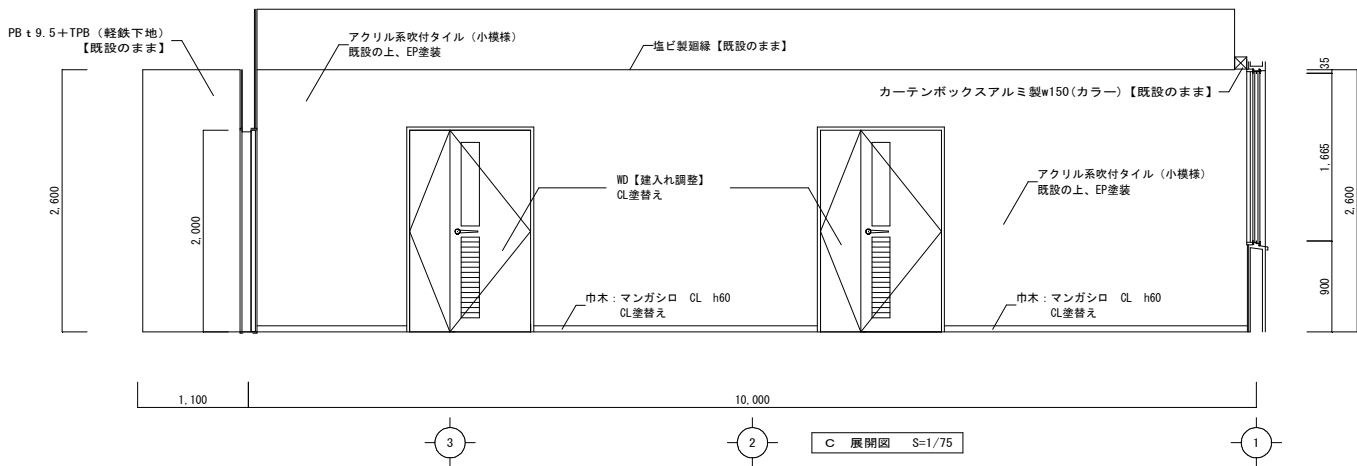
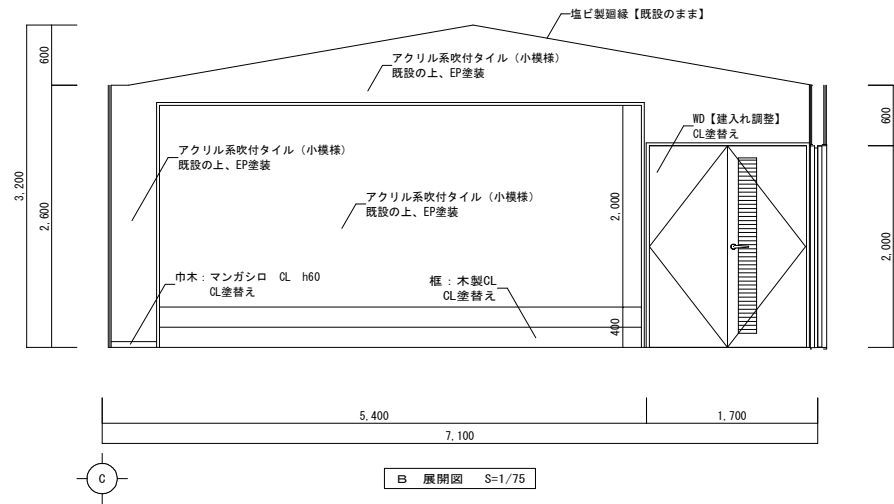
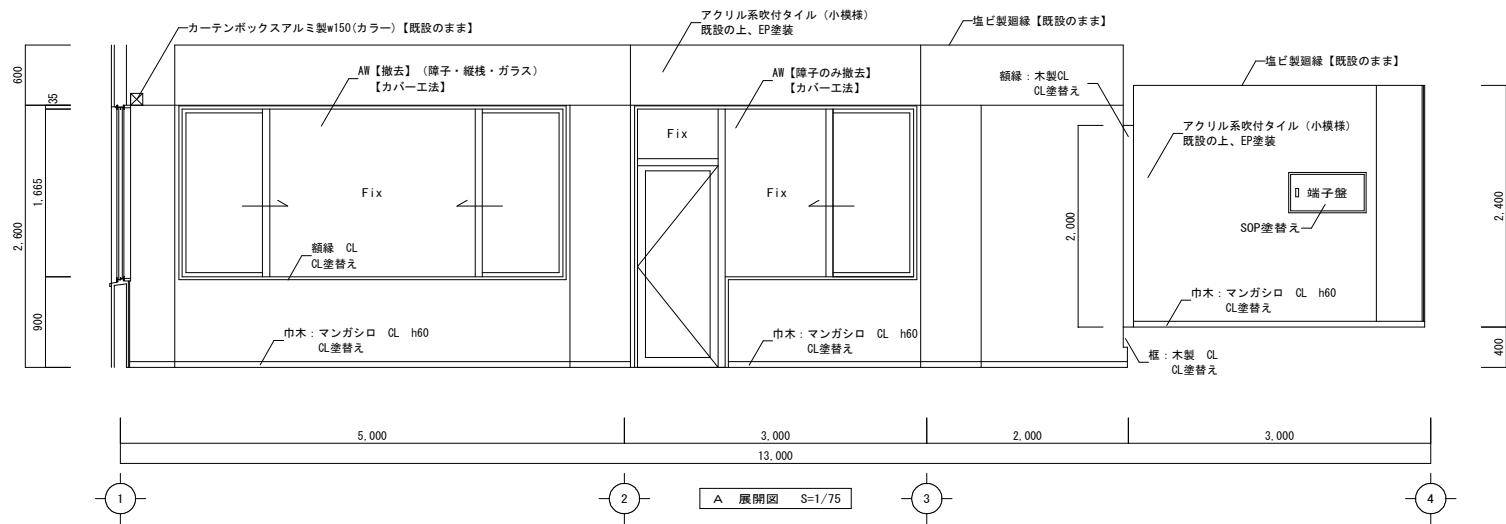
C 展開図 S=1/75



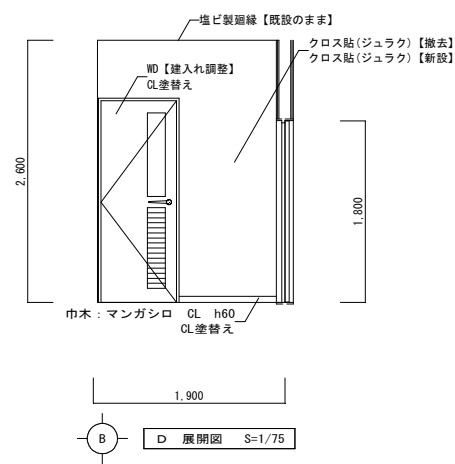
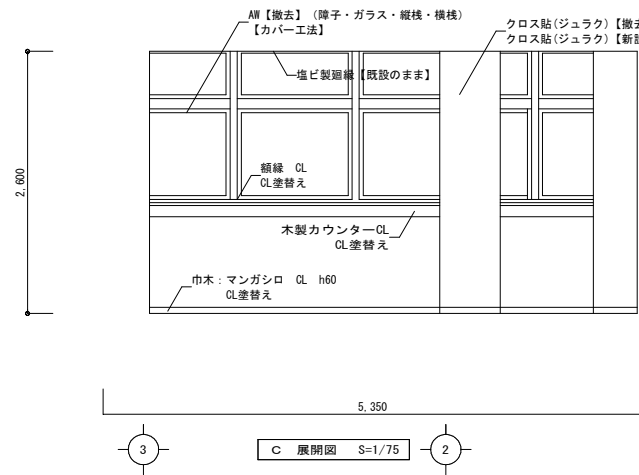
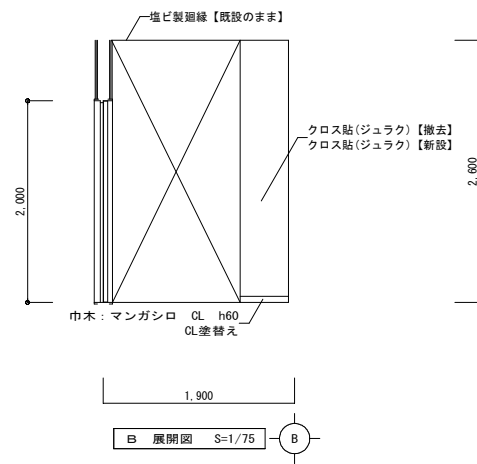
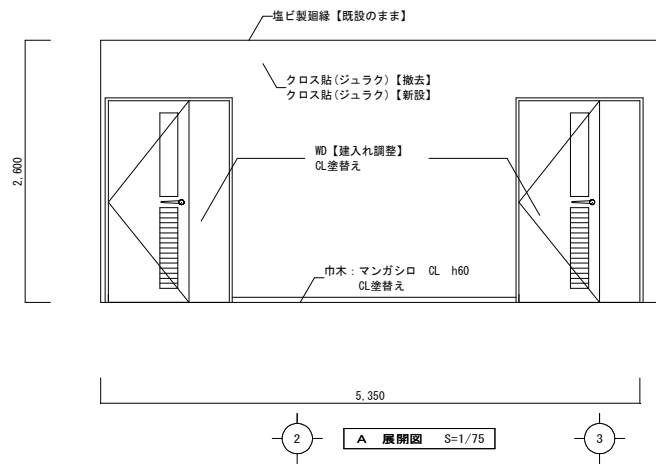
D 展開図 S=1/75

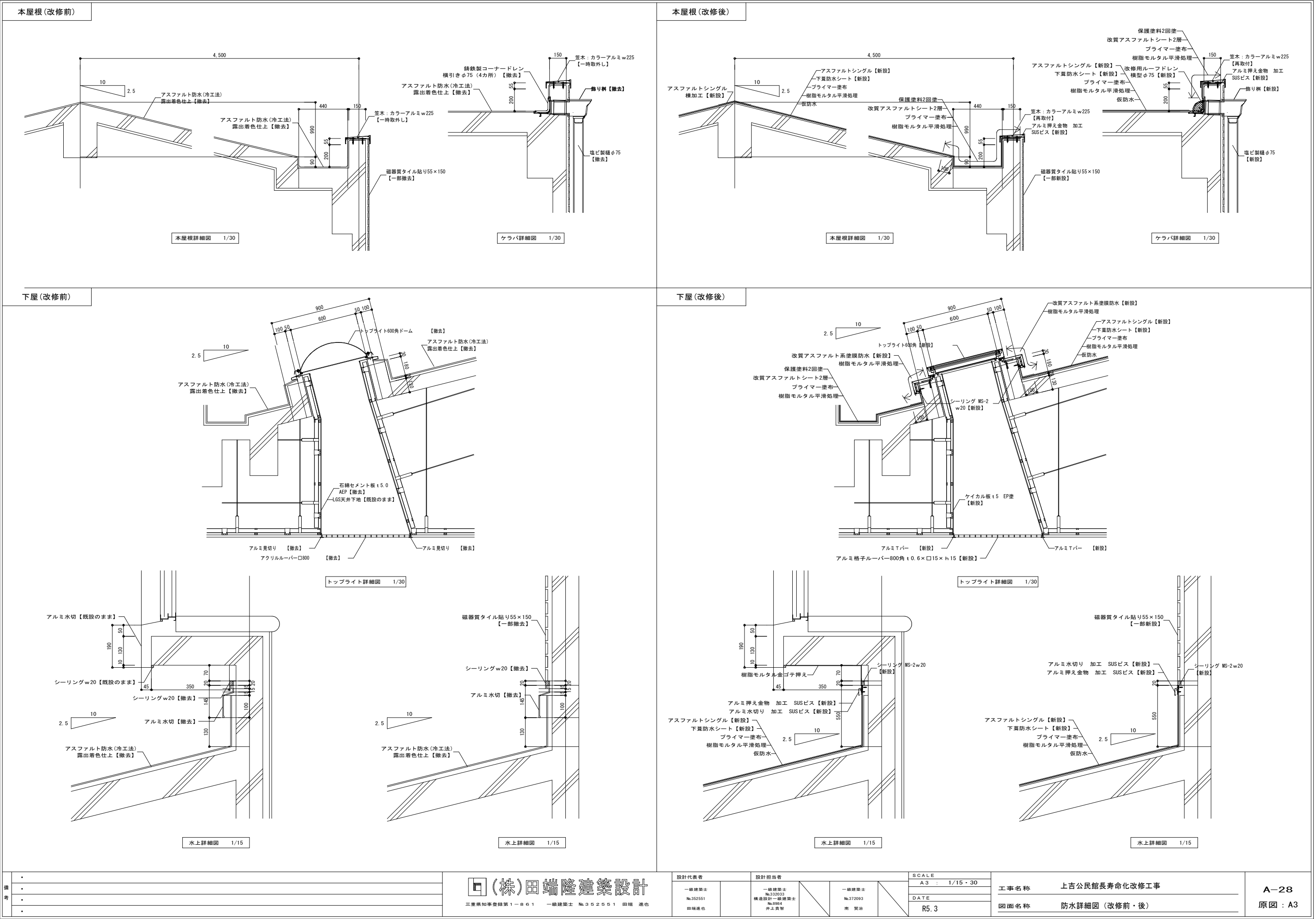
備考	・	<div> (株)田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計担当者		設計担当者				SCALE		工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事	原図：A3
	・		一級建築士 No.352551		一級建築士 No.372093 構造設計一級建築士 No.8954 井上貴智		一級建築士 No.372093		A3 : 1/75			
	・		田端進也				南 賢治		DATE			
	・								R5.3			
											図面名称 1階・2階 便所 展開図（改修前・後）	




集会室・ステージ(改修前・後)

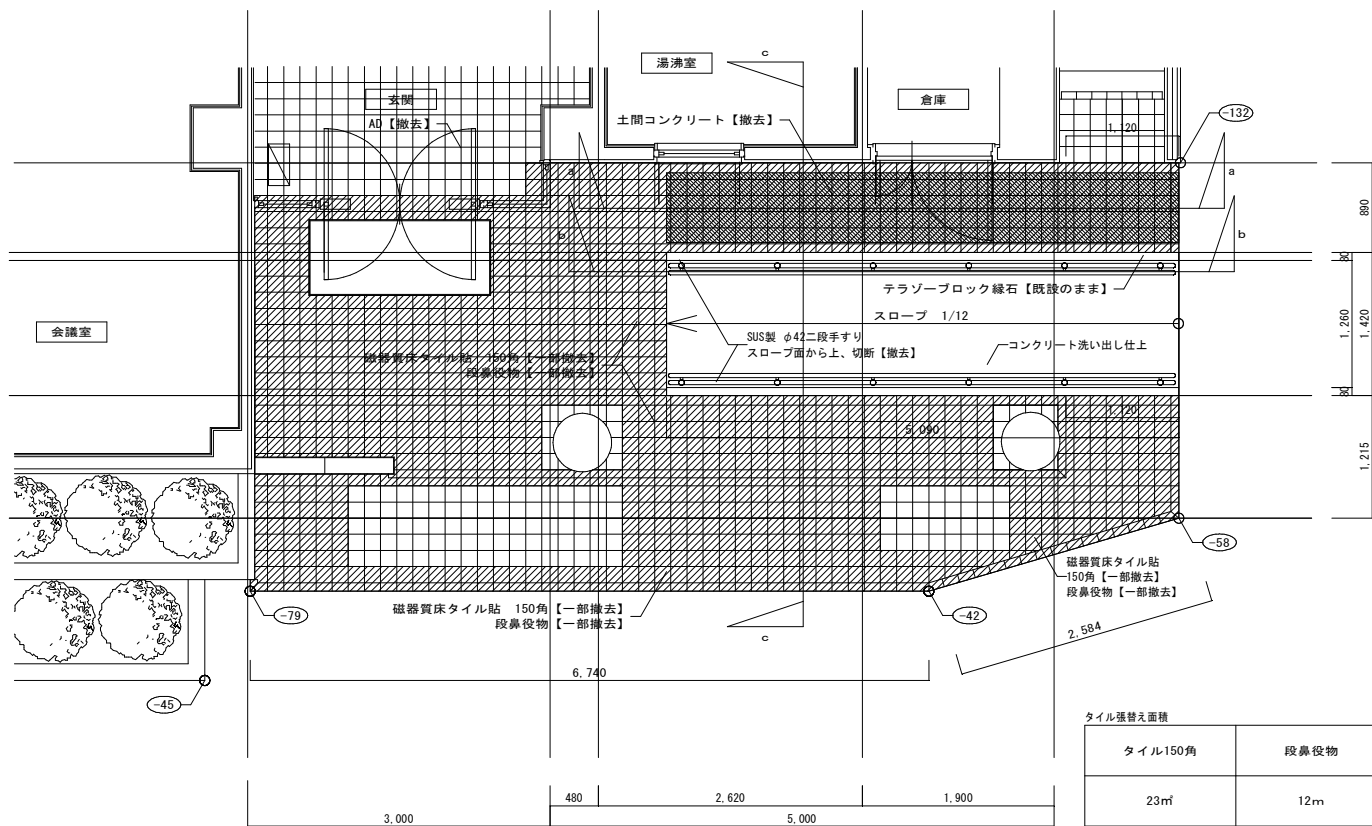
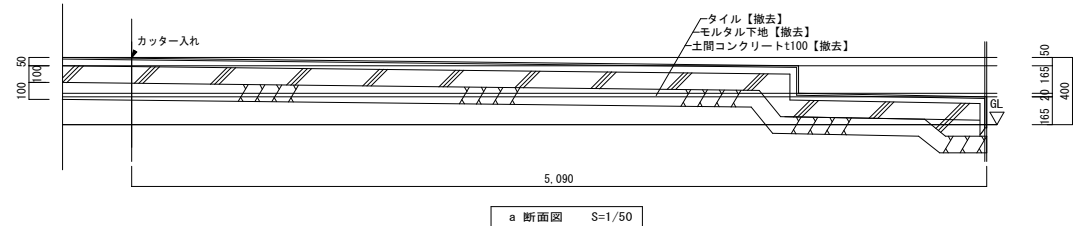


2階廊下(改修前・後)

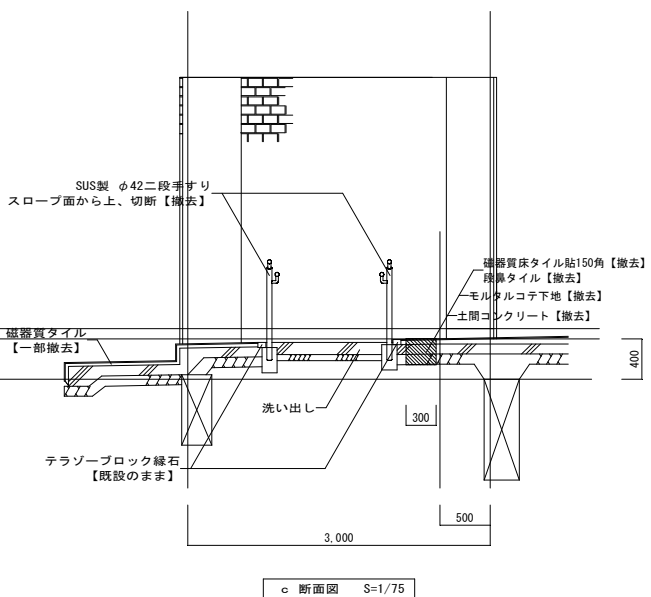
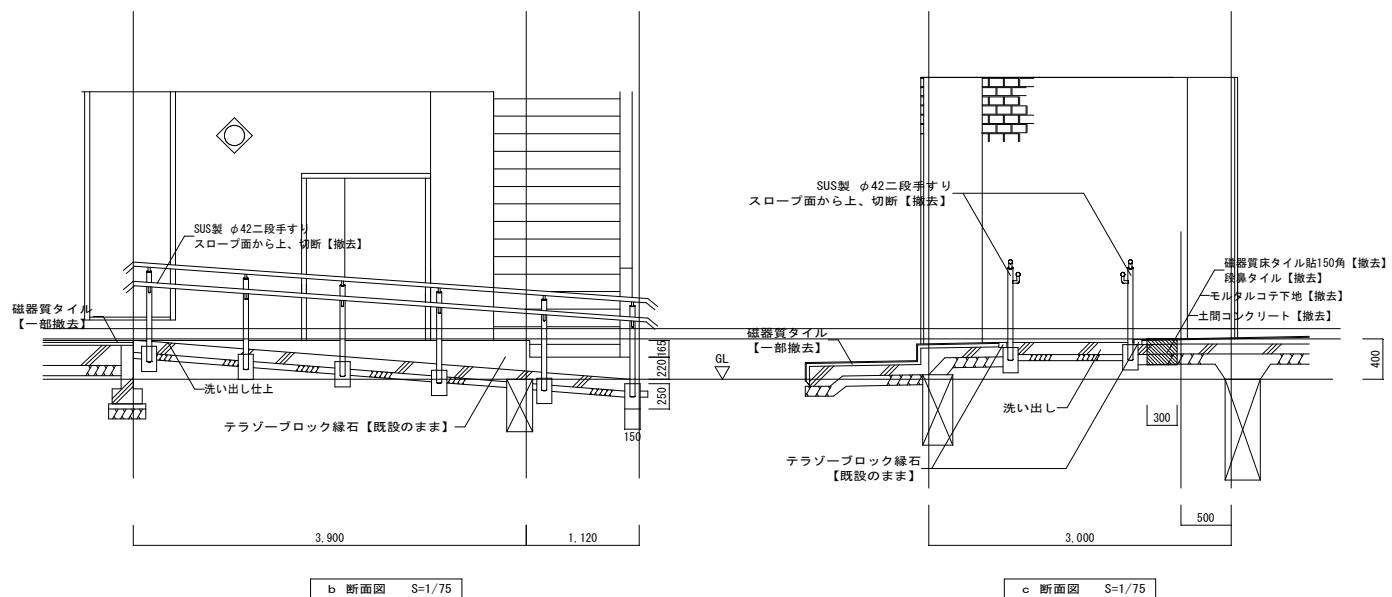







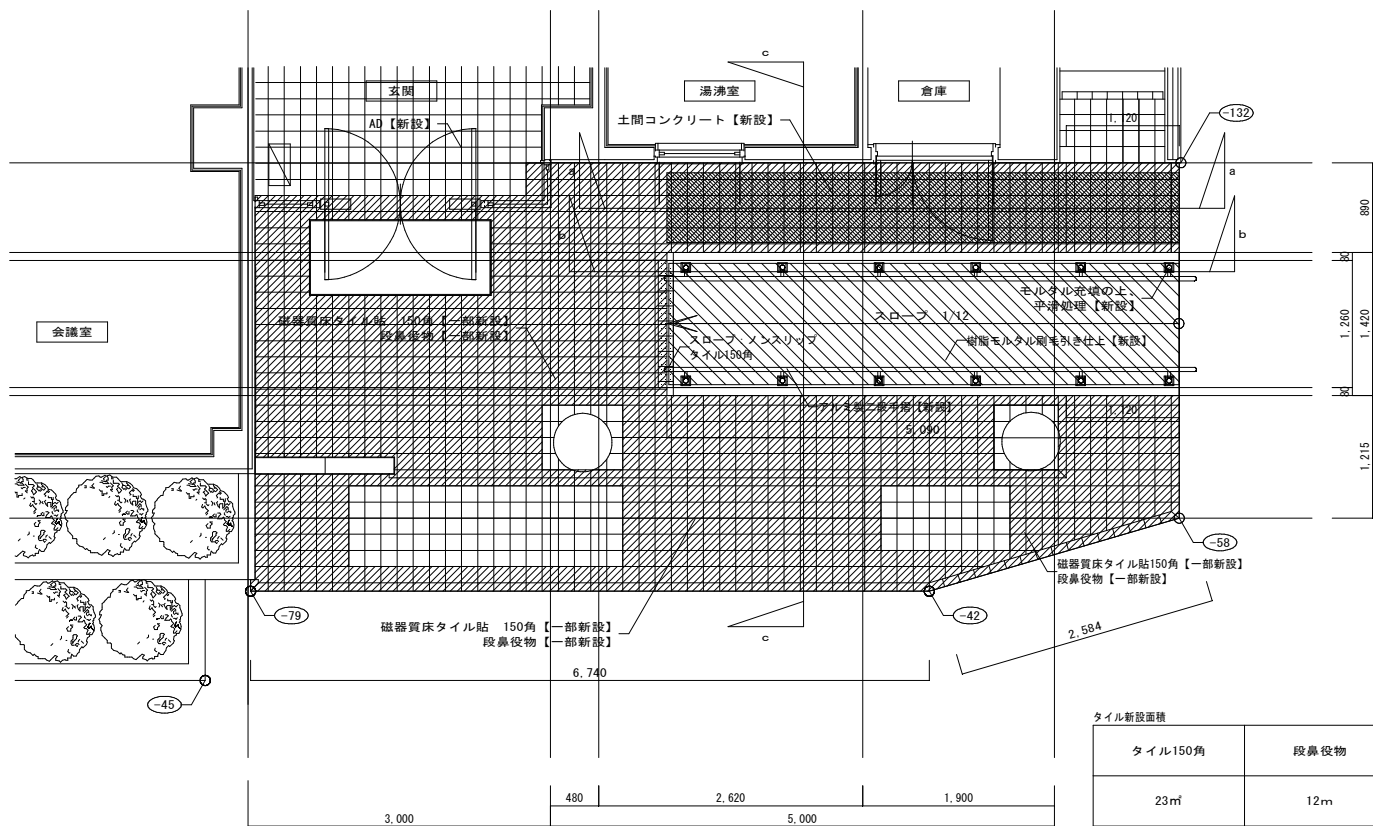
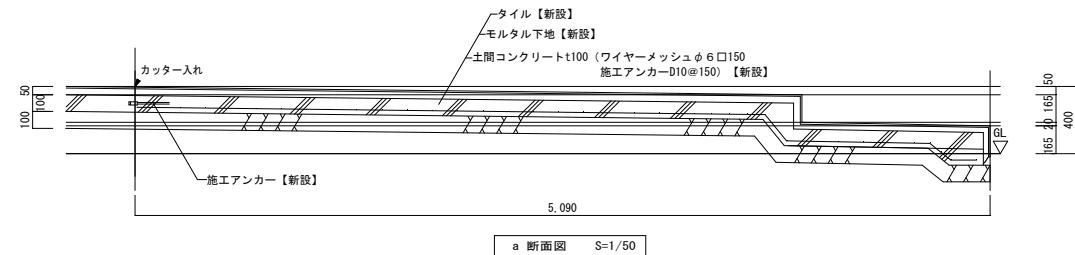
 : 土間コンクリート【撤去】範囲  
 : タイル仕上げ【撤去】範囲  
 : コンクリート洗い出し表層  
t30はつり【撤去】範囲



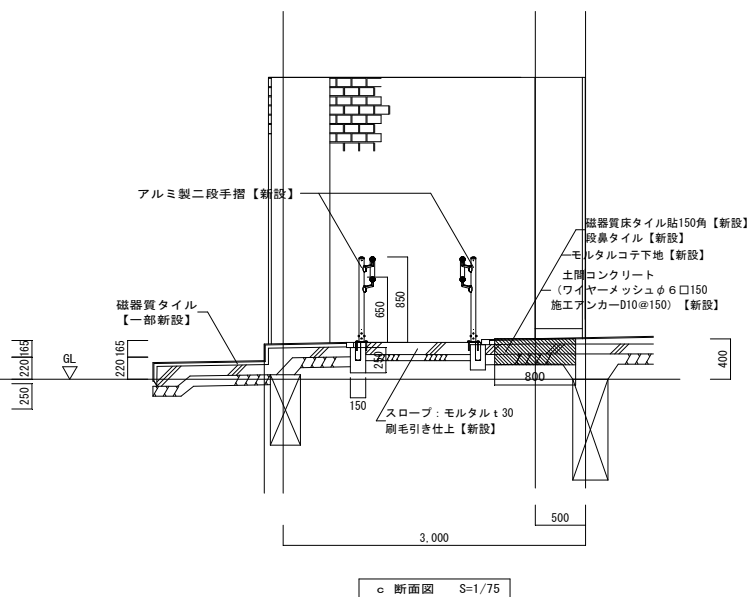
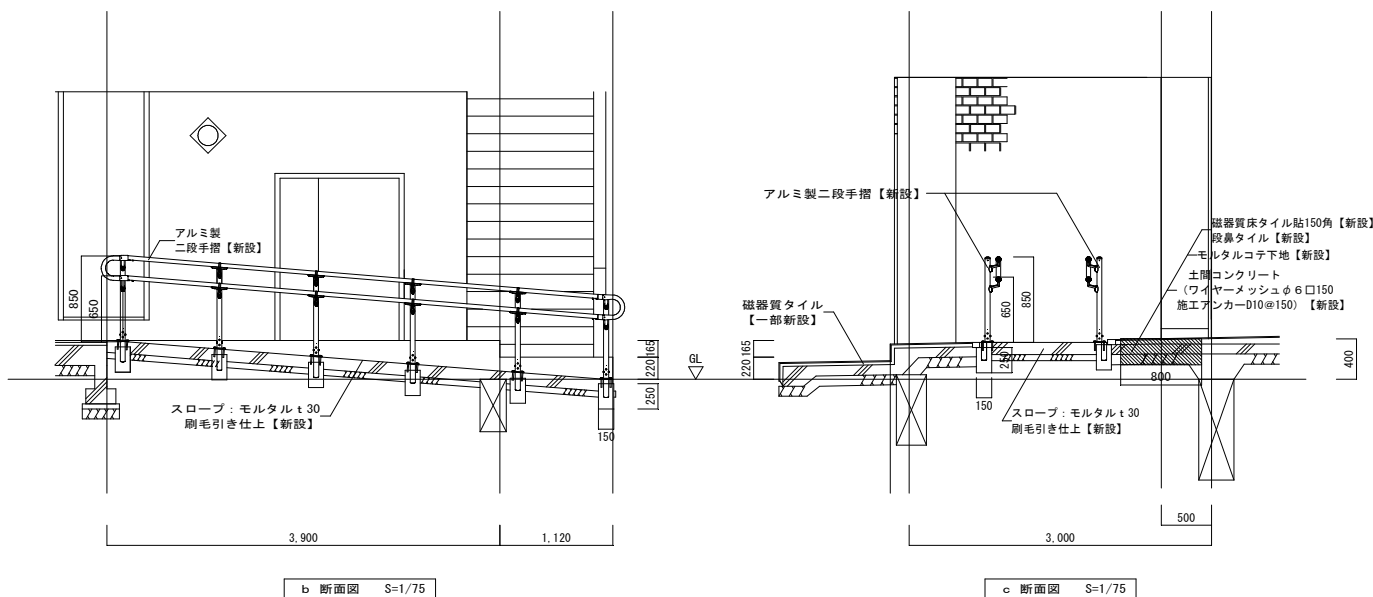
タイル張替え面積	
タイル150角	段鼻役物
23㎡	12m

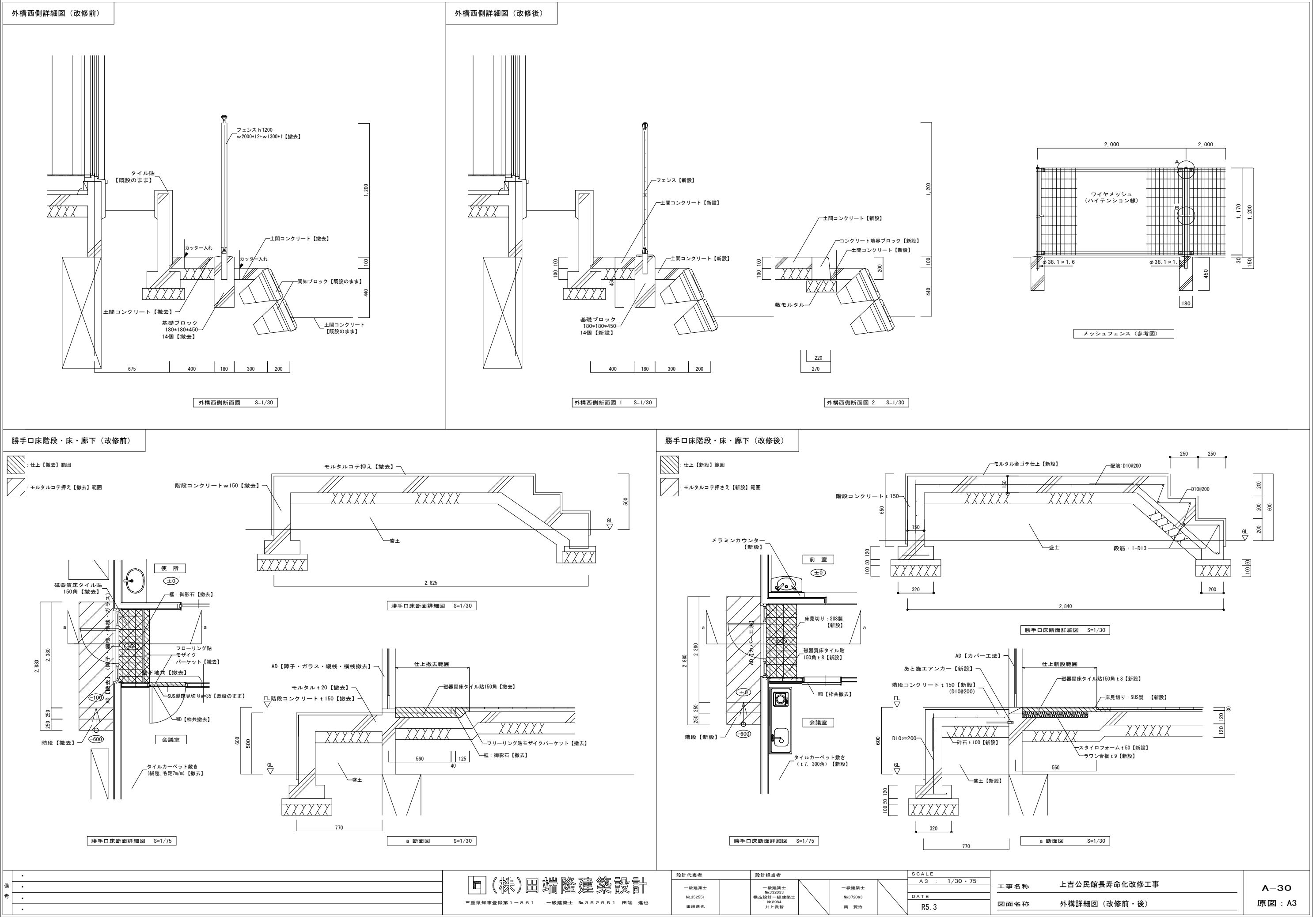


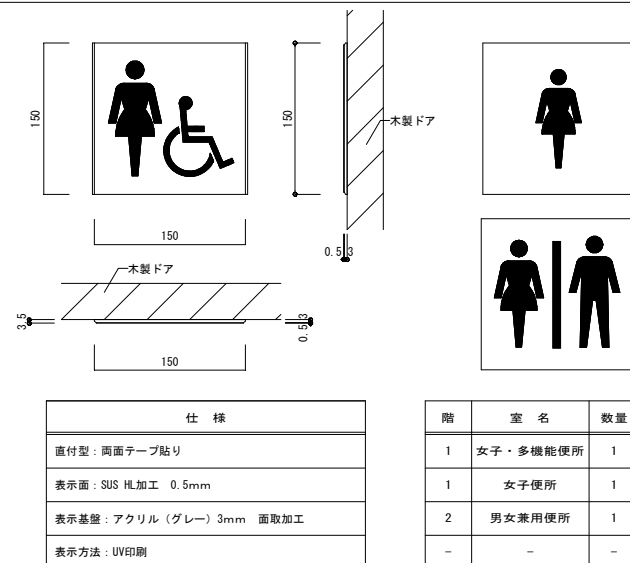
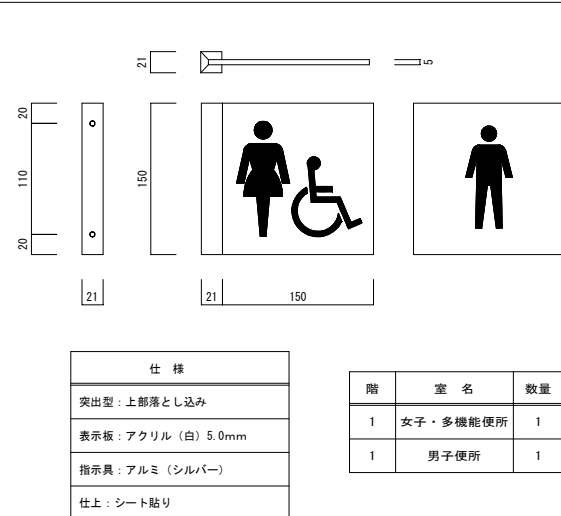
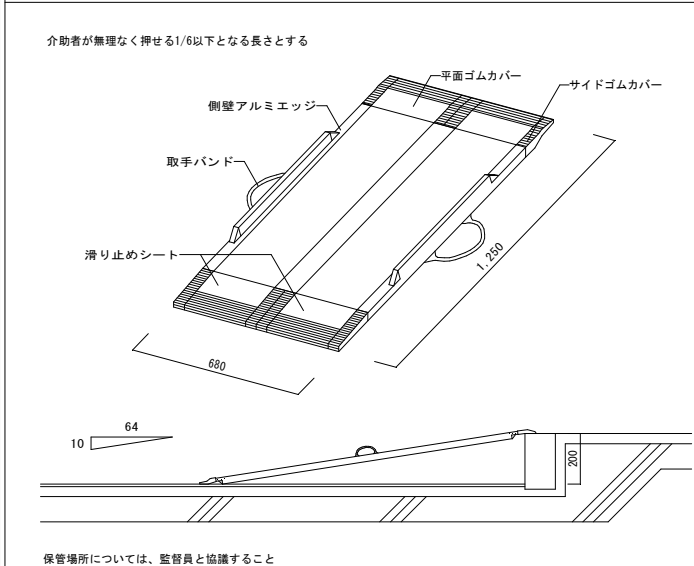
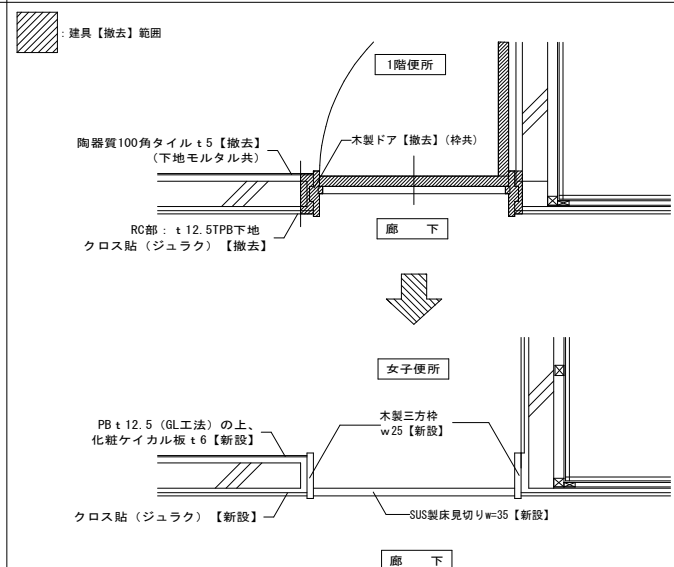
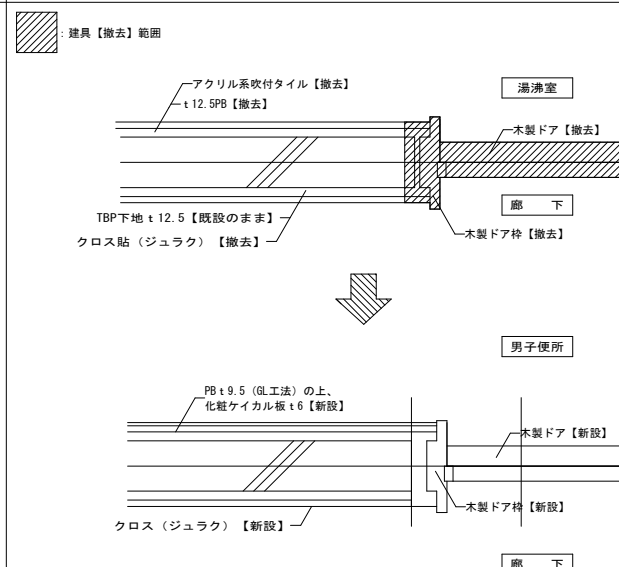
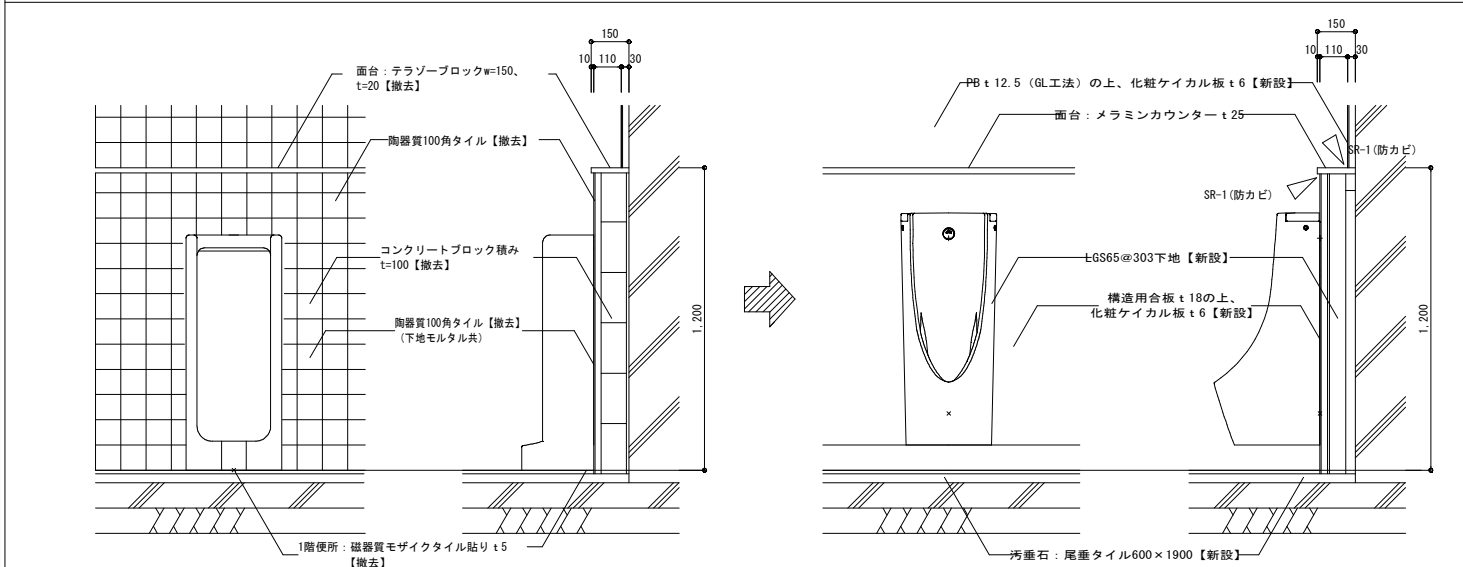
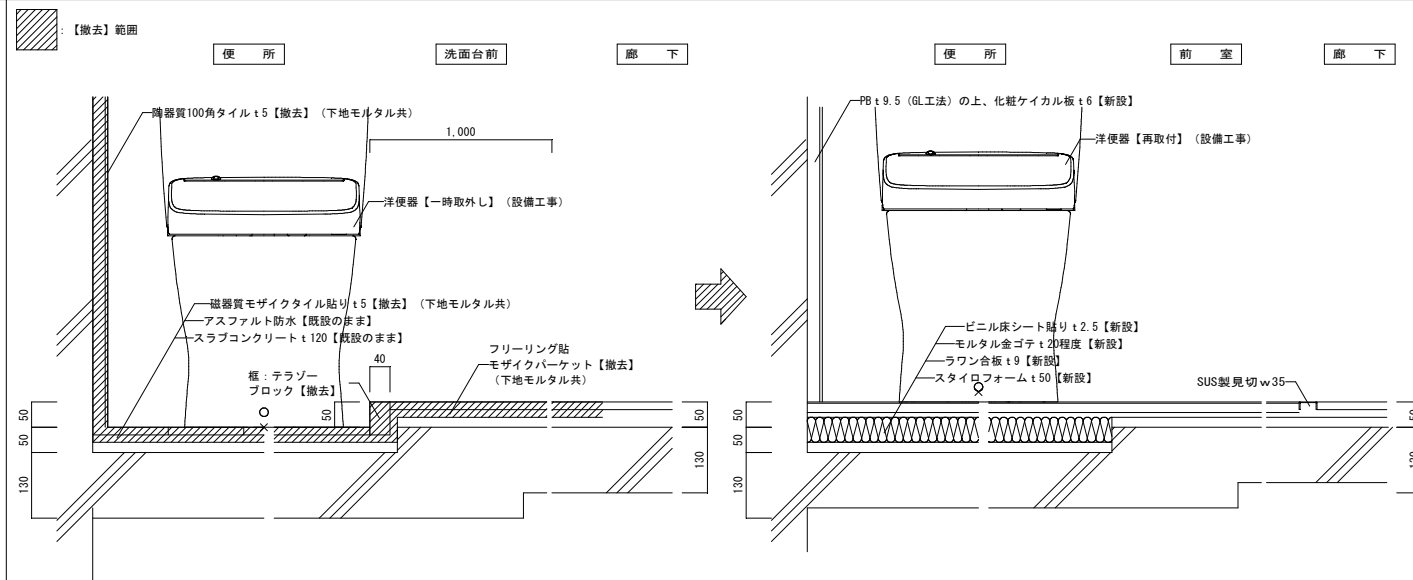
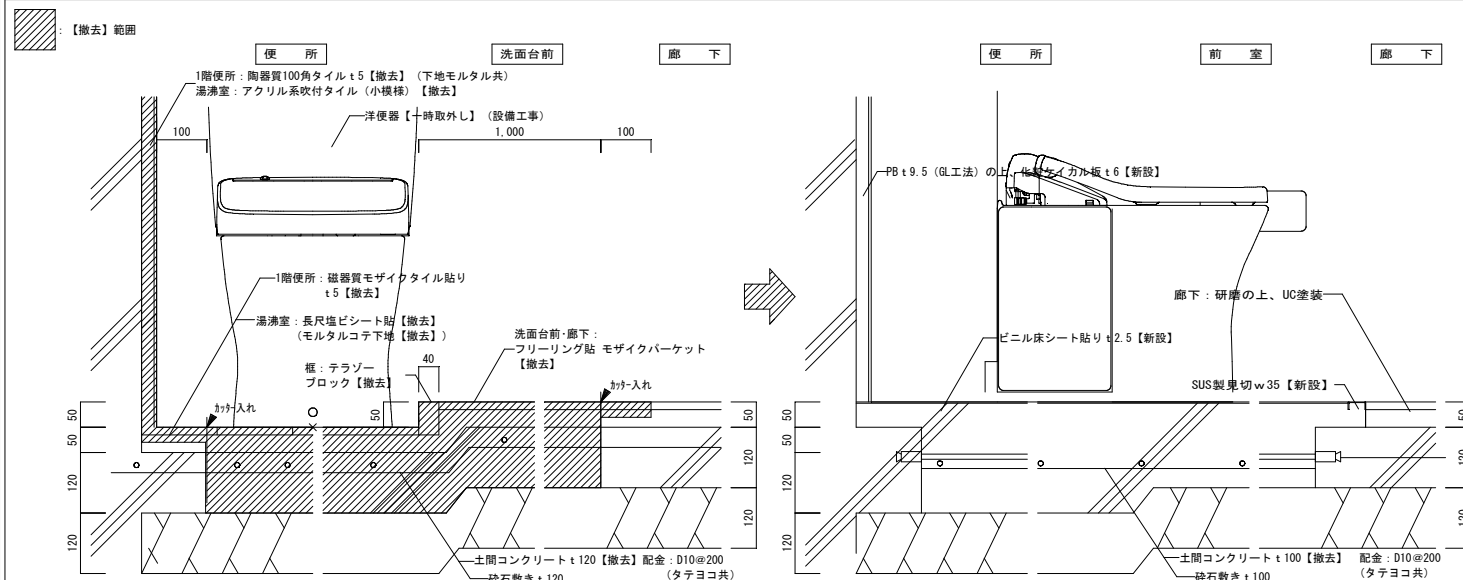
 : 土間コンクリート【新設】範囲  
 : タイル仕上げ【新設】範囲  
 : モルタル平滑処理【新設】範囲



タイル新設面積	
タイル150角	段鼻役物
23㎡	12m



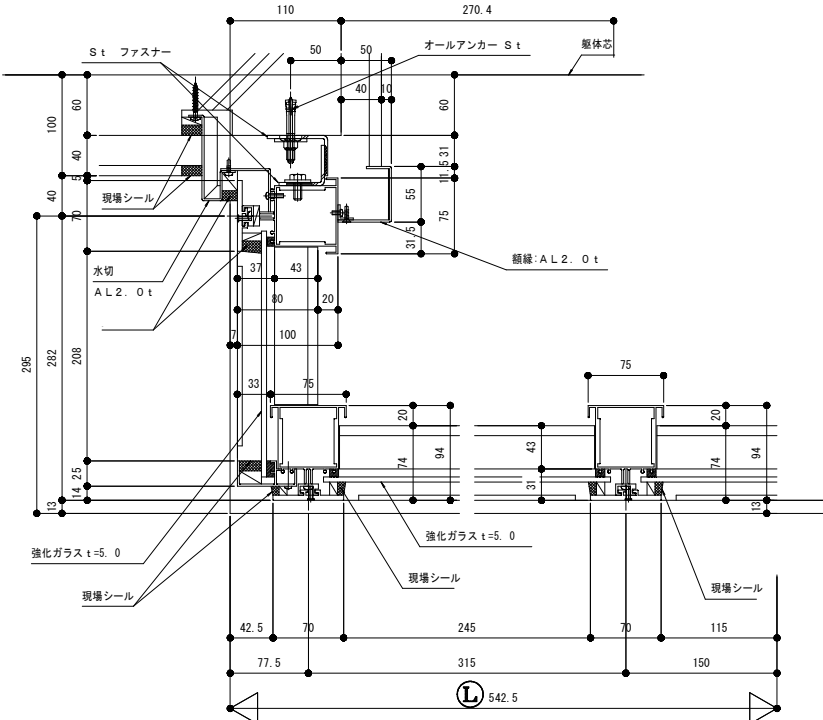
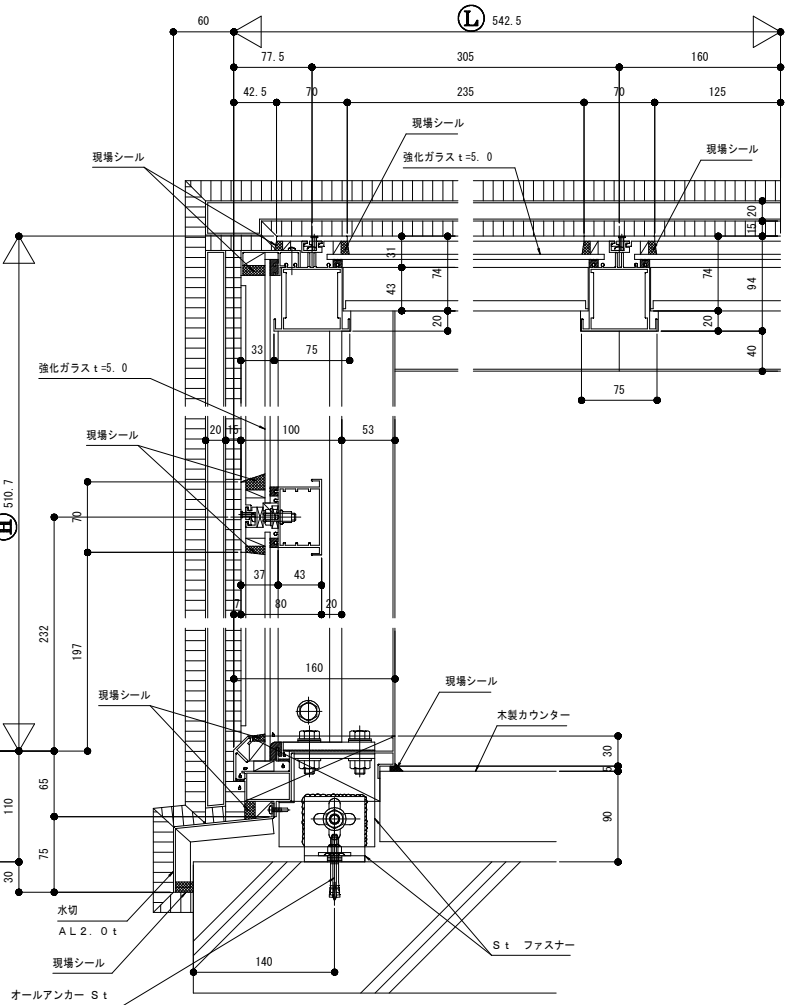
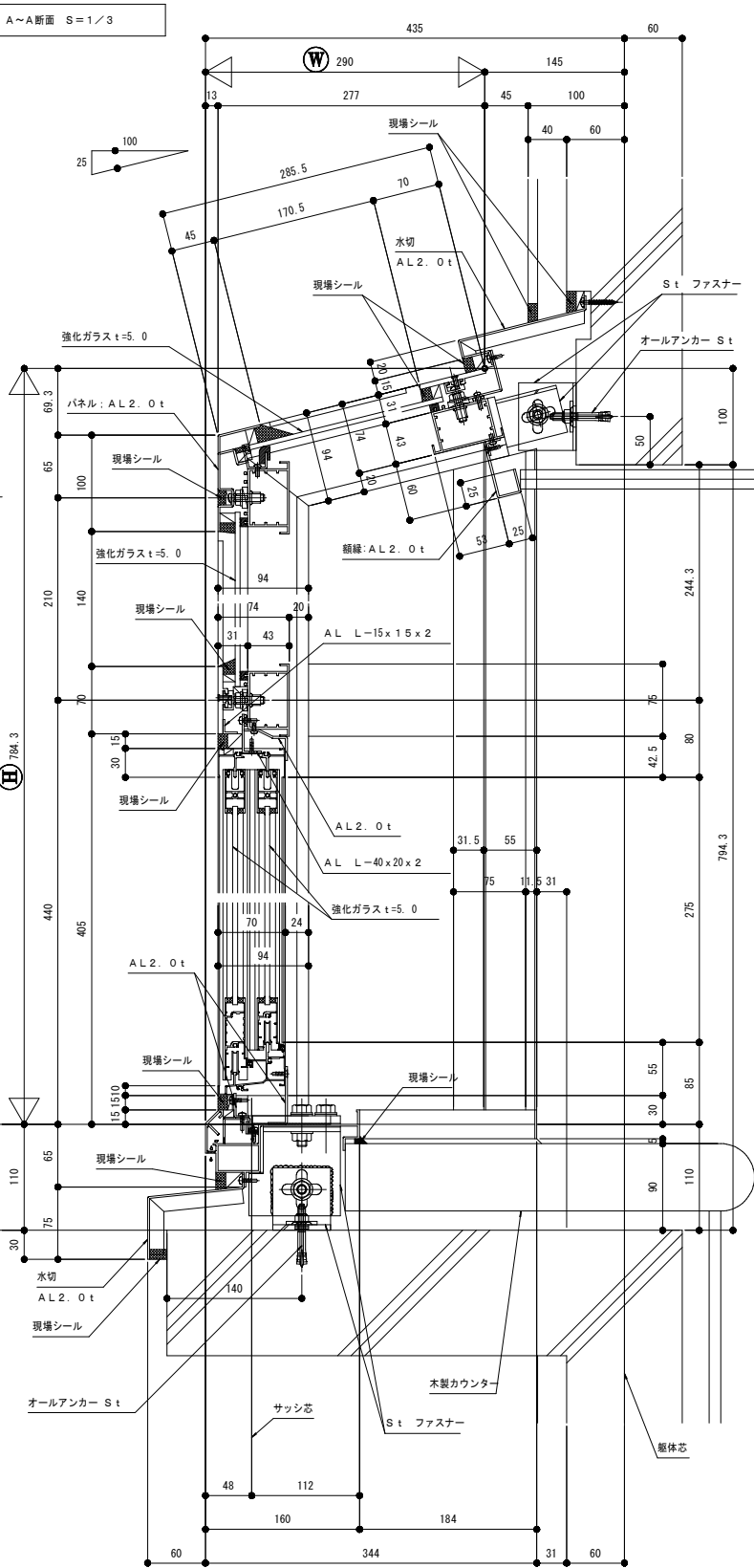
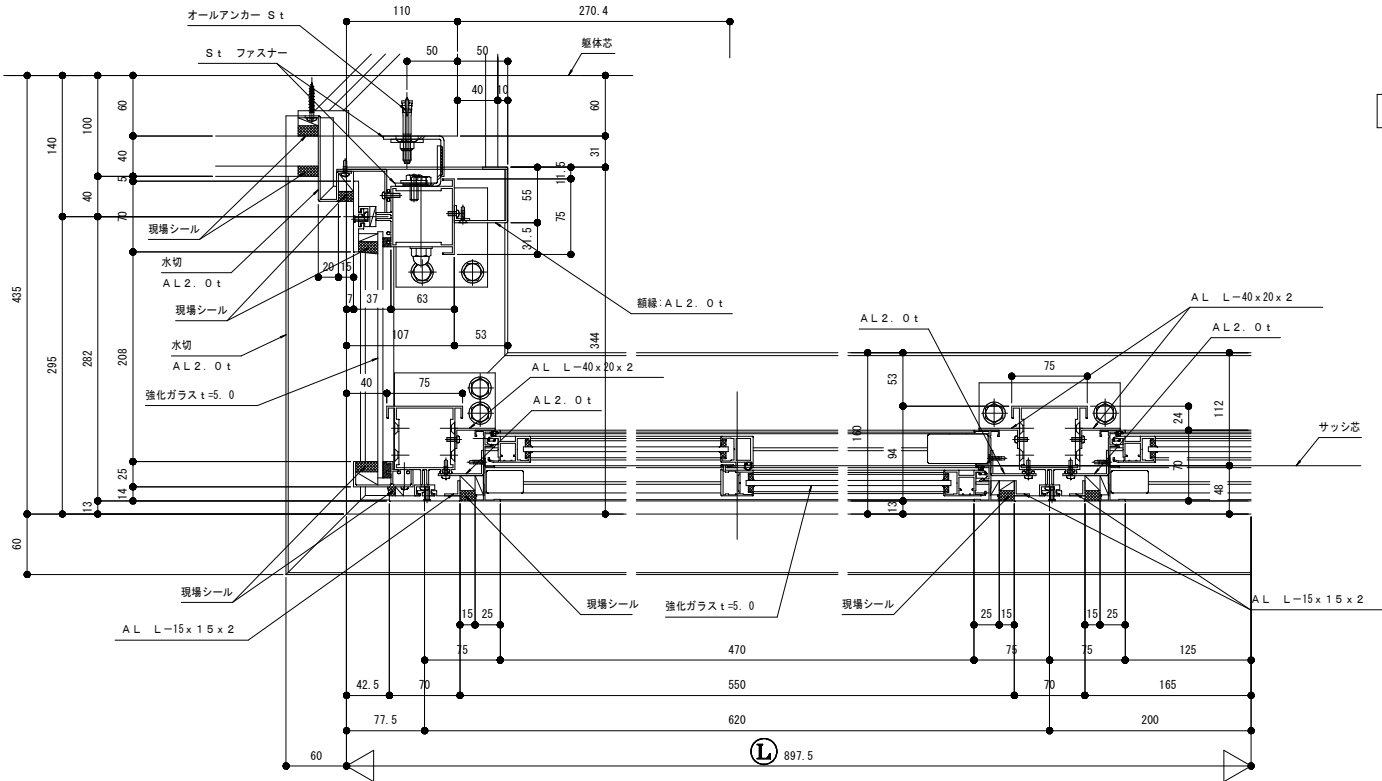








記号	数量	AW 11	1ヶ所
姿図	新設	突合せ部チオコールコーキング	
場所	2階 廊下		
形式	見込	引違い、嵌殺しアルミサッシ	70
仕上	材質	ステンレス調	アルミ
硝子	下端	強化ガラス t5	FL+1100
付属金物	引手、戸車、クレセント、アルミ水切、アングルピース		
備考	-		



備考	・
	・
	・
	・

(株)田端隆建築設計  
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 通也

設計代表者	設計担当者	
一級建築士 No.352551 田端通也	一級建築士 No.322033 横道設計一級建築士 No.6364 井上真智	一級建築士 No.372093 南 賀治

SCALE
A3 : 1/7
DATE
R5.3

工事名称	上吉公民館長寿命化改修工事
図面名称	建具詳細図② (参考図)

A-33  
原図 : A3



